

グランド富岳 陸屋根・陸屋根用門柱 取付説明書



- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店へ依頼してください。
- この説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするが接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱設置位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 陸屋根を施工する際、クレーンをご用意ください。
- 電装品の結線は、必ず電気工事店様（有資格者）が行ってください。
- 配線はあらかじめ説明書に示す必要寸法分立ち上げておいてください。
- 錠の改造・分解はしないでください。
- 錠内部へは異物（木屑・金属屑など）が入らないようにしてください。
- 2線式電気錠は、ドアホン子機・カメラ付きドアホン子機など同一線（多芯ケーブル）を使用しないでください。また、AC100V配線とは別配管で配線してください。
- オートクローザは必ず適正な閉まり強さ・速度に調整してください。
- 必ず開き止めバンパーを取付けてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。
- 隙間カバー、ベースプレートの取付けは、各梱包内の取付説明書を参照してください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 通常使用しない場合は、必ず施錠し、落し錠を落してください。（※突風などで扉が開き、人や壁に当たるなど事故や破損の原因となります。）
- 落し受けツボに土・砂・ゴミなどがたまった場合は、必ず取除いてください。（※落し錠のかかりが悪くなると、突風で扉が開き、人や壁に当たると事故や破損の原因になります。）
- 開閉操作の際は、周囲に人や物がいないことを必ず確認してください。また、開閉操作はゆっくり行ってください。（※扉に人がはさまれるなど事故の原因となります。特にお子様には注意してください。また、急激な操作は思わぬ事故につながります。）
- 開閉時に、手足や衣服などを挟まないように注意してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。（※扉の転落・脱落による事故の原因となります。）
- ポスト付きの場合は、ポストの取出し口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
- ポスト付きの場合は、投函物を取出すときに手や指に注意してください。
- 電気錠タイプの場合は、投げたり落としたりハンマーによる衝撃などを加えないようにしてください。
- シーケレットスイッチのカバーを開閉するときに、手や指がはさまれないように注意してください。
- 年に一回、ネジやボルトの緩みがないか確認してください。

施工前に、ベースプレートの施工が完了していることを確認してください。

※ベースプレートの施工については、「グランド富岳[陸屋根タイプ]・ベースプレート」の取付説明書[ME-1914]を参照してください。



「使用上の注意事項」については、別途梱包されている「グランド富岳」取扱説明書[ME-1052]を参照してください。



この取付説明書は「右勝手・内開き」のイラストで説明しています。

もくじ

梱包明細.....	3	8. 結線ボックスの取付け (電気錠タイプ).....	32
各部の名称.....	4	8-1 結線ボックスの取付け.....	32
納まり図.....	7	8-2 通電金具の取付け.....	32
配線図.....	9	9. 錠の取付け.....	33
施工前の確認.....	12	9-1 台座の取付け (※B型門扉の場合).....	33
1. 門柱の施工.....	13	9-2 錠の取付け.....	33
1-1 門柱の準備.....	13	9-3 戸当り部材の取付け (※通用門付両開きの場合).....	34
1-2 門柱の設置 (※両開きの場合).....	14	10. 戸当り・召合縦框キャップの取付け.....	35
1-3 門柱の設置 (※通用門付両開きの場合).....	16	10-1 門扉への取付け.....	35
2. 屋根の取付け.....	18	10-2 門柱への取付け (※通用門付両開きの場合).....	36
2-1 側面カバーの取外し.....	18	11. 電装品の取付け (電気錠タイプ).....	37
2-2 屋根の取付け.....	19	11-1 インターホンの取付け (※通用門付両開きの場合).....	37
2-3 側面カバーの取付け.....	21	11-2 門内解錠スイッチの取付け.....	37
3. ヒンジの取付け.....	22	11-3 シークレットスイッチの取付け.....	38
3-1 吊元門柱の場合.....	22	11-4 屋根下照明の取付け (※「屋根下照明付」の場合).....	38
3-2 中門柱の場合.....	24	12. 溝ふさぎ材の取付け.....	39
4. 雨樋の取付け.....	25	12-1 後パネルの固定 (※吊元門柱の場合).....	39
5. 屋根下照明用 CD 管の取付け.....	26	12-2 吊元側側面パネルの取付け (※中門柱の場合).....	39
6. 門扉の吊り込み.....	27	12-3 溝ふさぎ材の取付け.....	40
6-1 門扉の吊り込み.....	27	13. 基礎の施工.....	41
6-2 ヒンジの調整.....	28	14. 門柱部品の取付け.....	42
7. オートクローザの調整 (電気錠タイプ).....	29	14-1 開き止めバンパーの取付け.....	42
7-1 調整前の確認.....	29	14-2 戸当りゴムの取付け (※中門柱の場合).....	42
7-2 スプリング調整窓の調整.....	30	15. 落とし受けツボの埋め込み.....	43
7-3 速度調整窓の調整.....	31	16. 落とし錠の動作確認.....	44
7-4 トラブルQ&A.....	31	17. はかまの取付け.....	45
		18. ダイヤル錠・ポスト取出し口の勝手変更.....	46
		19. 雨樋のメンテナンス.....	47
		施工工事店様、販売店様へのお願い.....	48

次の項目は電気工事店様 (有資格者) が行ってください。



- 「5. 屋根下照明用 CD 管の取付け」
- 「8. 結線ボックスの取付け」
- 「11. 電装品の取付け」

概算重量表

分類	デザイン	サイズ呼称	数量	概算重量 [kg]	分類	デザイン	サイズ呼称	数量	概算重量 [kg]
門扉	A 型 井桁格子	1018	1 枚	32.5	屋根付門柱	吊元門柱	H16 用	1 本	63.0
		1218	1 枚	38.5			H18 用	1 本	65.0
		1418	1 枚	44.5		ポスト付き 中門柱	H16 用	1 本	118.0
		1618	1 枚	50.0			H18 用	1 本	120.0
	B 型 横太格子	1018	1 枚	40.0	陸屋根	両開き	W12+W12	1 体	150.0
		1218	1 枚	45.0			W14+W14	1 体	160.0
		1418	1 枚	50.0			W16+W16	1 体	170.0
		1618	1 枚	55.5			W12+W12+10	1 体	210.0
	C 型 縦目隠し	1018	1 枚	35.5		通用門付き 両開き	W14+W14+10	1 体	220.0
		1218	1 枚	43.0			W16+W16+10	1 体	230.0
		1418	1 枚	49.5					
		1618	1 枚	57.0					

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称			梱包内容	表内の（ ）は個数を表しています。
門扉	標準扉	施錠扉	A型・C型	門扉 (1)・戸当り (1)・召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)]
		施錠扉	B型	門扉 (1)・戸当り (1) 召合縦框キャップ (上・下各1)・シリンダー台座 (1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)]
	電気錠扉	施錠扉	A型・C型	門扉 (1)・戸当り (1)・召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)] オートクローザ用部品セット (1) [スプリングセット棒 (2)・セットピン (1) M3×50ナベ小ネジ (1)・調整窓カバー (1)・φ15穴フサギ材 (1)]
			B型	門扉 (1)・戸当り (1) 召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)] シリンダー台座 (1)・オートクローザ用部品セット (1) [スプリングセット棒 (2)・セットピン (1) M3×50ナベ小ネジ (1)・調整窓カバー (1)・φ15穴フサギ材 (1)]
		受扉	A・B・C型 共通	門扉 (1)・戸当り (1)・召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)]
			A・B・C型 共通	門扉 (1)・戸当り (1)・召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)]
門柱	陸屋根用門柱 (標準錠・電気錠)	吊元門柱 (両開き)	吊元門柱 (1)・ヒンジセット (1) [ヒンジ (上) (1)・ヒンジピン (1)・ヒンジ (下) (1) M10×45セムスボルト (6)・調整ライナー (8)・ヒンジ上部隙間ふさぎ材 (1)・ヒンジ下部隙間ふさぎ材 (1)] はかまセット (1) ※1 雨樋セット (1) [エルボ (1)・接着剤 (1)] ビスボルトセット (1) [M10×35セムスボルト (12)・φ4×16セルフドリリングビス (20)・M10×60六角ボルト (4)] M12用アイボルト (2)・溝ふさぎ材 (L=120) (1) 取付説明書 [ME-1913] (1) ※2 取扱説明書 [MET-1052] (1) ※2	
		吊元門柱 (通用門側)	吊元門柱 (1)・ヒンジセット (1) [ヒンジ (上) (1)・ヒンジピン (1)・ヒンジ (下) (1) M10×45セムスボルト (6)・調整ライナー (8)・ヒンジ上部隙間ふさぎ材 (1)・ヒンジ下部隙間ふさぎ材 (1)] はかまセット (1) ※1 雨樋セット (1) [エルボ (1)・接着剤 (1)] ビスボルトセット (1) [M10×35セムスボルト (12)・φ4×16セルフドリリングビス (20)・M10×60六角ボルト (4)] 溝ふさぎ材 (L=120) (1)	
		ポスト付き 中門柱	中門柱 (1)・ヒンジセット (1) [ヒンジ (上) (1)・ヒンジピン (1)・ヒンジ (下) (1) M10×45セムスボルト (6)・調整ライナー (8)・ヒンジ上部隙間ふさぎ材 (1)・ヒンジ下部隙間ふさぎ材 (1)] はかまセット (1) ※1 埋め込み調整金具セット (1) [埋め込み調整金具 (1)・φ5×12トラスタッピン3種 (2) M10×60六角ボルト (2)・φ4×16トラスタッピン3種 (2)・M10×35セムスボルト (1)] ビスボルトセット (1) [M10×35セムスボルト (12)・φ4×16セルフドリリングビス (20)・M10×60六角ボルト (4)] 溝ふさぎ材 (L=120) (1)	
陸屋根	両開き	照明なし	屋根本体 (1)・M12×25丸ボルト (2)	
		照明あり	屋根本体 (1)・M12×25丸ボルト (2)・照明 (1)・屋根下照明用CD管 (1)・カップリング (1)	
	通用門付両開き	照明なし	屋根本体 (1)・M12×25丸ボルト (2)	
		照明あり	屋根本体 (1)・M12×25丸ボルト (2)・照明 (2)・屋根下照明用CD管 (2)・カップリング (2)	
戸当り部材		戸当り部材 (1)・戸当り (1)・召合縦框キャップ (上・下各1) 戸当りビスセット (1) [M4×16トラス小ネジ (2)・φ4×14トラスタッピン3種 (10)] 戸当り部材ビスセット (1) [φ4×16トラスタッピン3種 (8)]		
落とし受け		落とし受けツボ (1)		

※1：セット明細は下記を参照してください。 ※2：右柱にのみ梱包されています。

セット部品

梱包名称	梱包内容	表内の（ ）は個数を表しています。
はかまセット	はかま A (2)・はかま B (吊元門柱のみ：[2])・はかま D (中門柱のみ：[2]) はかま固定ビスセット (1) [φ4×30トラスタッピン3種 (4) φ4×40セルフドリリングビス (吊元門柱：[4]/中門柱：[8])]	

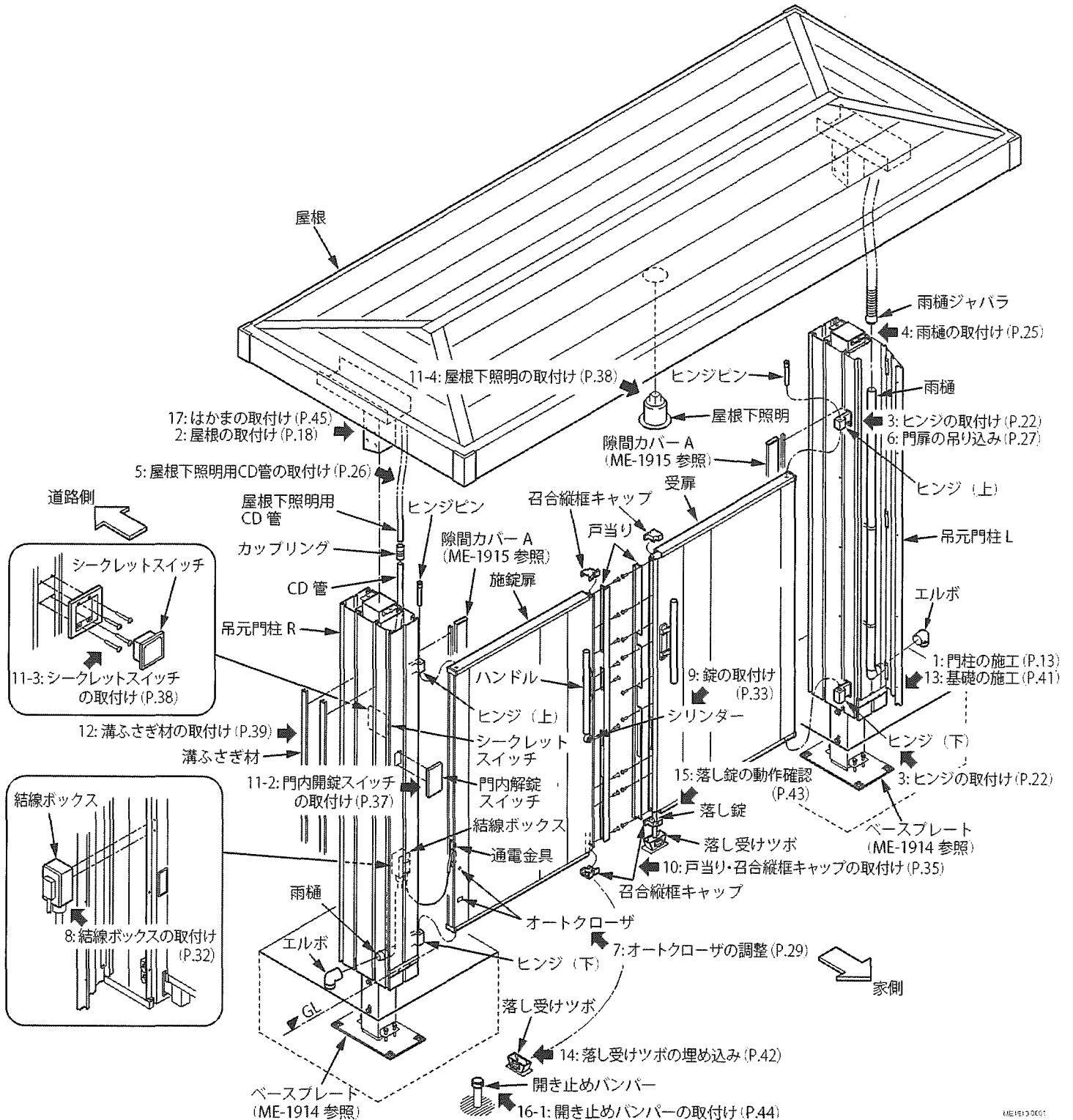
各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作业前に確認してください。
※ () 内は説明ページを示しています。

両開き

※本図は、電気錠タイプ・「屋根下照明付」・「右勝手」を示しています。

※本図は主な部品の名称を示すものであり、全ての部品および取付個数を示すものではありません。



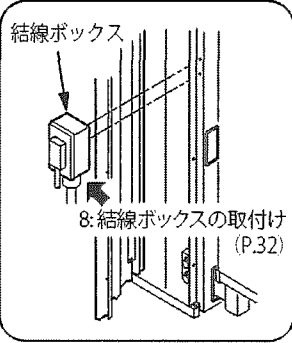
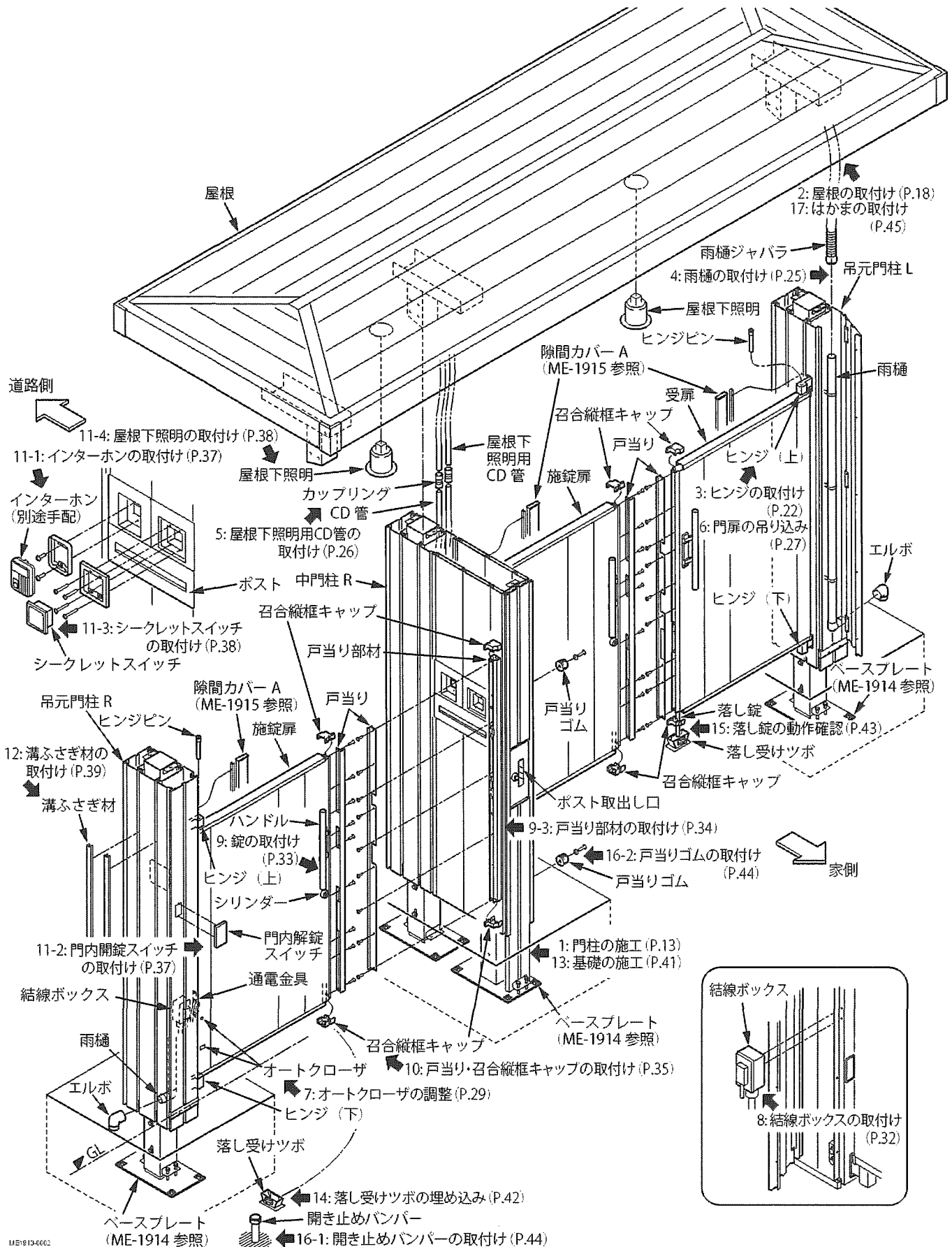
●隙間カバーについては、隙間カバーの取付説明書 [ME-1915] を参照してください。

●ベースプレートについては、ベースプレートの取付説明書 [ME-1914] を参照してください。

●錠の取付けについては、PK型錠 (標準錠)・EL型錠 (電気錠) の取付説明書 [ME-1920] を合わせて参照してください。

通用門付両開き

※本図は、電気錠タイプ・「屋根下照明付」・「右通用門・右勝手」を示しています。
 ※本図は主な部品の名称を示すものであり、全ての部品および取付個数を示すものではありません。



ME-9134662

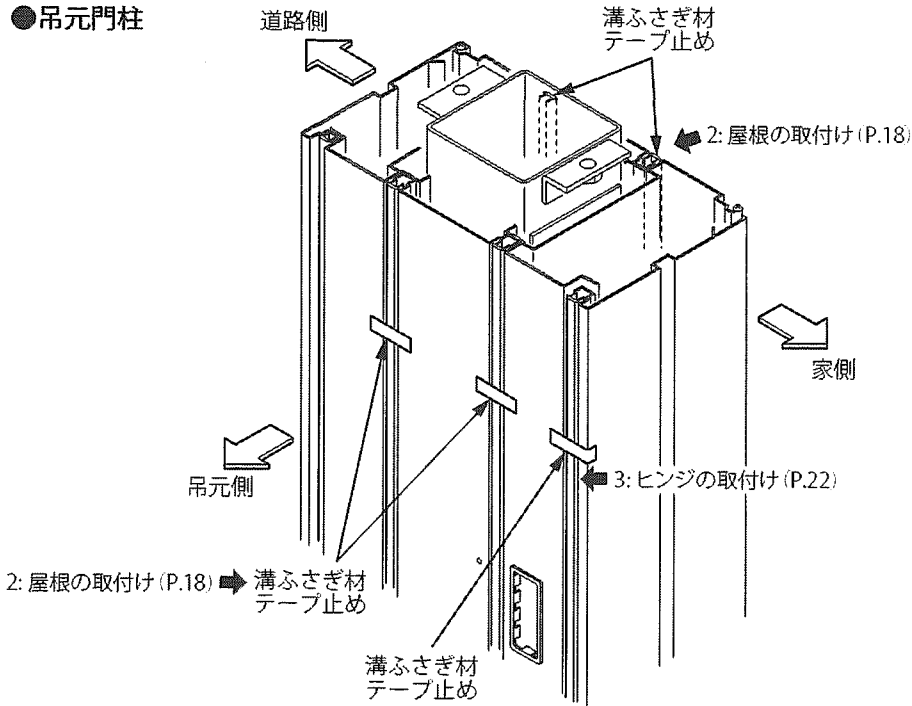
- 隙間カバーについては、隙間カバーの取付説明書 [ME-1915] を参照してください。
- ベースプレートについては、ベースプレートの取付説明書 [ME-1914] を参照してください。
- 錠の取付けについては、PK 型錠 (標準錠)・EL 型錠 (電気錠) の取付説明書 [ME-1920] を合わせて参照してください。

溝ふさぎ材について



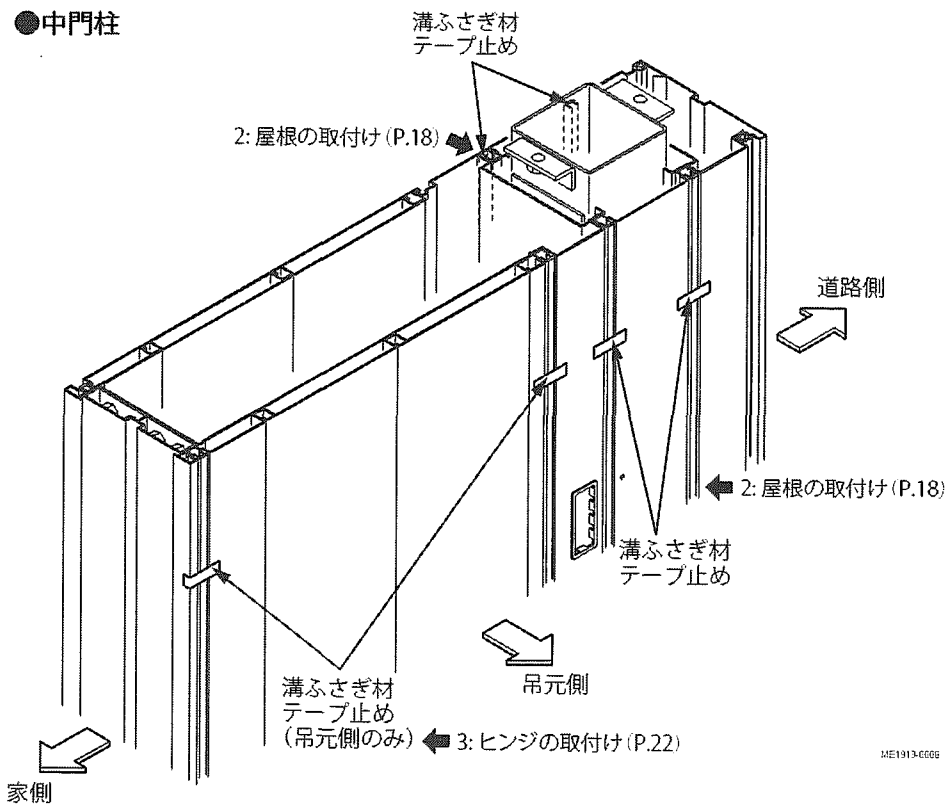
「2. 屋根の取付け」「3. ヒンジの取付け」で
取外す溝ふさぎ材（テープ止め）は、無くさ
ないようにしてください。「12. 溝ふさぎ材の
取付け」で使用します。

●吊元門柱



ME1912-0009

●中門柱

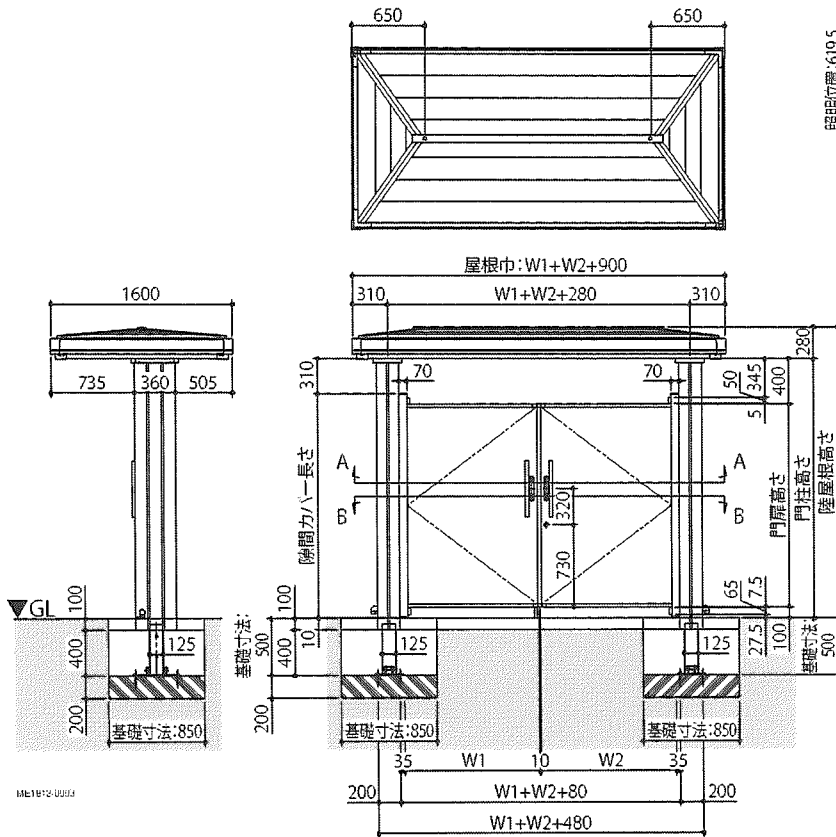


ME1913-0006

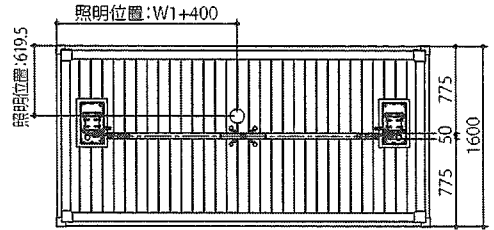
納まり図

- W= 門扉巾寸法を示しています。
- この納まり図は、W1200・H1800、「右勝手・内開き」の外観図です。

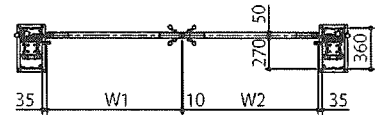
両開き



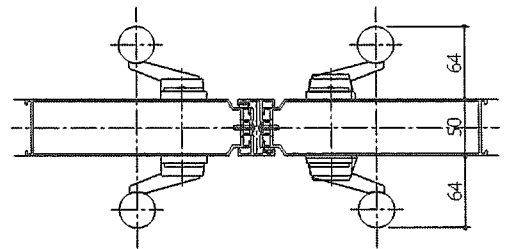
●A-A 屋根見上げ図



●B-B 断面図

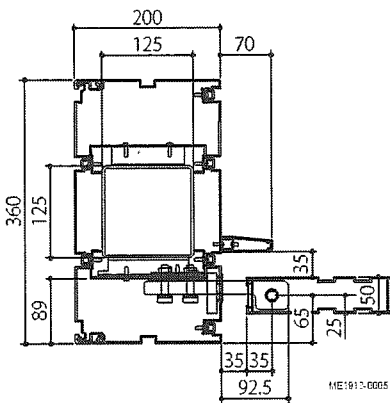


●両開き・戸当り詳細図

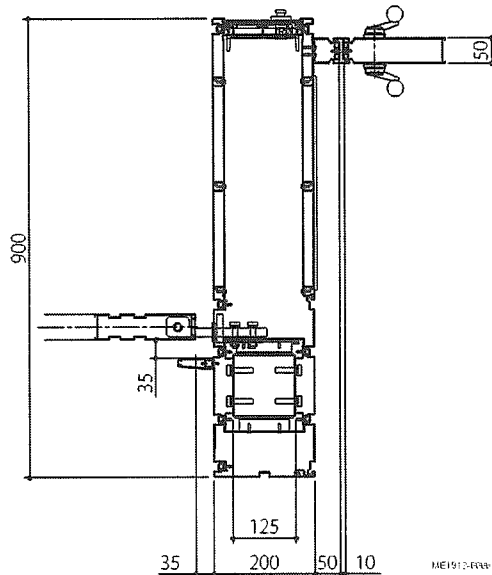


門柱寸法

●吊元門柱



●中門柱

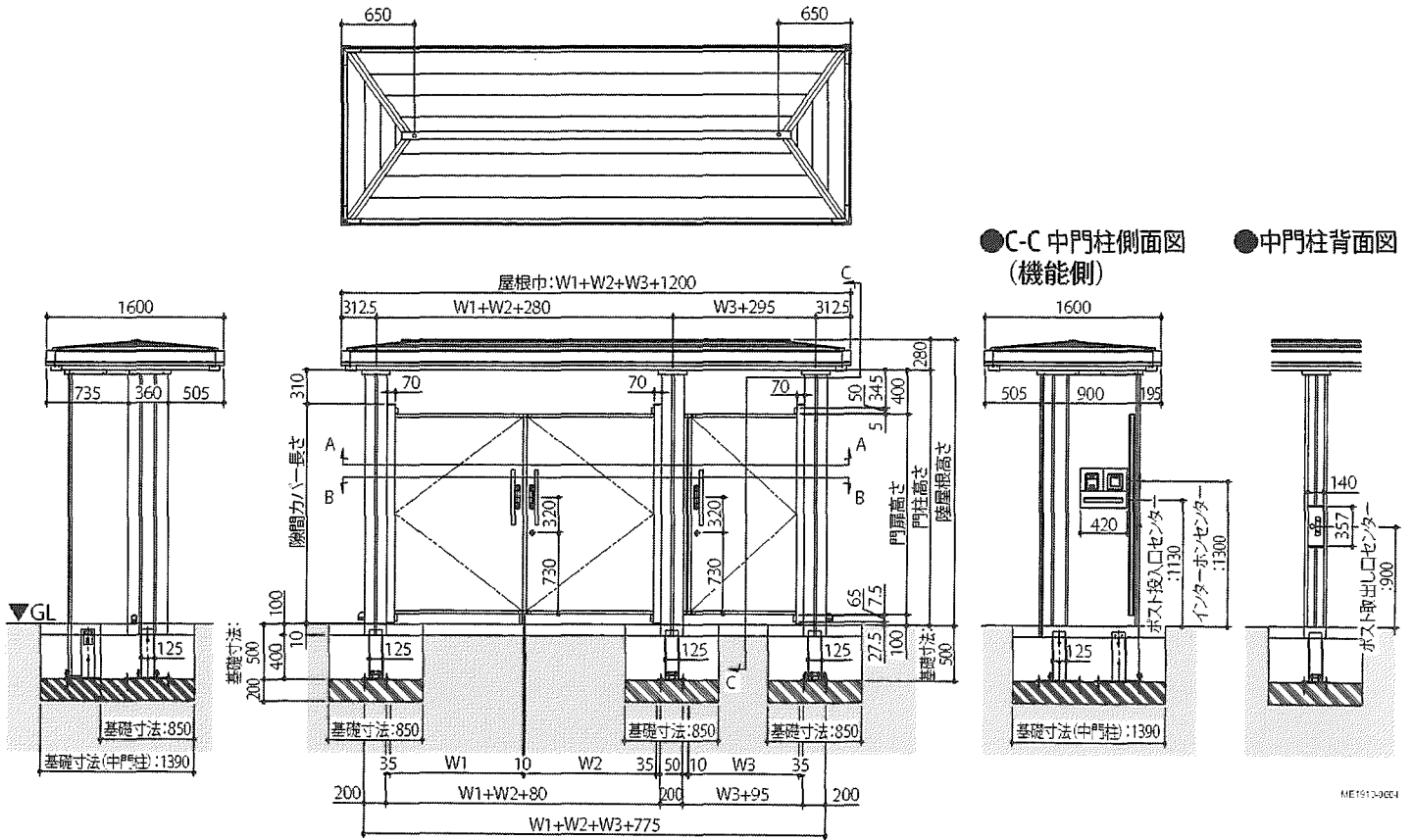


●寸法一覧表

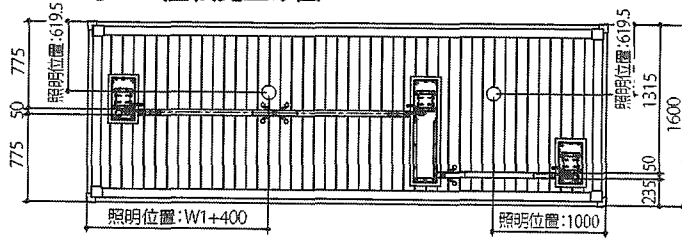
(mm)

呼称サイズ	門扉巾		門扉高さ	陸屋根高さ	隙間カバー長さ	門柱高さ
	W1	W2				
W1200	1200	1200	1600	2380	1780	2100
			1800	2580	1980	2300
W1400	1400	1400	1600	2380	1780	2100
			1800	2580	1980	2300
W1600	1600	1600	1600	2380	1780	2100
			1800	2580	1980	2300

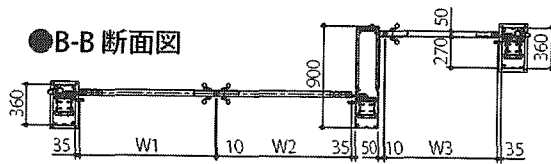
通用門付両開き



●A-A 屋根見上げ図



●B-B 断面図

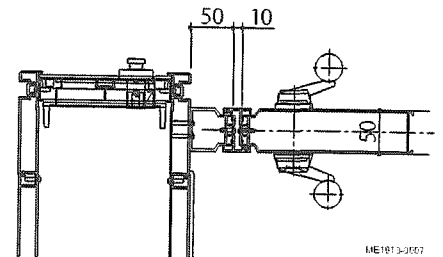


●寸法一覧表

(mm)

呼称サイズ	門扉巾			門扉高さ	陸屋根高さ	隙間カバー長さ	門柱高さ
	W1	W2	W3				
W1200	1200	1200	1000	1600	2380	1780	2100
				1800	2580	1980	2300
W1400	1400	1600		2380	1780	2100	
		1800		2580	1980	2300	
W1600	1600	1600		2380	1780	2100	
		1800		2580	1980	2300	

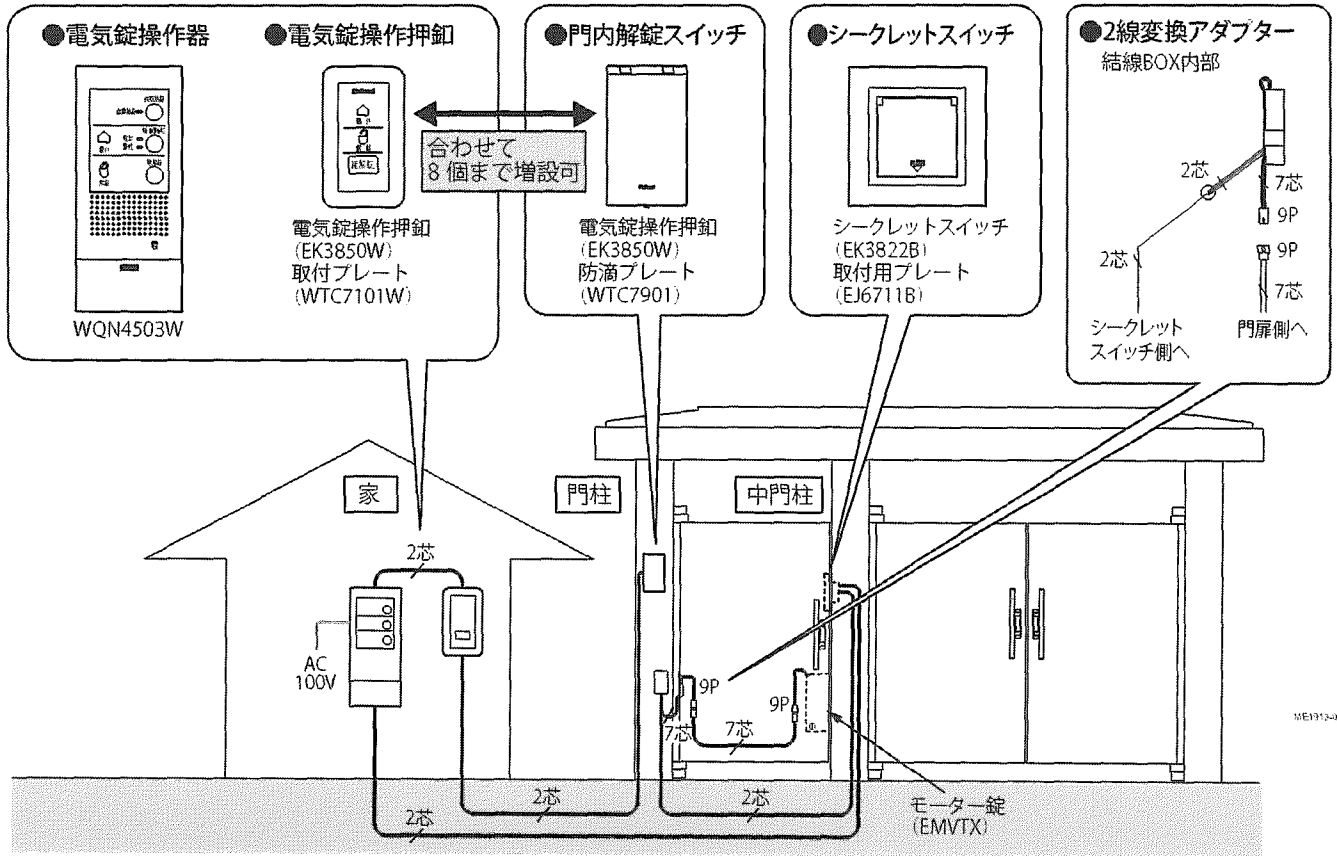
●通用門・戸当り詳細図



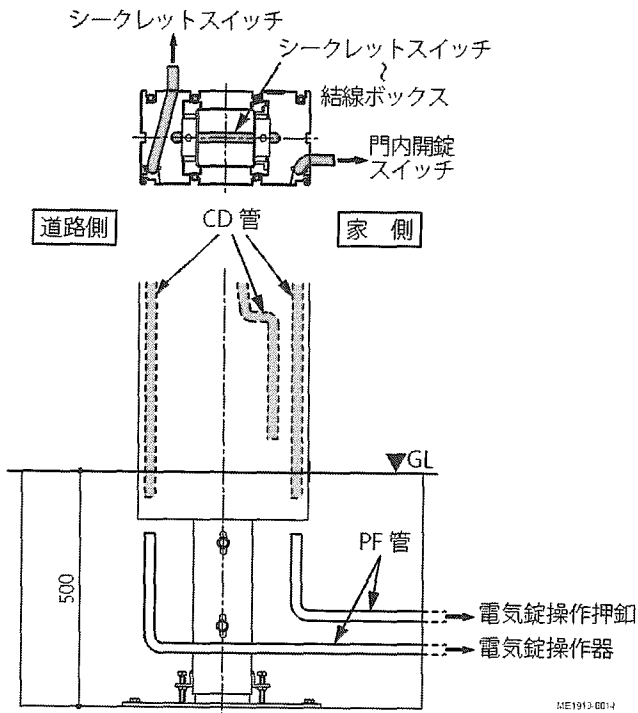
配線図

- 各納まりごとの配線図を参照してください。
- ここでは「内観図」のイラストで説明しています。

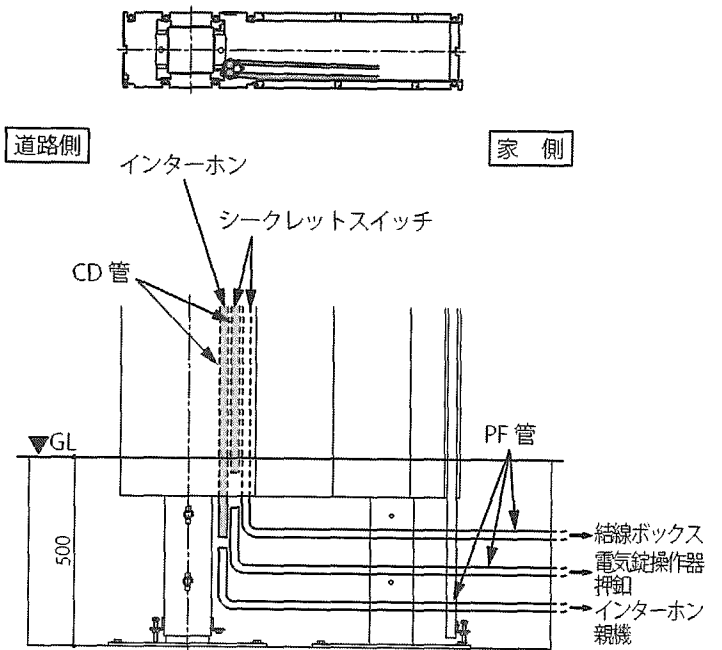
システム図



●吊元門柱断面図



●中門柱断面図

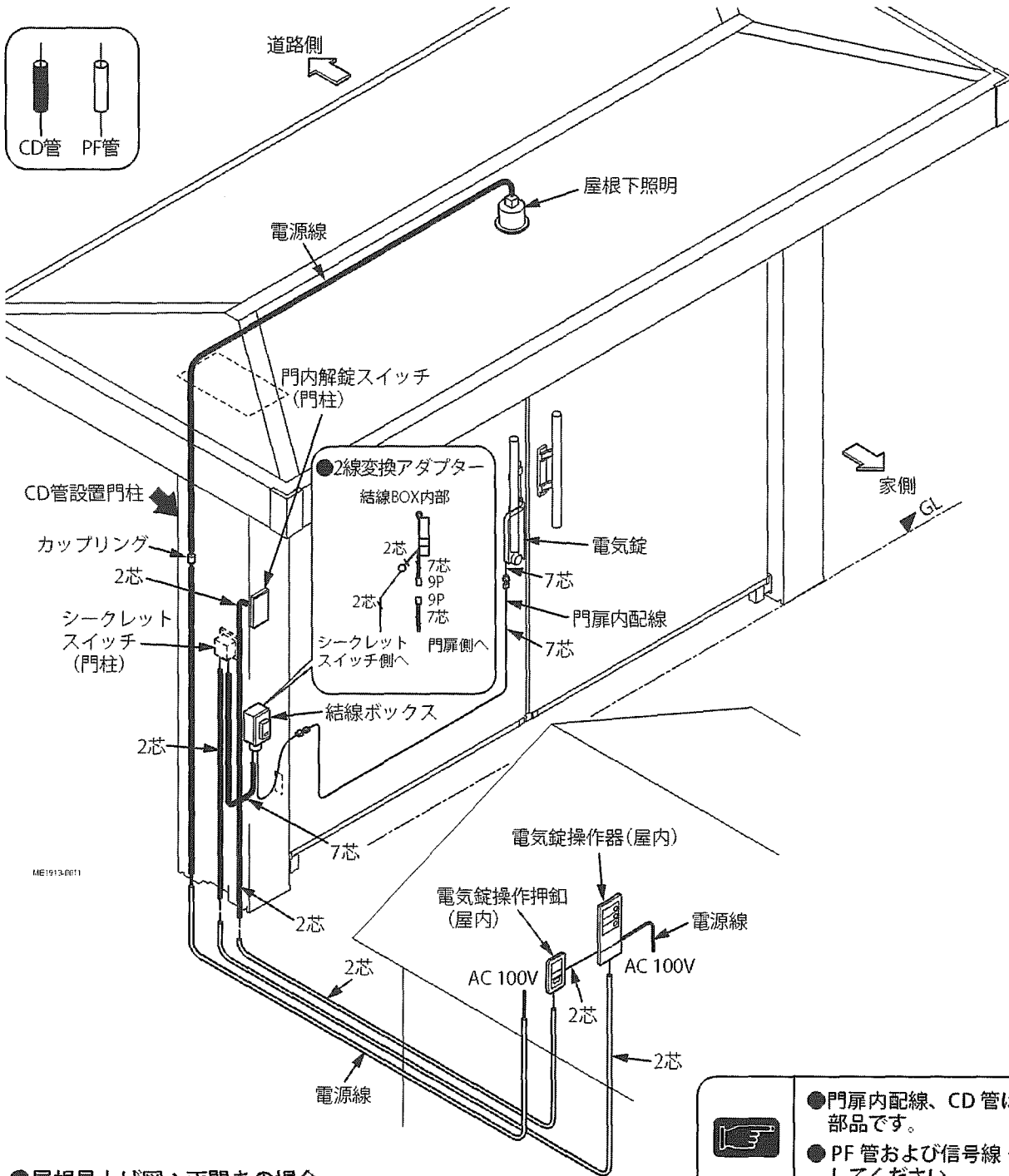
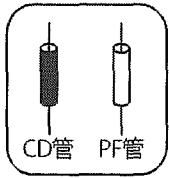


通用門付両開きの場合、シークレットスイッチ用のCD管は使用しません。

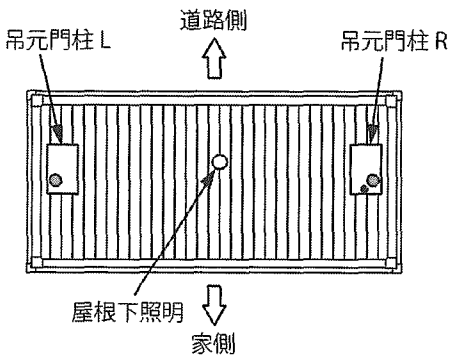
配線図

両開き

※本図は、「屋根下照明付」・「右勝手」の場合を示しています。



●屋根見上げ図：両開きの場合



※屋根下照明用 CD 管を
外観右側の吊元門柱に 1 本通す

ME1912-0213

●門扉内配線、CD 管は門扉・門柱の組立部品です。
●PF 管および信号線・電源線は現場手配してください。

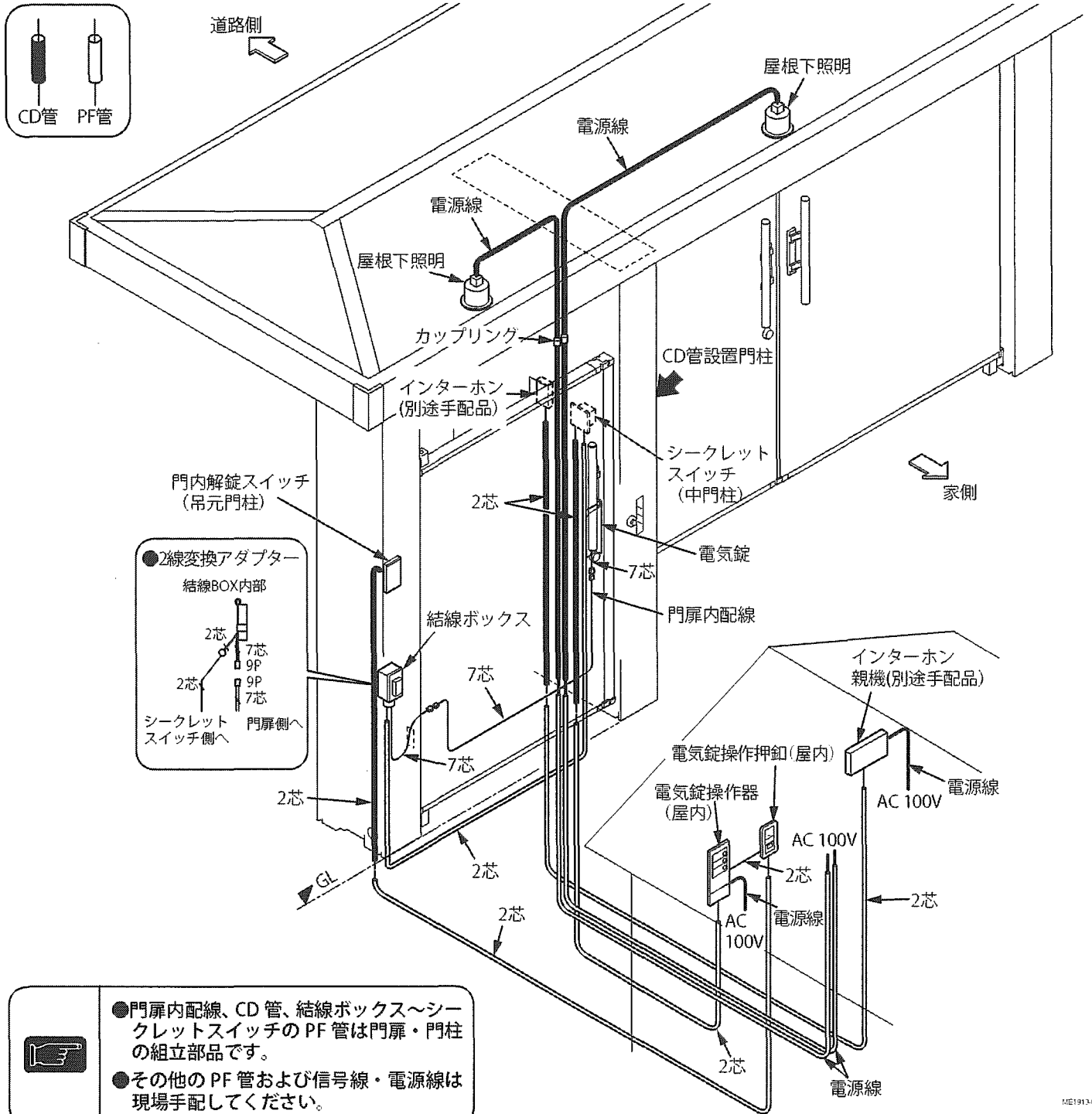
信号線・電源線の引き込みは、CD 管に入っているパイロットコードを使用してください。

立上げ寸法
PF 管 : GL より 100mm
信号線 : GL より 1800mm
電源線 (照明用) : GL より 5000mm

電源線 (照明用) は、左右勝手に関わらず外観右側の吊元門柱に通してください。

通用門付両開き

※本図は、「屋根下照明付」・「右通用門・右勝手」の場合を示しています。



●門扉内配線、CD管、結線ボックス～シーケレットスイッチのPF管は門扉・門柱の組立部品です。
●その他のPF管および信号線・電源線は現場手配してください。

信号線・電源線の引き込みは、組立部品であるCD管・PF管に入っているパイロットコードを使用してください。

立上げ寸法
PF管：GLより100mm
信号線：GLより1800mm
電源線（照明用）：GLより5000mm

電源線（照明用）は、中門柱に通してください。

ME1913-0012

施工前の確認

●施工前に確認してください。

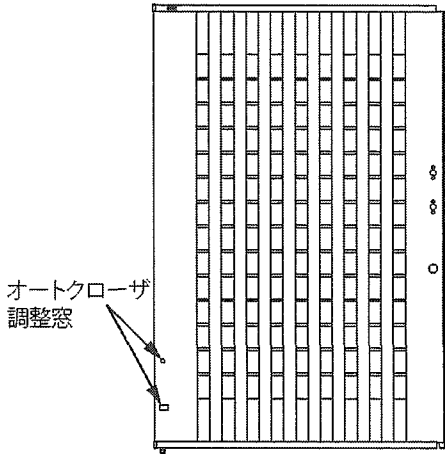
門扉の種類



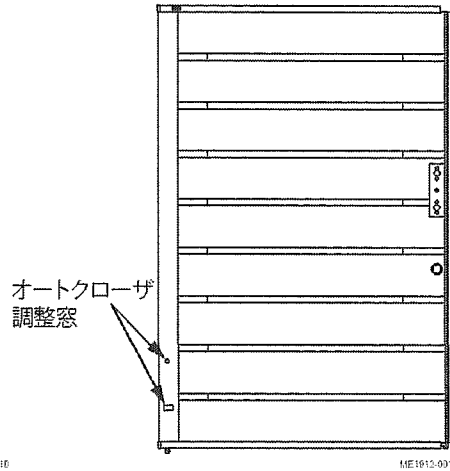
- 電気錠用扉の場合、オートクローザの調整窓がある方が家側になります。
- 両開きの場合、施錠扉と受扉があります。

※本図は、「右勝手」の施錠扉・内観図を示しています。

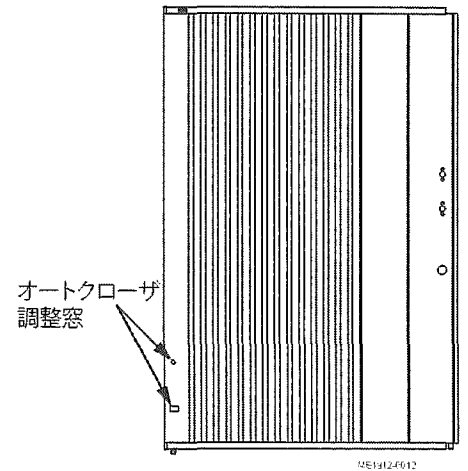
● A 型 (井桁格子)



● B 型 (横太格子)



● C 型 (縦目隠し)

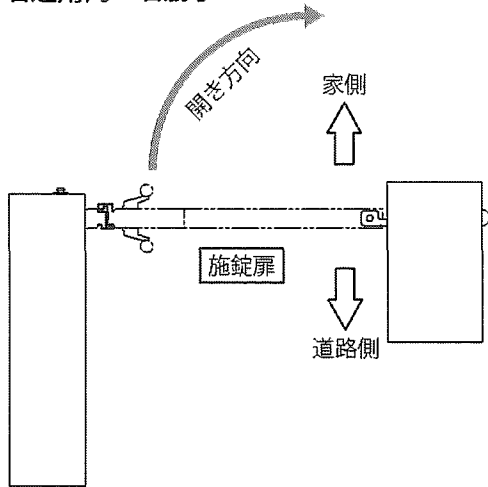


開きの確認

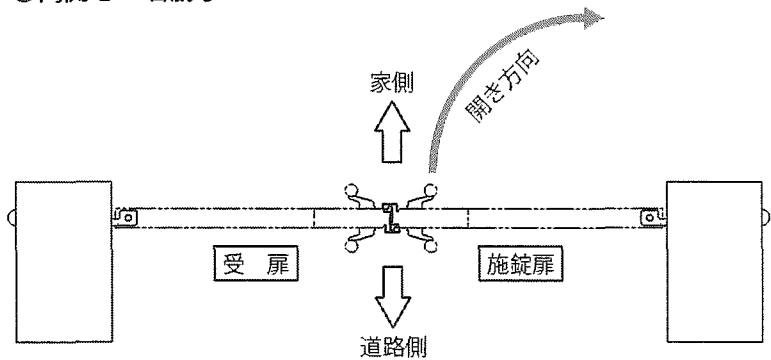


門扉は「内開き」専用です。
(「外開き」には変更できません)

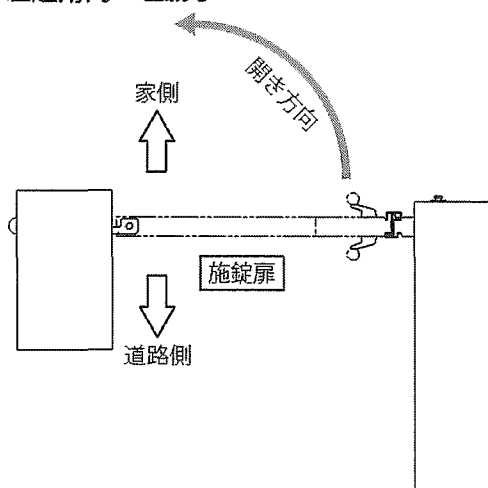
●右通用門・右勝手



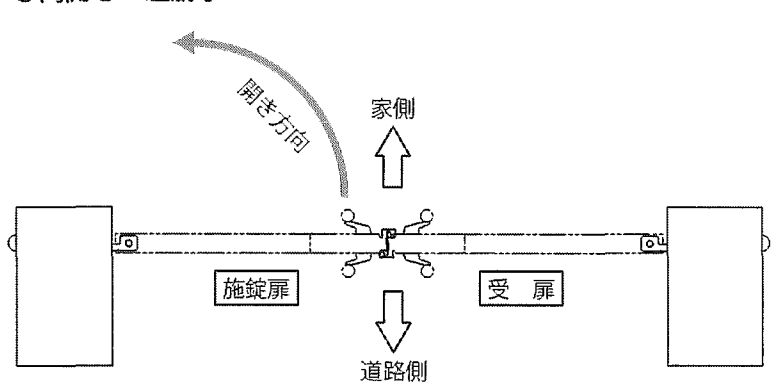
●両開き・右勝手



●左通用門・左勝手



●両開き・左勝手



1

門柱の施工

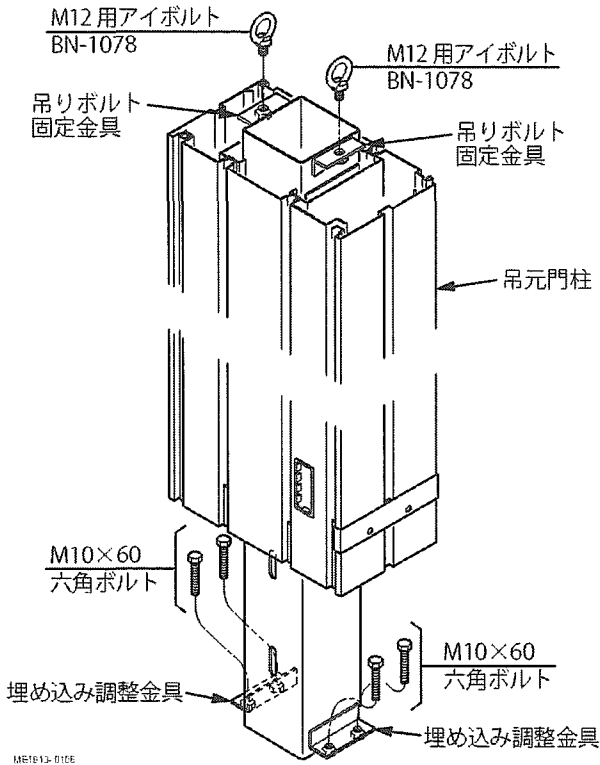
1-1 門柱の準備

①図を参照して、中門柱の下部に埋め込み調整金具を取付けてください。

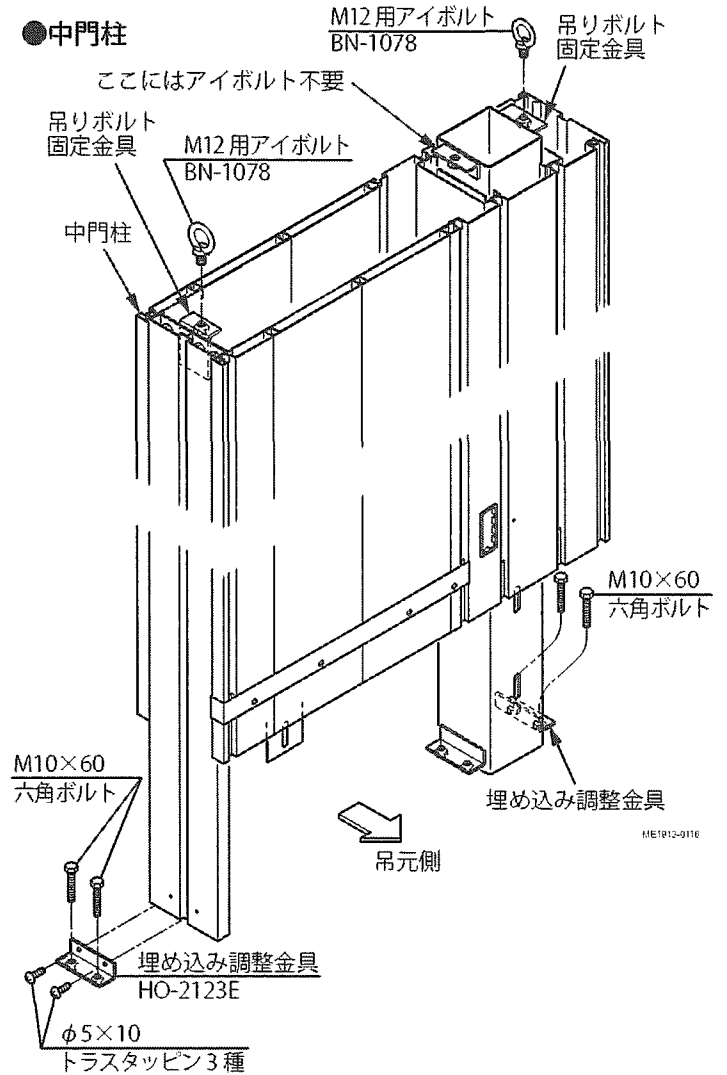


吊元門柱には、埋め込み調整金具が取付けられています。

●吊元門柱



●中門柱



②六角ボルトを半分までねじ込んでください。

③門柱の吊りボルト固定金具にアイボルトを取付けてください。



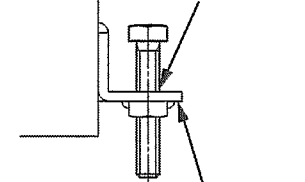
アイボルトは確実に固定してください。



アイボルトは吊元門柱にのみ梱包されています。
通用門付両開きの場合、吊元門柱設置後、アイボルトを取外して中門柱に取付けてください。

●埋め込み調整金具ボルト詳細

およそ半分までねじ込む



埋め込み調整金具 ME1913-010E

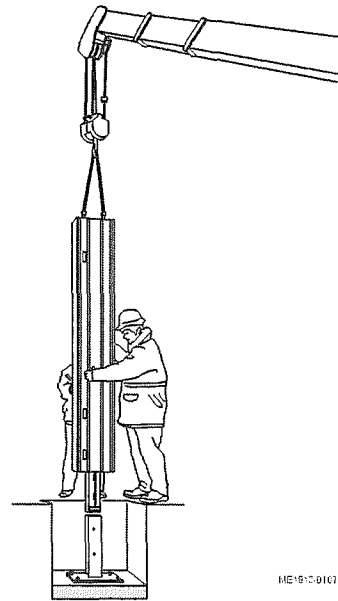
1-2 門柱の設置 (※両開きの場合)



施工前に、ベースプレートの施工が完了していることを確認してください。

※ベースプレートの施工については、「グランド富岳 [陸屋根タイプ]・ベースプレート」の取付説明書 [ME-1914] を参照してください。

①門柱をクレーンで吊上げてください。



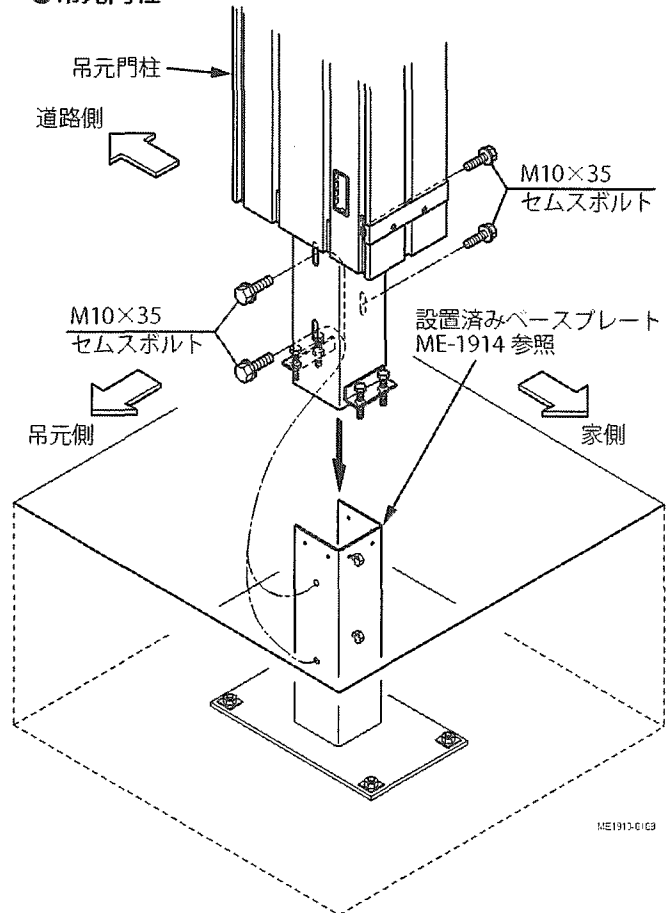
ME1913-0107

②既設のベースプレートに、門柱の下部を差し込みボルトで固定してください。





門柱の向きを確認して取付けてください。
吊元門柱：継ぎ目カバーが家側


●吊元門柱



ME1913-0108

 ベースプレートに門柱を取付けると寸法が決まりますが、確認のため各寸法を計測してください。
(柱芯々寸法については右表を参照)

 柱の位置とレベルを正確に合わせてください。
※正確に合わせないと、門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因となります。

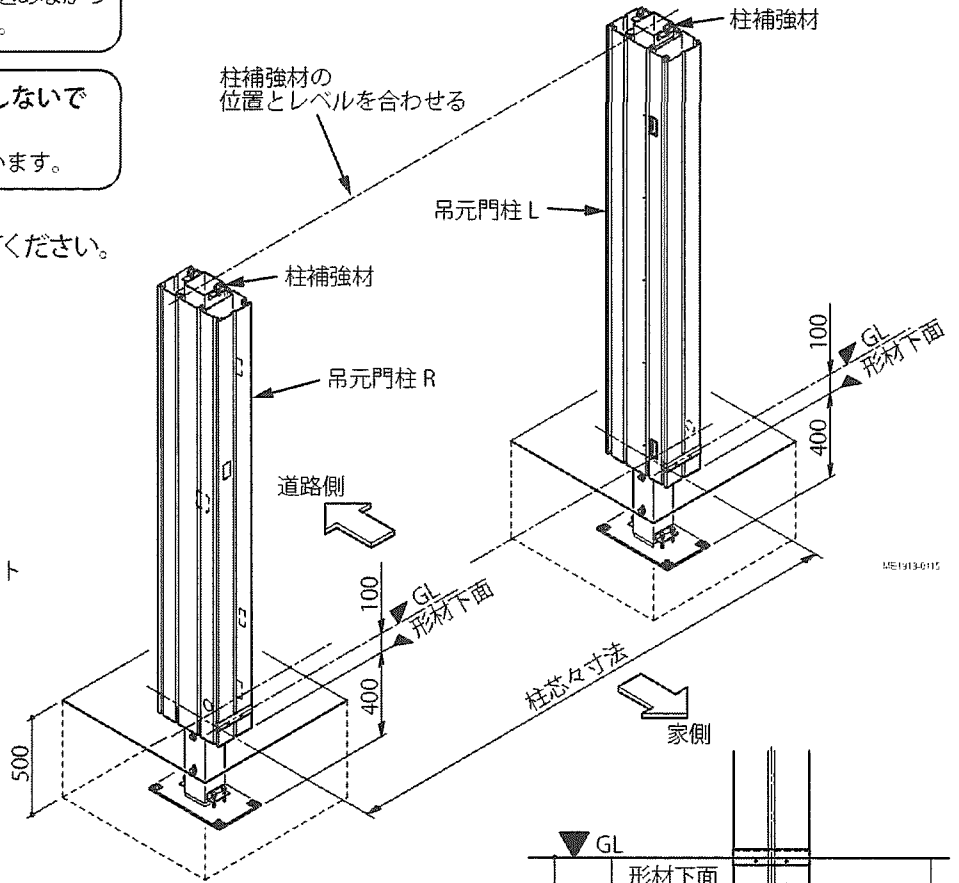
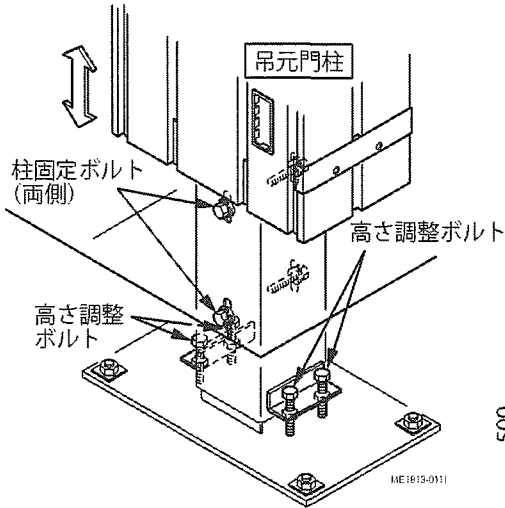
 ここでは、コンクリートで固定しないでください。
※後工程の「13.基礎の施工」で行います。

●柱芯々寸法表 (mm)

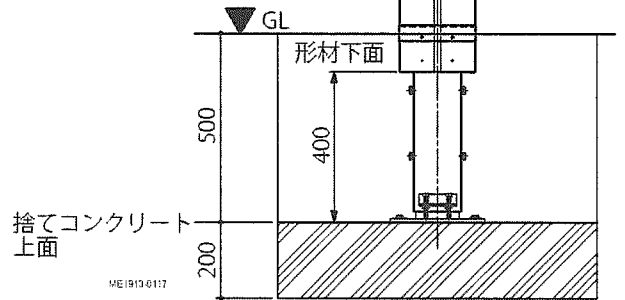
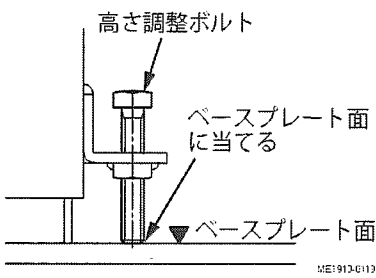
門扉の組合せ	ベースプレート 芯々寸法
W12 + W12	2680
W14 + W14	3080
W16 + W16	3480


③必要に応じて、門柱の高さ調整を行ってください。

●吊元門柱の高さ調整

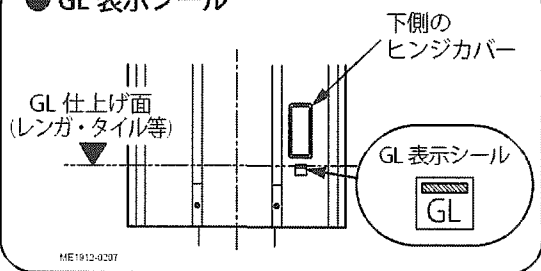


●高さ調整ボルト



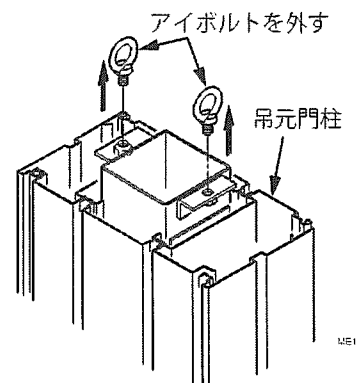
 下側のヒンジカバーの下にある GL 表示シールを目安にしてください。

● GL 表示シール



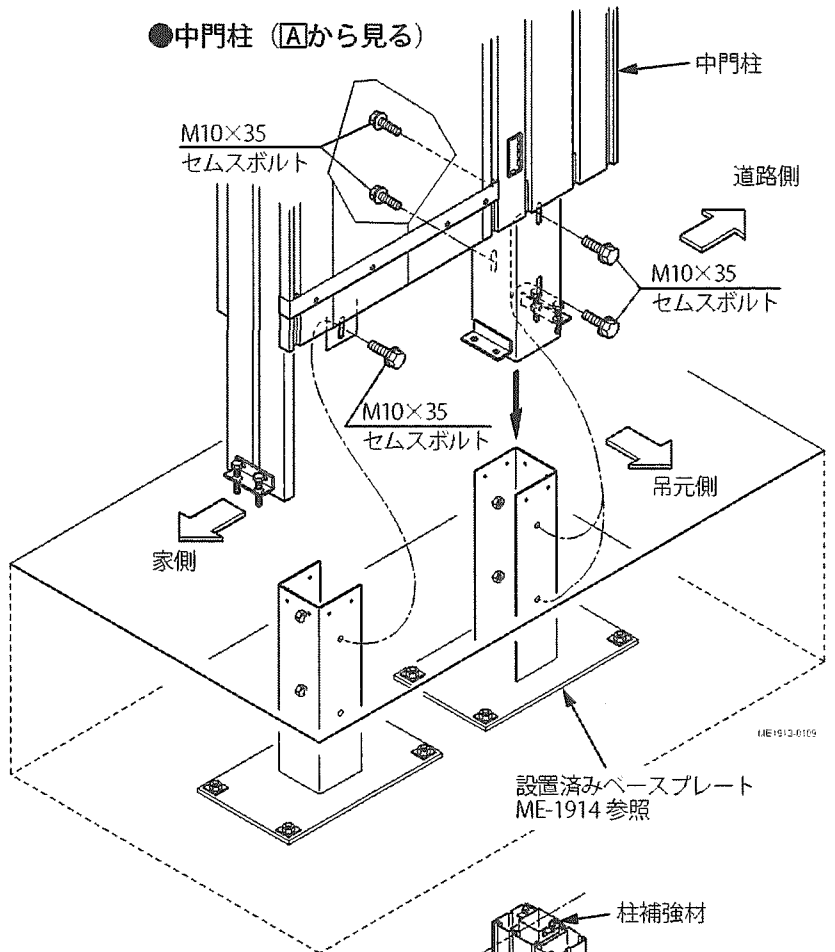
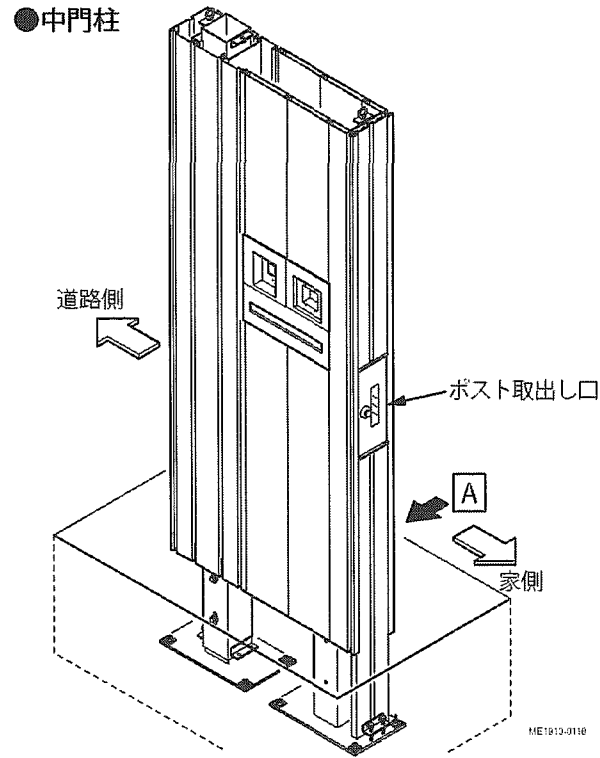
④門柱とベースプレートの固定後、クレーンのワイヤーを外してください。

⑤門柱からアイボルトを外してください。



1-3 門柱の設置 (※通用門付両開きの場合)

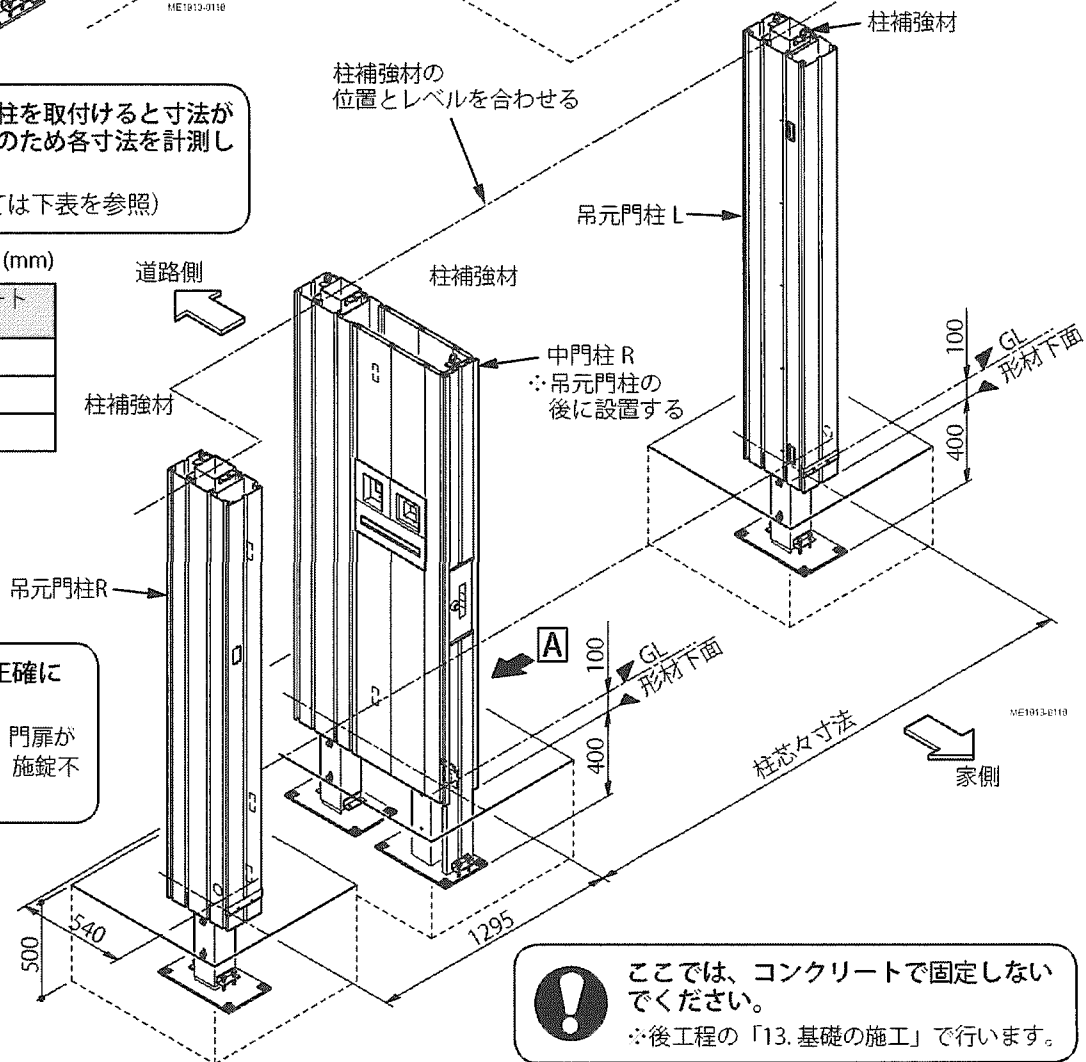
! 門柱の向きを確認して取付けてください。
 中門柱 : ポスト取出口が家側
 ※吊元門柱側は、14 ページを参照



! ベースプレートに門柱を取付けると寸法が決まりますが、確認のため各寸法を計測してください。
 (柱芯々寸法については下表を参照)

●柱芯々寸法表 (mm)


門扉の組合せ	ベースプレート 芯々寸法
W12 + W12	2680
W14 + W14	3080
W16 + W16	3480

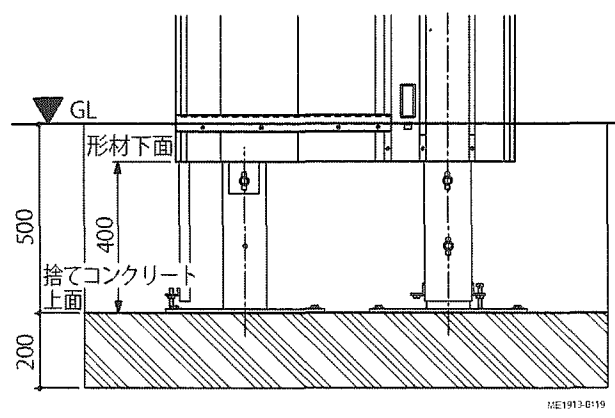



! 柱の位置とレベルを正確に合わせてください。
 ※正確に合わせないと、門扉が吊り込めなかったり、施錠不良の原因となります。

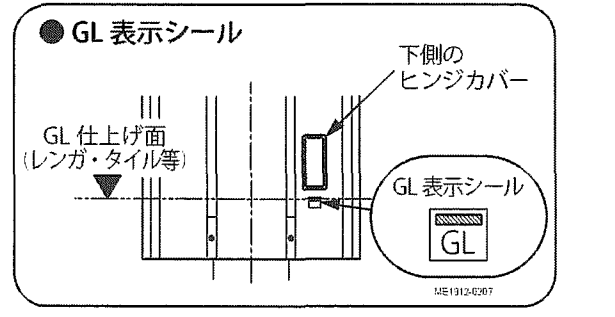
! ここでは、コンクリートで固定しないでください。
 ※後工程の「13.基礎の施工」で行います。

- ① 「1-2. 門柱の設置」と同様の手順で吊元門柱を設置してください。
- ② 「1-1. 門柱の準備」を参照して、中門柱に吊元門柱から取外したアイボルトを取付けてください。
- ③ 吊元門柱と同様の手順で中門柱を設置してください。
- ④ 必要に応じて、中門柱の高さ調整を行ってください。


 吊元門柱の高さ調整は、15 ページを参照してください。



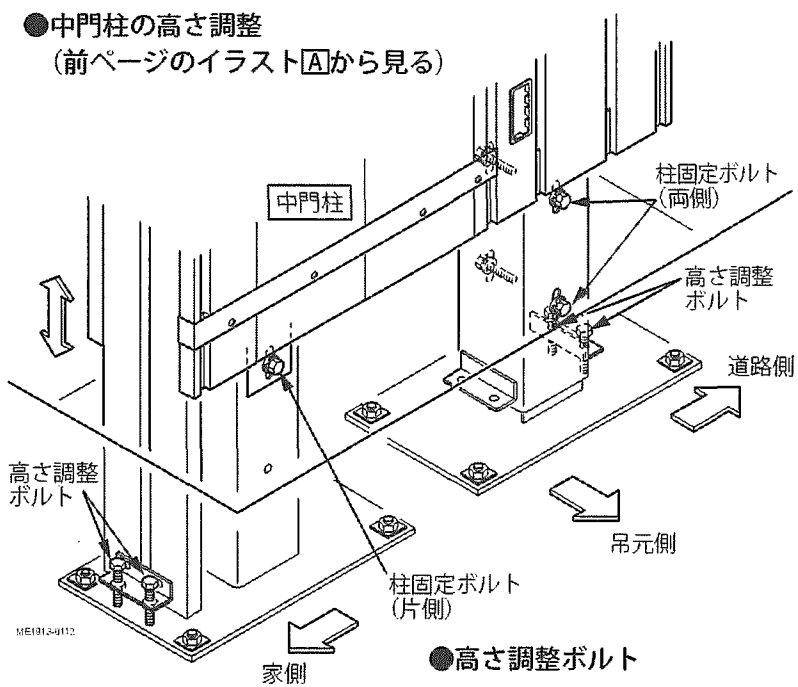
 下側のヒンジカバーの下にある GL 表示シールを目安にしてください。



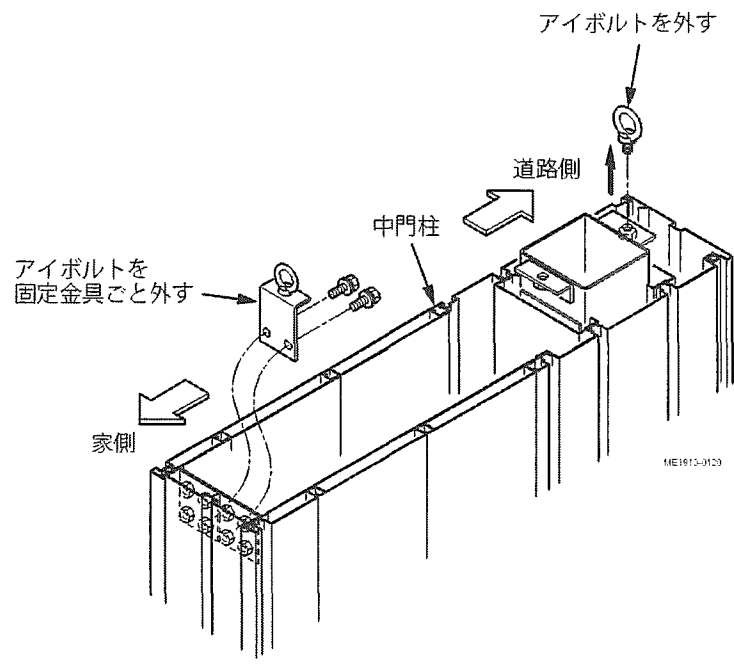
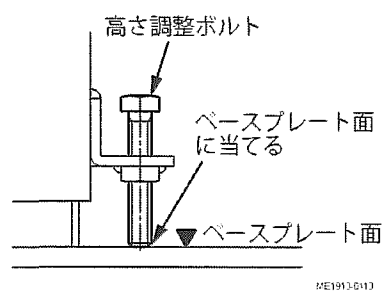
- ⑤ 中門柱とベースプレートの固定後、クレーンのワイヤーを外してください。
- ⑥ 中門柱からアイボルトを取外してください。

 中門柱の場合は、アイボルトを固定金具ごと取外してください。

● 中門柱の高さ調整
(前ページのイラストAから見る)



● 高さ調整ボルト



2

屋根の取付け

2-1 側面カバーの取外し

①テープ止めされている側面カバー部の溝ふさぎ材を外してください。



溝ふさぎ材は各溝に適した長さになっています。
「12-3. 門柱部品の取付け」で使用するので、
外した後は無くさないようにしてください。



右図は吊元門柱を示しています。
中門柱の場合も同様に溝ふさぎ材を外してください。

②側面カバーの取付ビスを外し、門柱から側面カバーを取外してください。

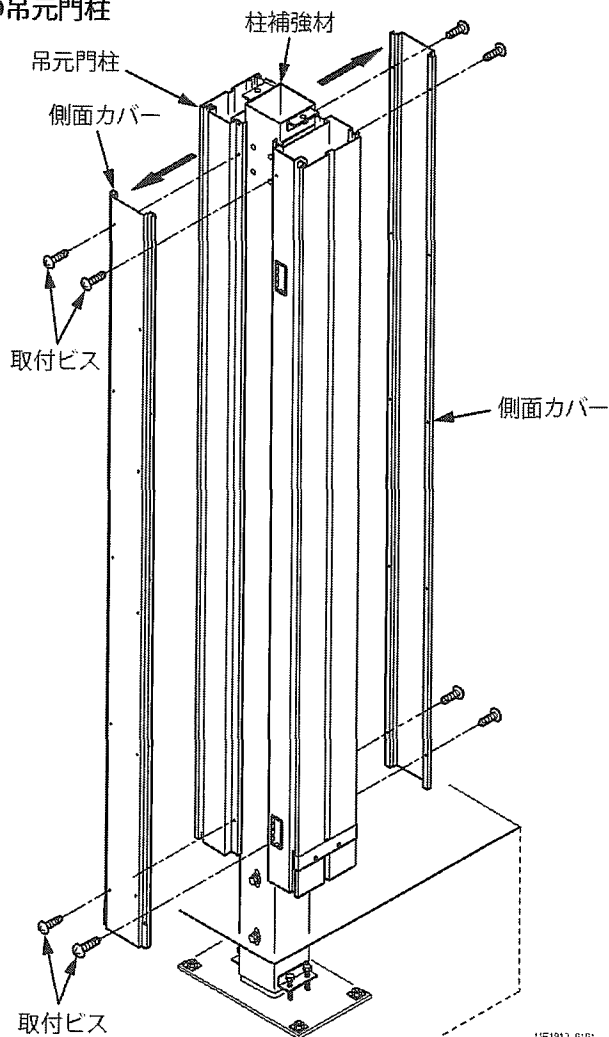


門柱には、出荷時に側面カバーが仮組みされています。(上下4ヶ所でビス止め)

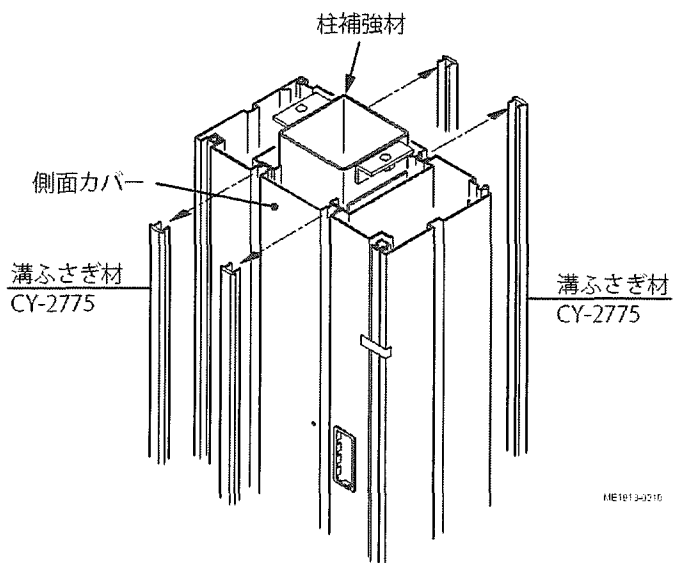


取外した側面カバーは「2-3. 側面カバーの取付け」で使用するので、キズがつかないように保管してください。

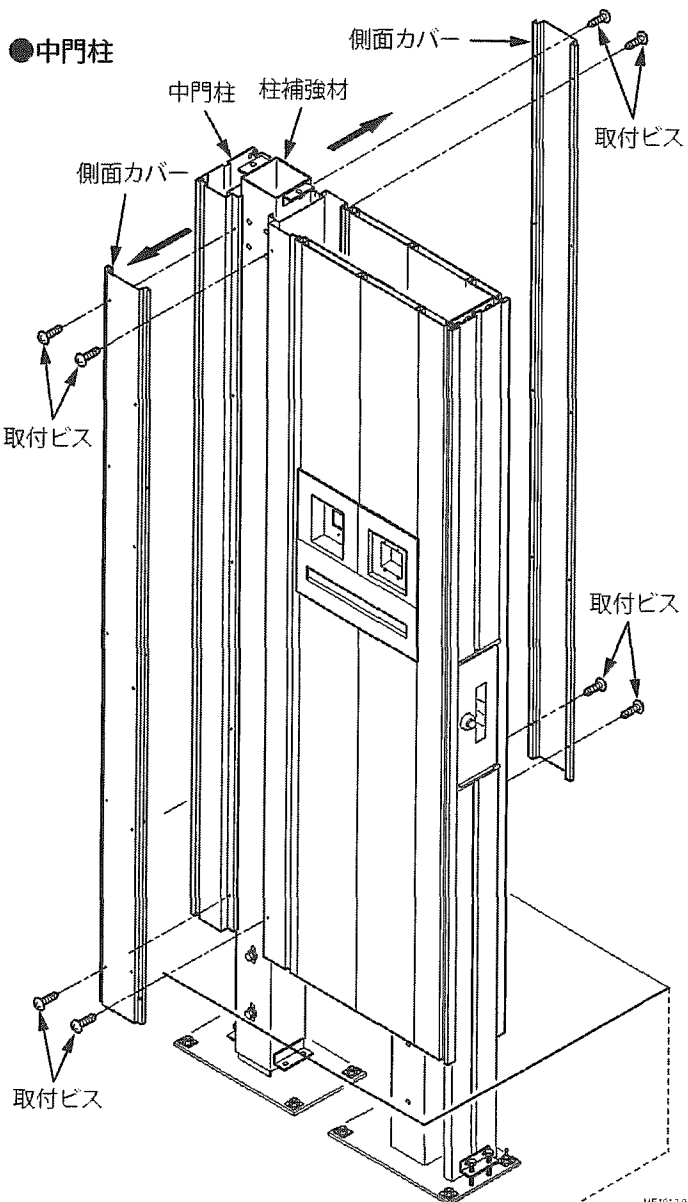
●吊元門柱



ME1913-01B



ME1913-01C

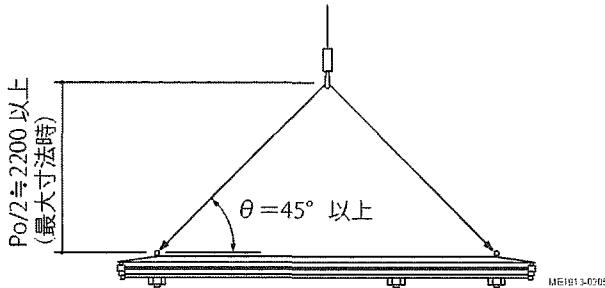


ME1913-01D

2-2 屋根の取付け

注意

吊上げワイヤーの角度は、 $\theta = 45^\circ$ 以上の角度になる長さのワイヤーを使用してください。



① クレーンで屋根を吊上げてください。



屋根を水平に取付けてください。
 ※ 奥行き方向、通り方向とも屋根に水勾配はありません。

② 門柱家側のスペースに雨樋ジャバラを通してください。

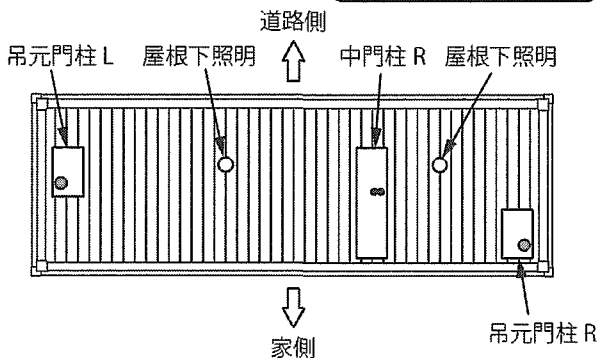
③ 「照明下照明付」の場合は、門柱家側のスペースに屋根下照明用 CD 管を通してください。



柱補強材の中には CD 管を通さないでください。

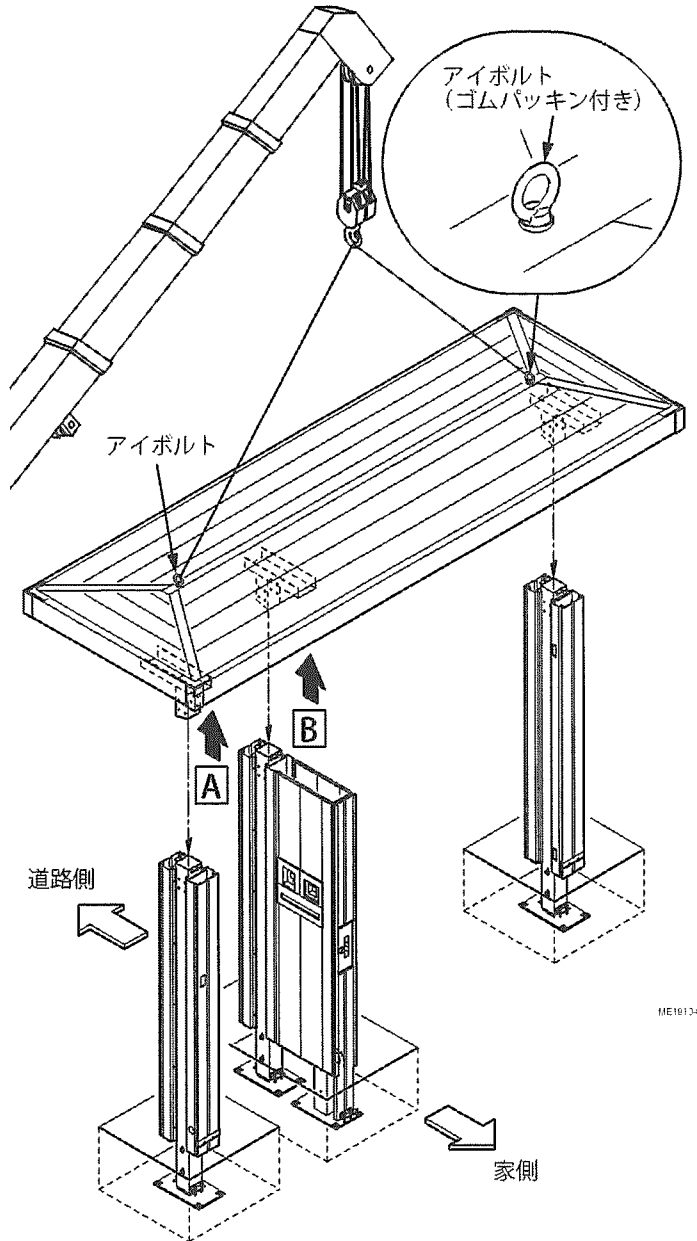
● 屋根見上げ図：
 通用門付両開きの場合

- : 雨樋ジャバラ
- : 屋根下照明用 CD 管



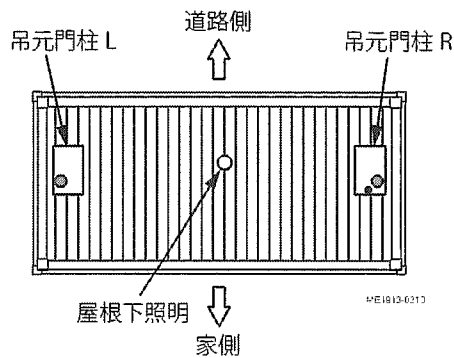
※ 屋根下照明用 CD 管を中門柱に 2 本通す

ME1913-0214



ME1913-0205

● 屋根見上げ図：両開きの場合



※ 屋根下照明用 CD 管を
 外観右側の吊元門柱に 1 本通す

ME1913-0213

屋根の取付け

④門柱に屋根を取付けてください。



吊元門柱の雨樋ジャバラが柱取付金具とからまないよう引き出してください。

※引き出せる範囲で引き出してください。無理に引き出すと、雨樋ジャバラが破損する場合があります。

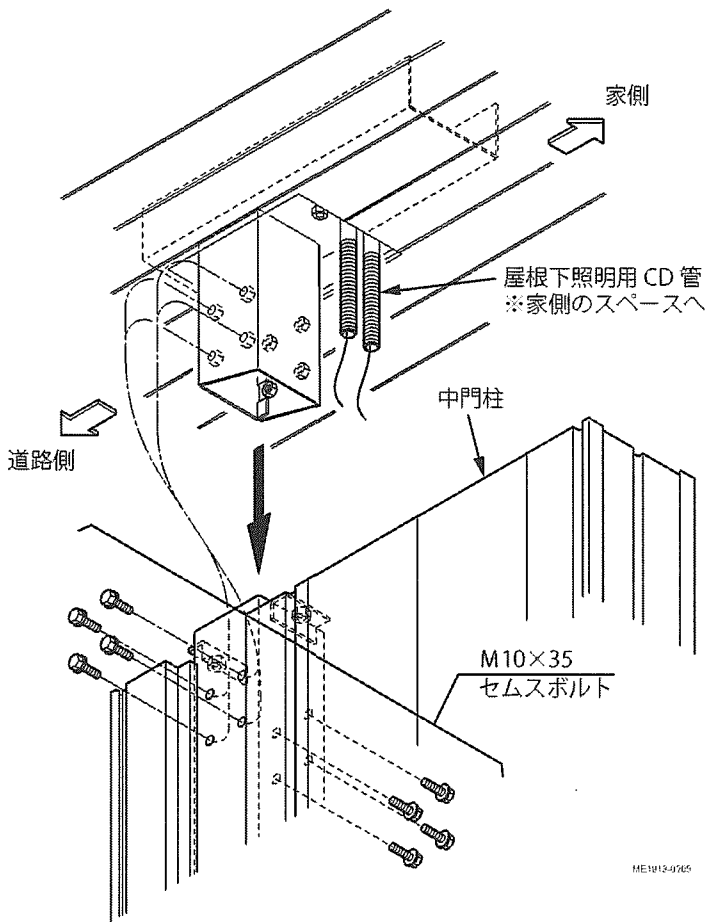


屋根を水平に取付けてください。

※奥行き方向、通り方向とも屋根に水勾配はありません。

●中門柱

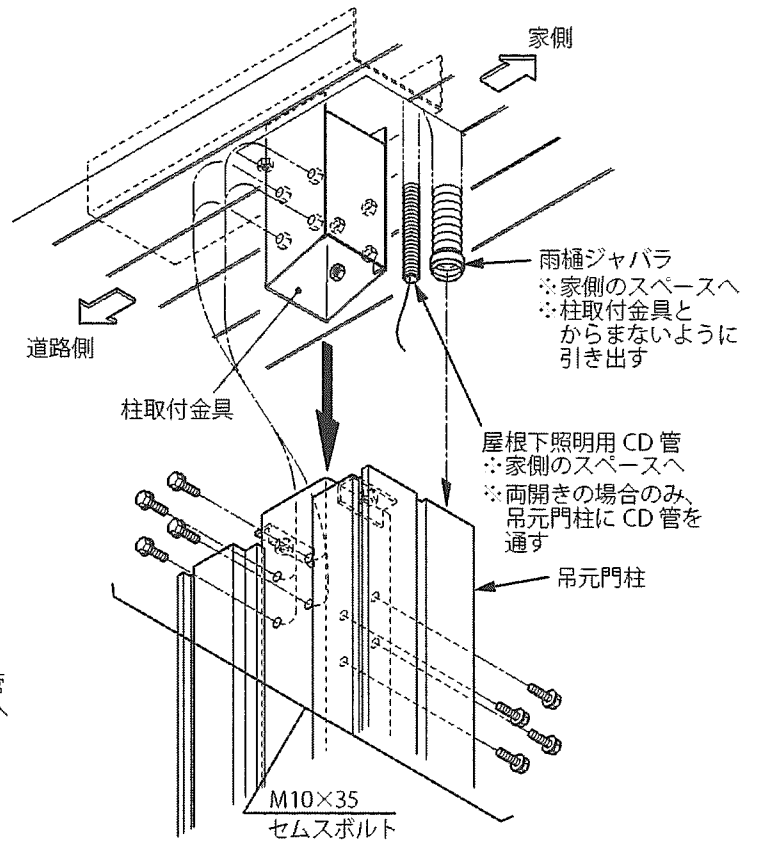
(前ページのイラスト④から見る)



※本図は、「屋根下照明付」の場合を示しています。

●吊元門柱

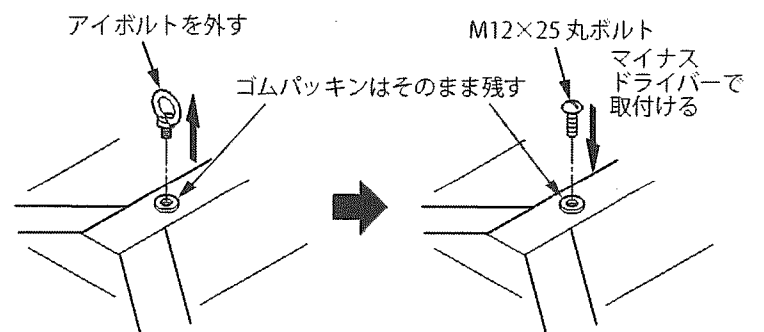
(前ページのイラスト④から見る)



ME1913-0268

※本図は、「屋根下照明付」の場合を示しています。

⑤アイボルトを外し、マイナスドライバーを使用して、ゴムパッキンと丸ボルトを取付けてください。

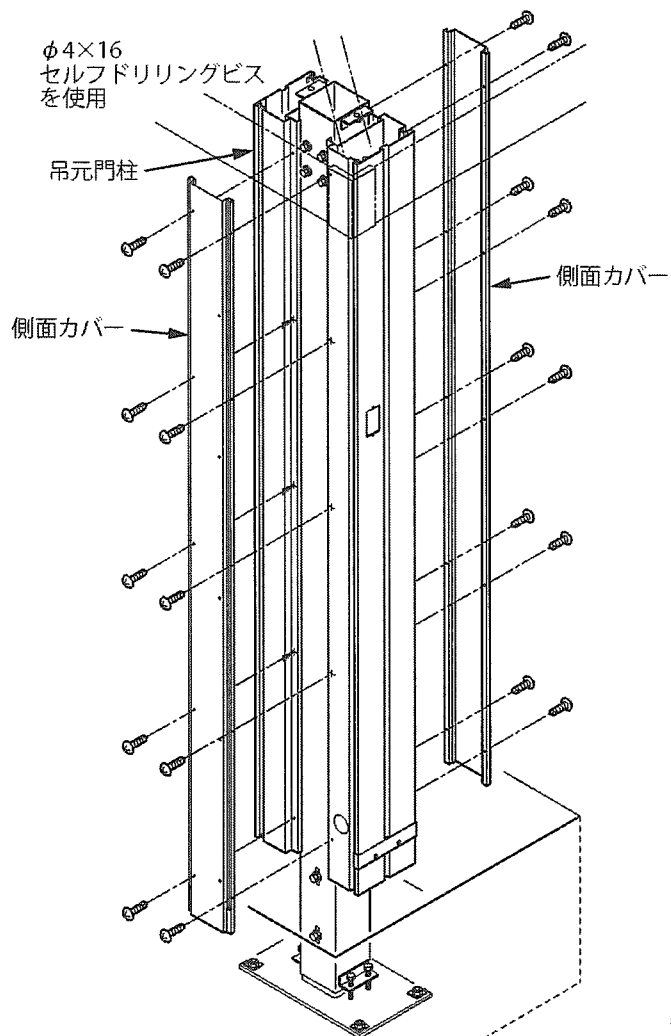


ME1913-0264

2-3 側面カバーの取付け

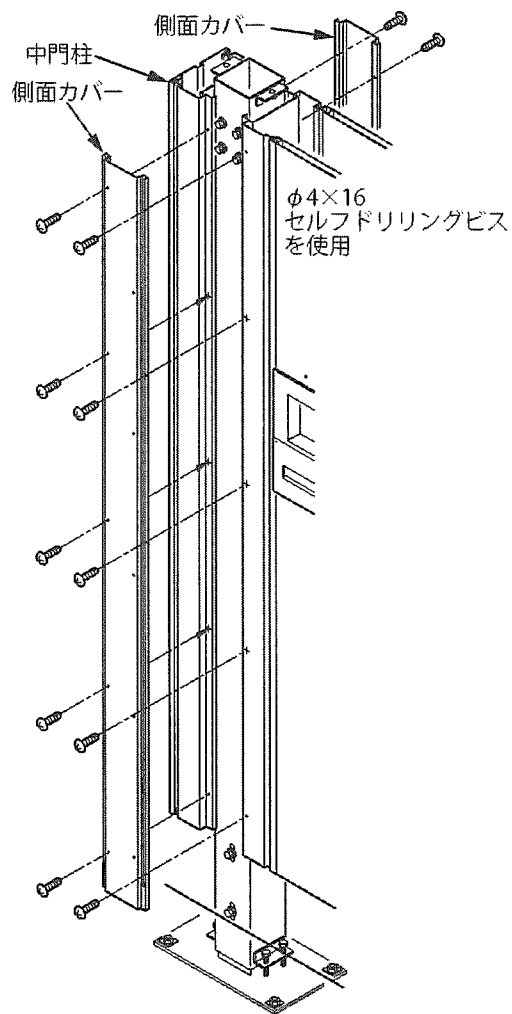
①「2-1. 側面カバーの取外し」で門柱から取外した側面カバーを、 $\phi 4 \times 16$ セルフドリリングビスを使用して再度取付けてください。

●吊元門柱



ME1913-0708

●中門柱



ME1913-0718

3

ヒンジの取付け

●前工程までに屋根が取付けられていますが、ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。

3-1 吊元門柱の場合

①テープ止めされている後パネル部の溝ふさぎ材を外してください。



取外した溝ふさぎ材は「12-3. 溝ふさぎ材の取付け」で使用するので無くさないようにしてください。

②後パネル取付ビスを取外してください



取外したビスは「12-1. 後パネルの固定」で使用するので無くさないようにしてください。

(φ4×16ナベタッピン3種)

③後パネルを開いてください



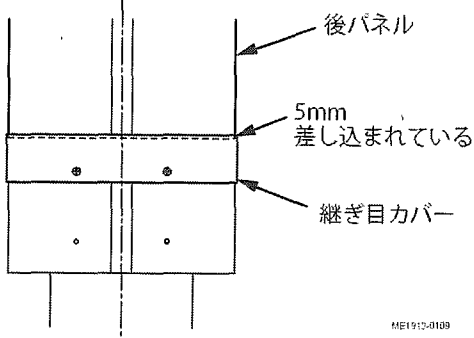
後パネルを無理に全開しないでください。

※後パネルは、70°程度まで開くことができます。

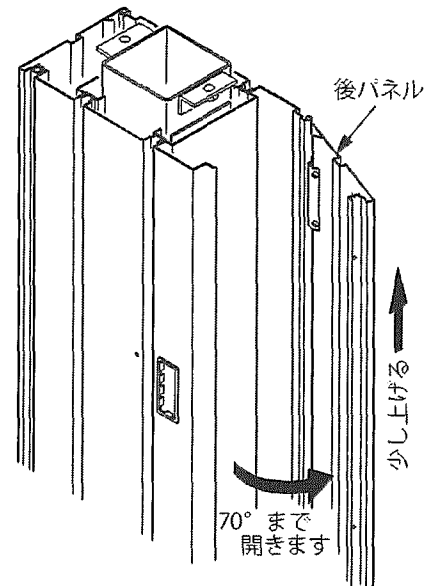
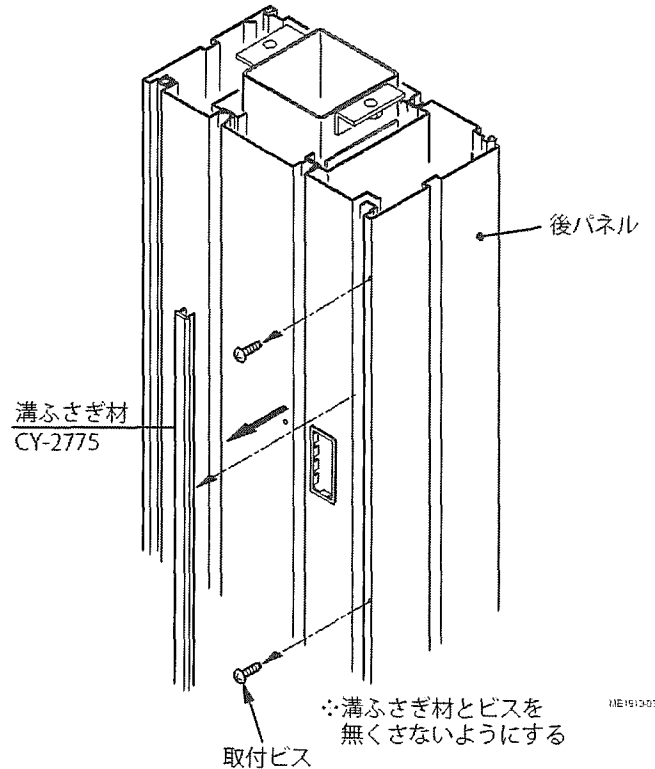


後パネルは継ぎ目カバーに5mm差し込まれています。持ち上げながら開いてください。

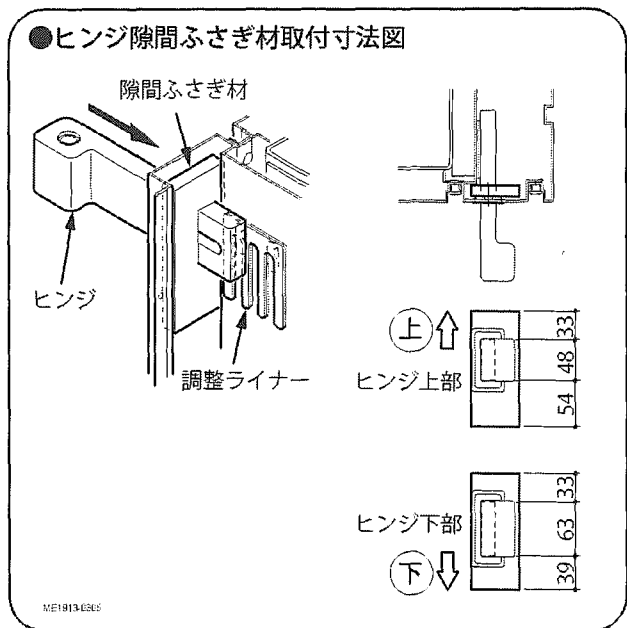
●後パネル下部



ME1912-0109

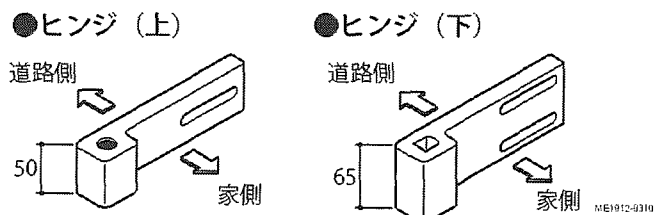


④門柱にヒンジ隙間ふさぎ材を挿入してください。



⑤「手順④」で挿入した隙間ふさぎ材の孔に合わせて、門柱にヒンジを挿入してください。

ヒンジには上・下および向きがあります。

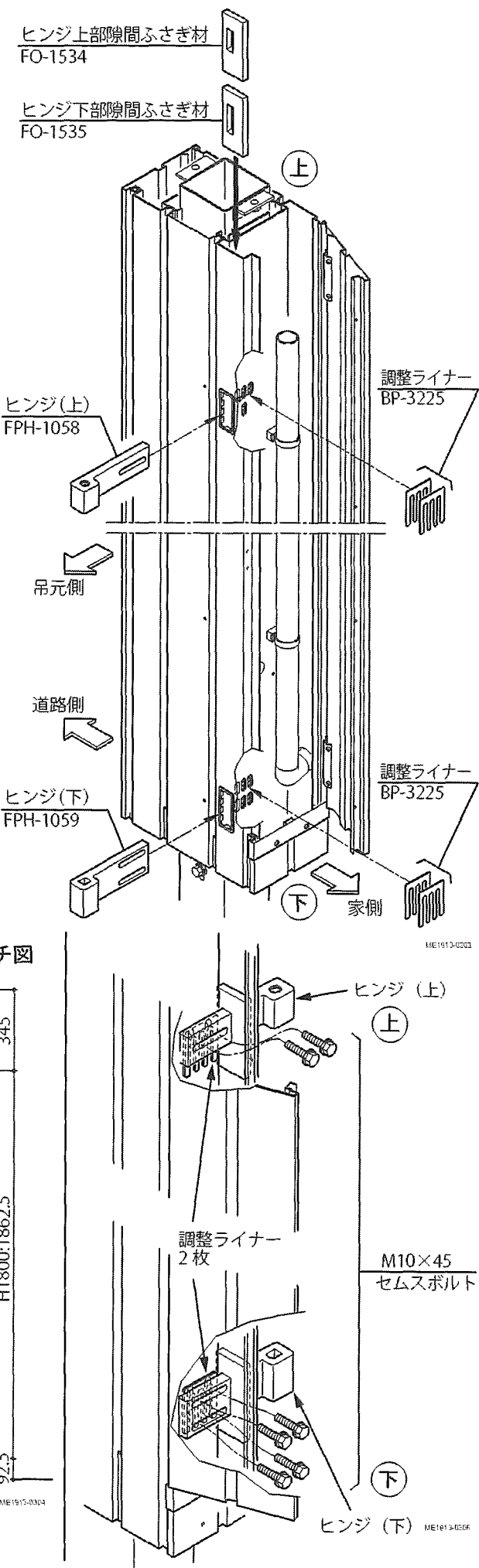
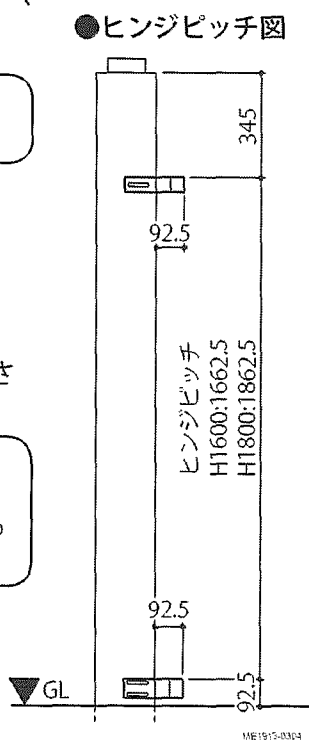


⑥必要に応じて、調整ライナーを使用してヒンジレベルを調整してください。

調整ライナー：t=2.0mm
 ※標準では、1ヶ所につき2枚使用

⑦ヒンジの長孔中央をボルトで仮止めしてください。

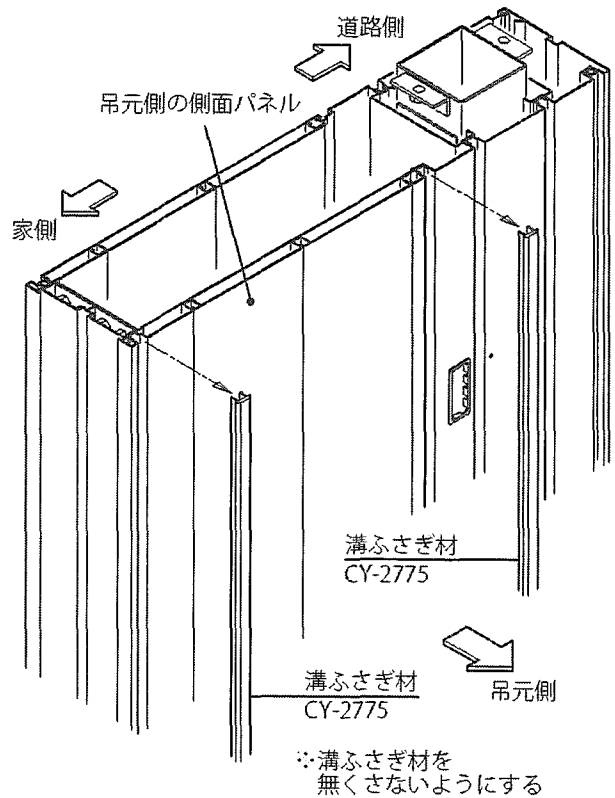
ここでは、ボルトを本締めしないでください。
 ※ボルトの本締めは、「6-2. ヒンジの調整」の後で行います。



3-2 中門柱の場合

①テープ止めされている吊元側の側面パネルの溝ふさぎ材を外してください。

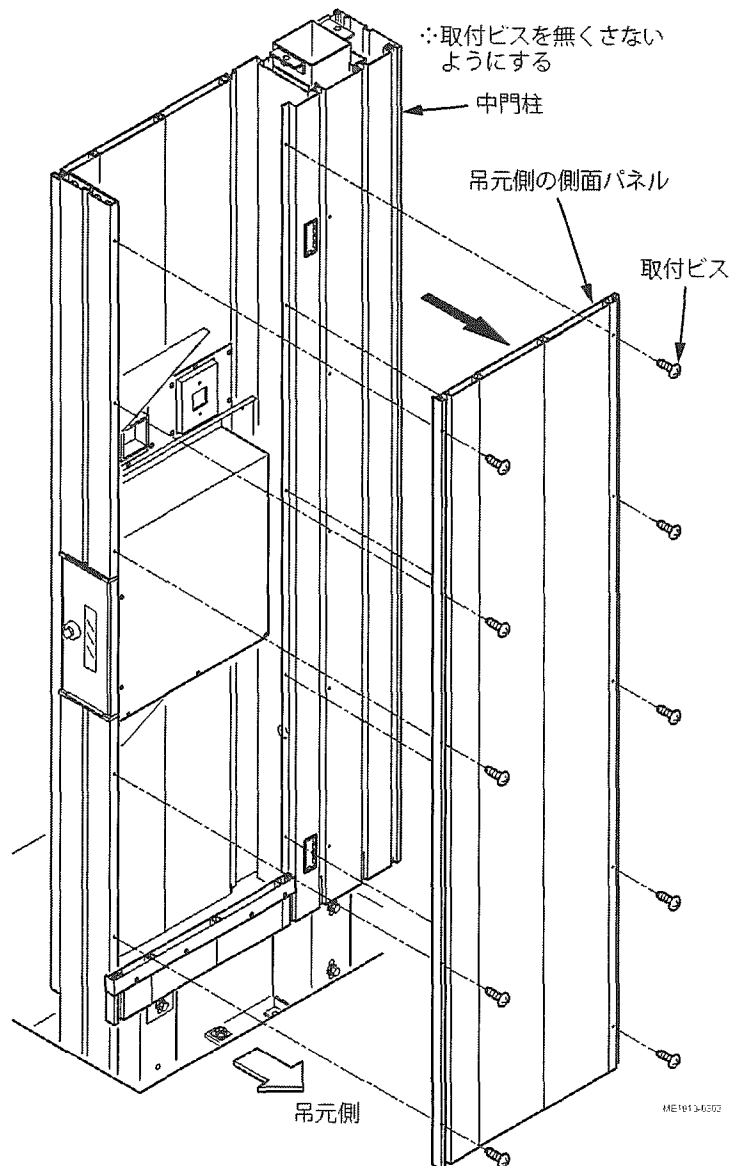
! 取外した溝ふさぎ材は「12-3. 溝ふさぎの取付け」で使用するので無くさないようにしてください。



②中門柱の吊元側の側面パネルを取外してください。

! 取外したビスは「12-2. 吊元側側面パネルの取付け」で使用するので無くさないようにしてください。
(φ 4 × 16 ナベタップピン 3種)

③前ページの吊元門柱と同じ要領で、中門柱にヒンジを取付けてください。



4

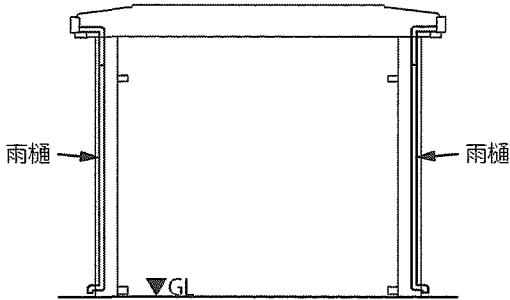
雨樋の取付け

●前工程までに屋根が取付けられていますが、ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。

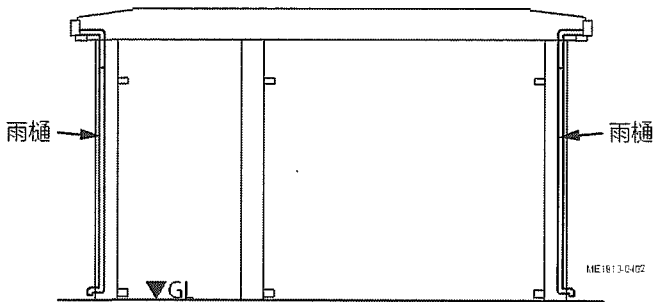


雨樋は両側の吊元門柱に取付きます。

●両開き



●通用門付両開き



①吊元門柱の後パネルを開いてください。

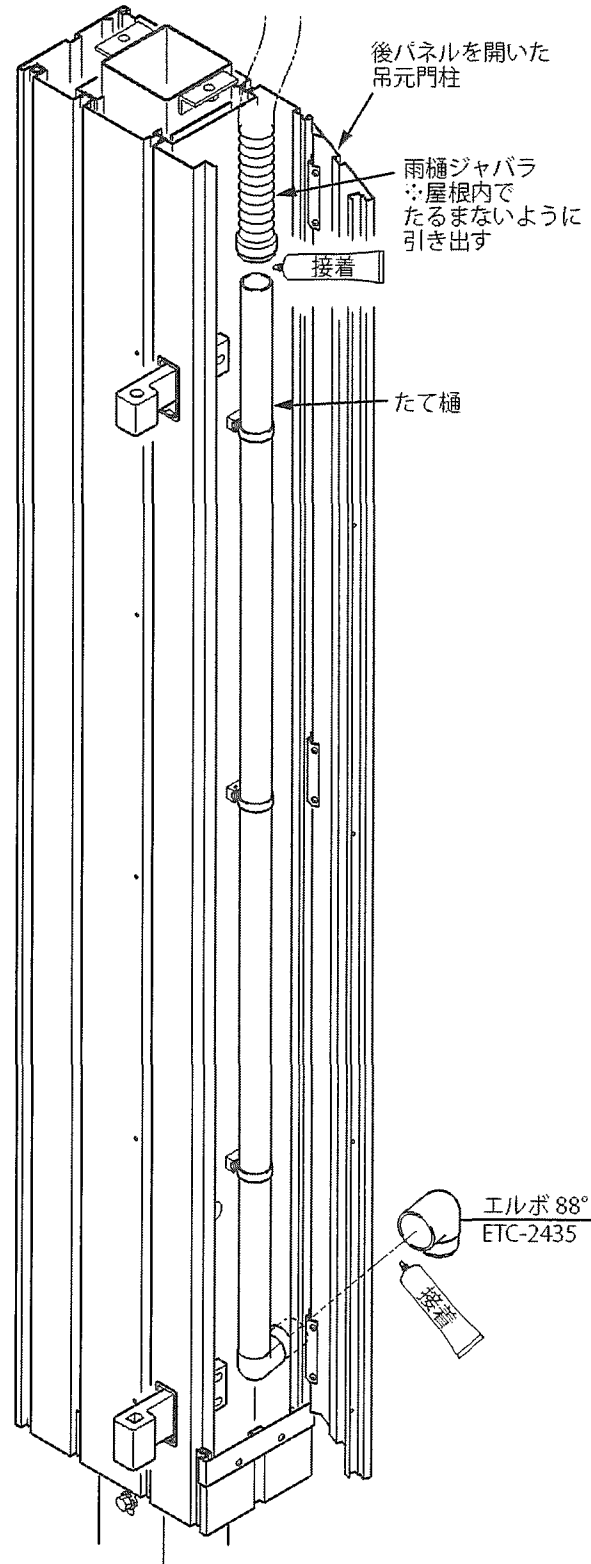
②たて樋に雨樋ジャバラを取付けてください。



吊元門柱の雨樋ジャバラが柱取付金具とからまないよう引き出してください。

※引き出せる範囲で引き出してください。無理に引き出すと、雨樋ジャバラが破損する場合があります。

③たて樋にエルボを取付けてください。



ME1613-0401

5

屋根下照明用 CD 管の取付け

●前工程までに屋根が取付けられています、ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。



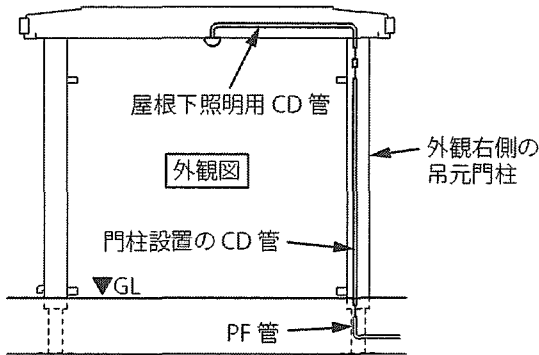
「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

①門柱の家側スペースに CD 管を設置してください。

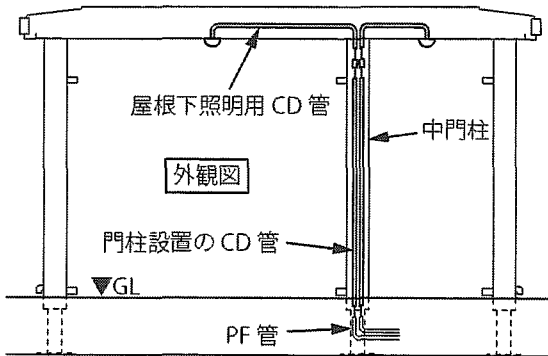


CD 管の設置位置
両開き：外観右側の吊元門柱
通用門付：中門柱

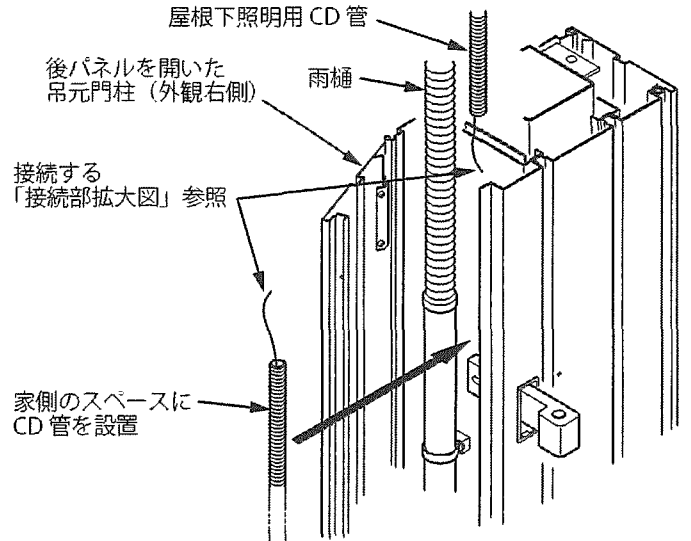
●両開き



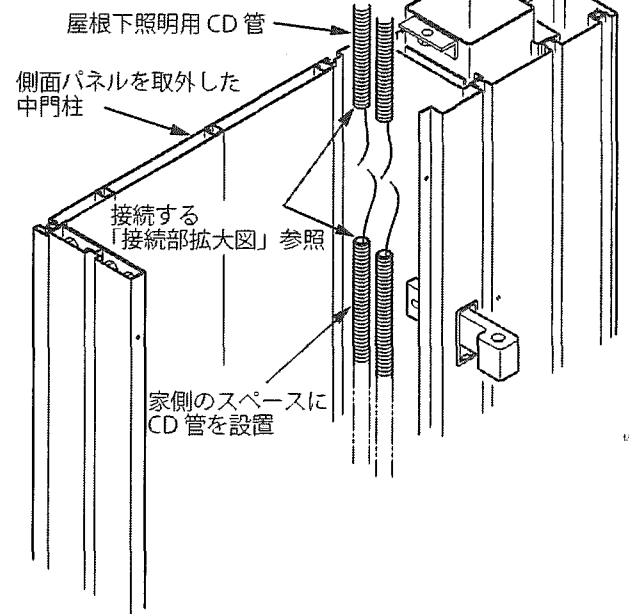
●通用門付両開き



●吊元門柱の場合



●中門柱の場合



② CD 管どうしをカップリングで接続してください。



結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。

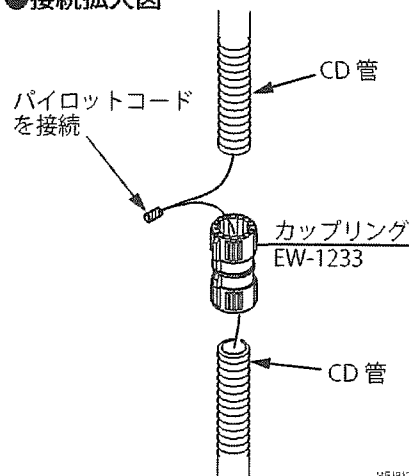


電源線の引き込みは、CD 管に入っているパイロットコードを使用してください。



現場の状況によっては、PF 管・CD 管の切断が必要になる場合があります。

●接続拡大図



6

門扉の吊り込み

●前工程までに屋根が取付けられています。ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。

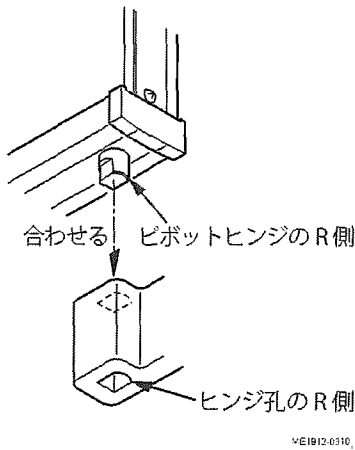
6-1 門扉の吊り込み

①門扉下部は、ピボットヒンジをヒンジ（下）に差し込んでください。

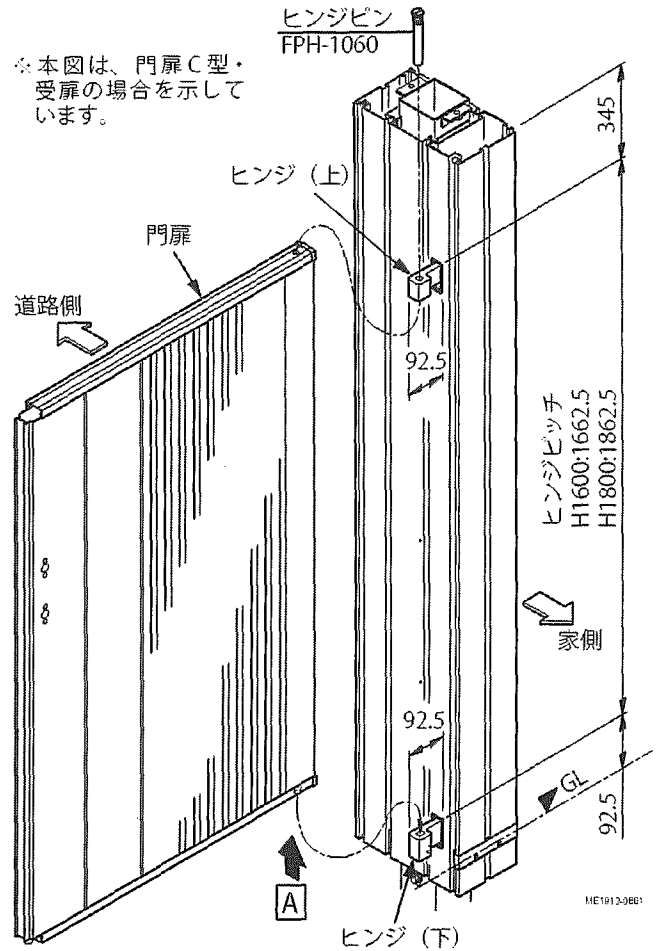
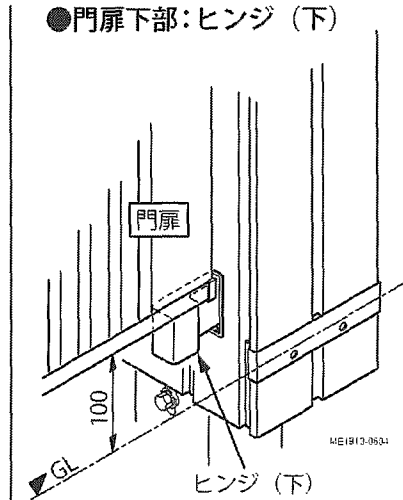


- オートクローザ付き門扉は、オートクローザの調整窓が家側になります。
- ピボットヒンジには向きがあります。ピボットヒンジのR側をヒンジのR側に合わせて差し込んでください。

●右図のAから見る



●門扉下部：ヒンジ（下）



②門扉上部は、ヒンジピンをヒンジ（上）に挿入し、締付けてください。

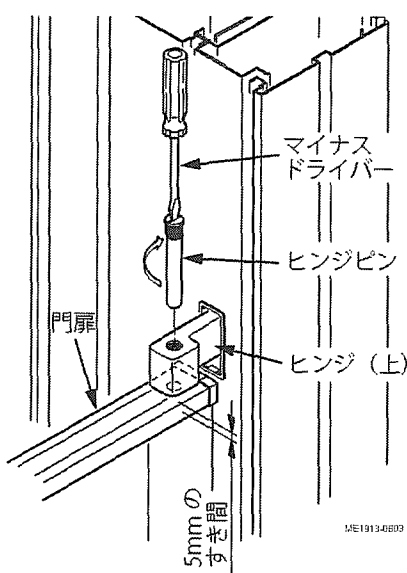


ヒンジピンの締め込みには、マイナスドライバーを使用してください。

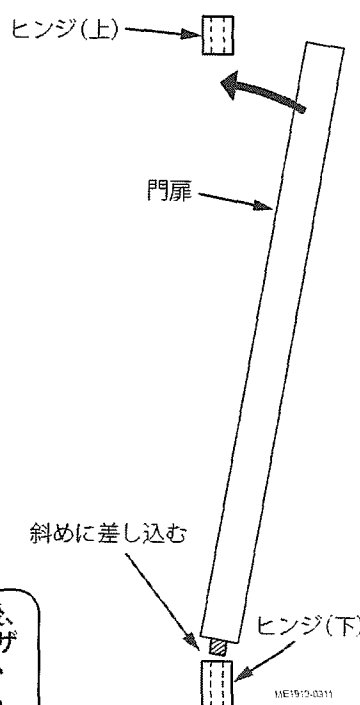


門扉上部とヒンジのすき間：5mm
門扉下部～GL間：100mm

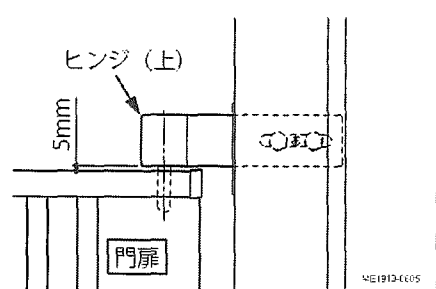
●門扉上部：ヒンジ（上）



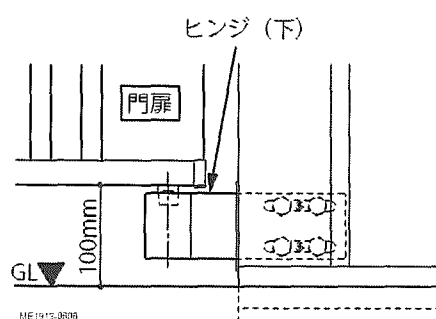
●吊り込みのポイント



●門扉上部とヒンジのすき間



●門扉下部とGL間



オートクローザ付き門扉は、吊り込み後、「6-2. ヒンジの調整」、「7. オートクローザの調整」が完了するまで門扉を開かないでください。オートクローザが破損する場合があります。

6-2 ヒンジの調整

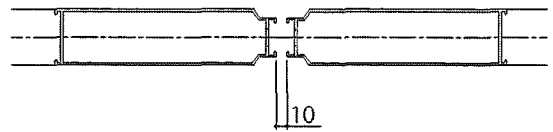
! 調整中に門扉本体が倒れないように注意してください。

①必要に応じて、ヒンジ位置を調整してください。

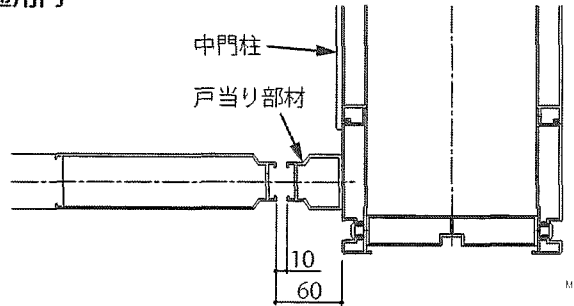
! 両開きの場合は、左右を均等に調整してください。

! 戸先側チリ寸法：10mm に調整

●両開き



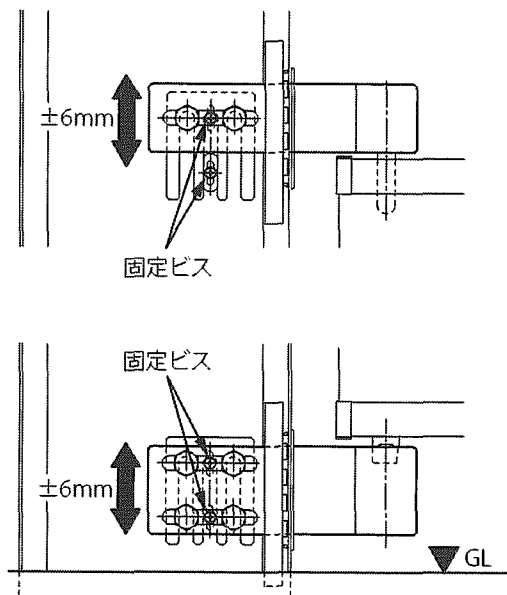
●通用門



ME1013-0607

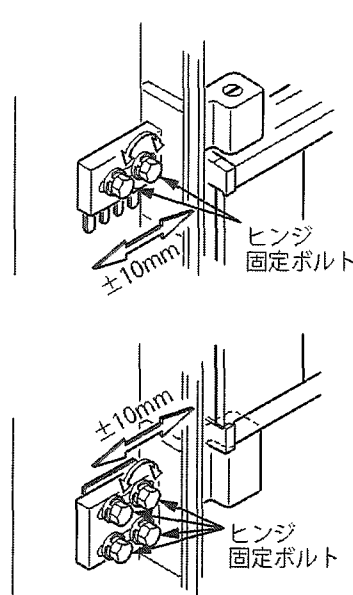
上下調整

●門柱の固定ビスを緩めて調整してください。



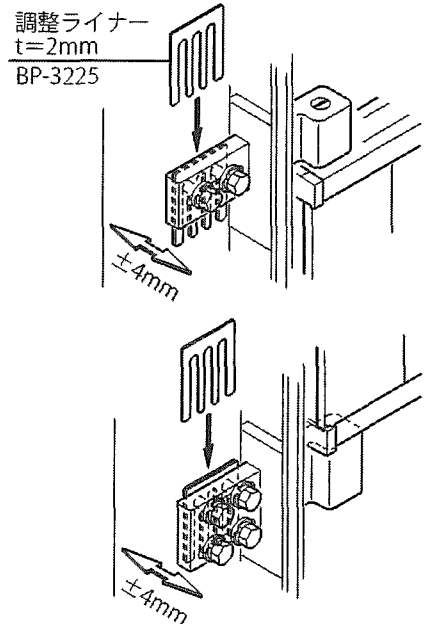
左右調整

●ヒンジの固定ボルトを緩めて調整してください。



前後調整

●調整ライナーを使用して調整してください。(標準2枚、最大4枚まで)



ME1013-0608

! 調整後は、各ボルト・ビスを確実に締付けてください。

7

オートクローザの調整 (電気錠タイプ)

- 電気錠タイプの施錠扉には、オートクローザが取付けられています。(標準錠タイプにはありません。)
- 本図は、「右勝手」の場合を示しています。

7-1 調整前の確認

- 本商品のオートクローザは、門扉の吊り込み後にスプリングの巻き込み作業が必要です。
- ここでは調整にあたっての確認事項を説明しています。
- 調整方法は、次ページの「7-2. スプリング調整窓の調整」「7-3. 速度調整窓の調整」を参照してください。



オートクローザの調整窓は、施錠扉の吊元・家側にあります。

- 雨水などがかからない状態で調整してください。
- 門扉を閉じた状態で調整してください。
- 調整が完了するまで門扉を開かないでください。
- 門扉は 180° 以上開きませんが、オートクローザは 180° 以上門扉を開くと破損する場合があります。
- 自動で閉じかけている門扉を、無理に手で閉じないでください。破損の原因となります。



- 巻き込み過ぎ防止マーク以上を巻き込まないでください。
- 反対方向に巻き込まないでください。
- 開き角度が小さい場合、商品の特性上、閉じる速度が速くなる場合があります。



調整に使用する工具は、門扉内に梱包されています。



下表を参照して、セットピンを差し込む穴を確認してください。

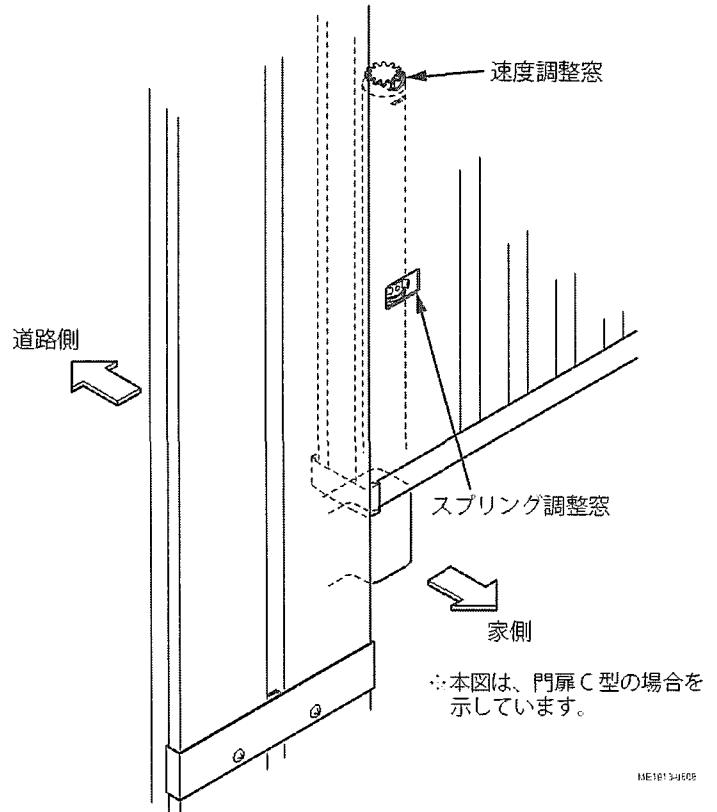
●セットピンを差し込む穴 (目安)

門扉サイズ	セットピンを差し込む穴
W10	6コ目
W12	6コ目
W14	7コ目
W16	7コ目

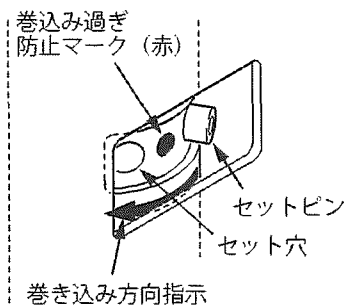


左勝手の場合は、セット穴の並びと巻き込み方向が左右対称になります。

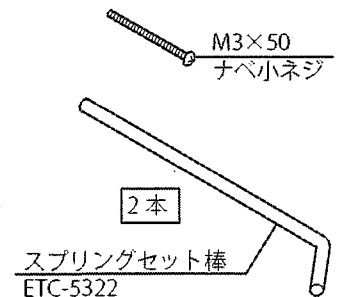
●調整窓の確認



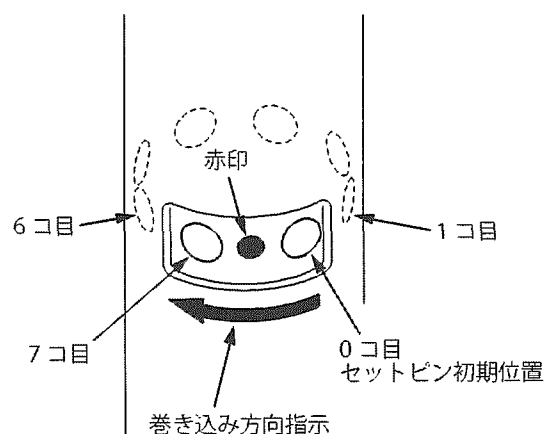
●巻き込み装置名称



●付属工具



●セットピンを差し込む孔

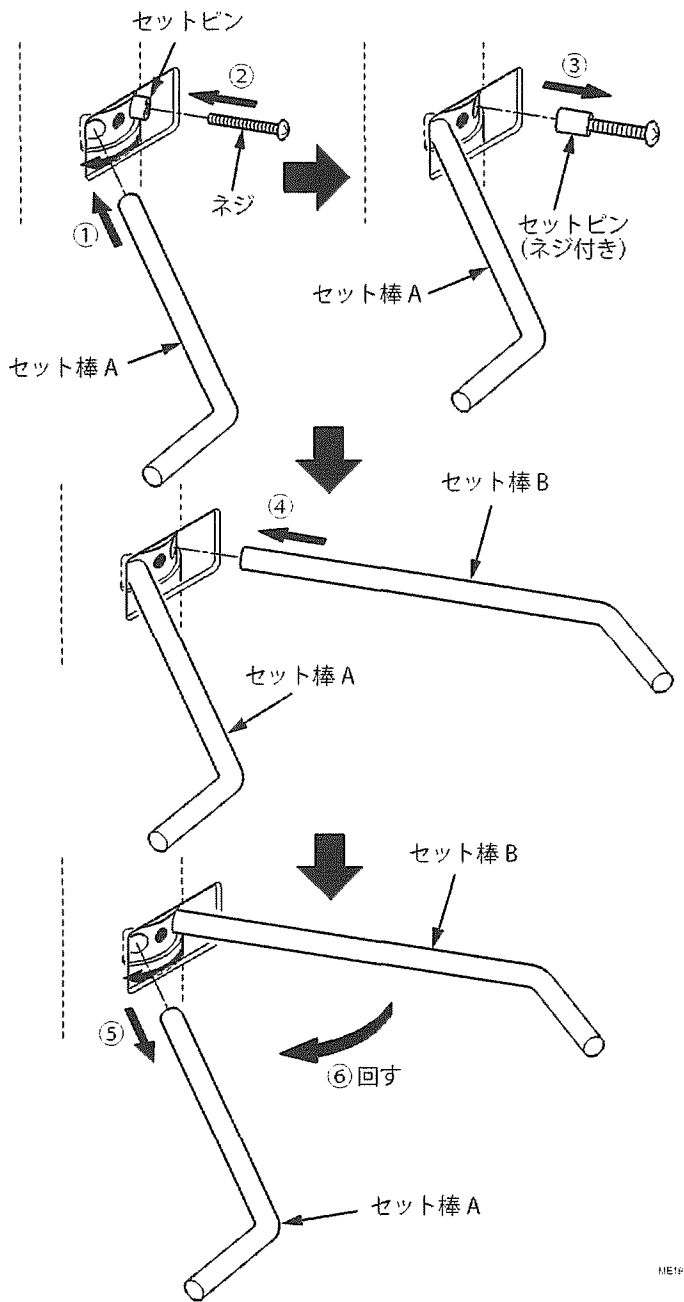


7-2 スプリング調整窓の調整



調整が完了するまで、セット棒を抜かない
でください。
※途中でセット棒を抜くと、スプリングが巻き
戻ります。

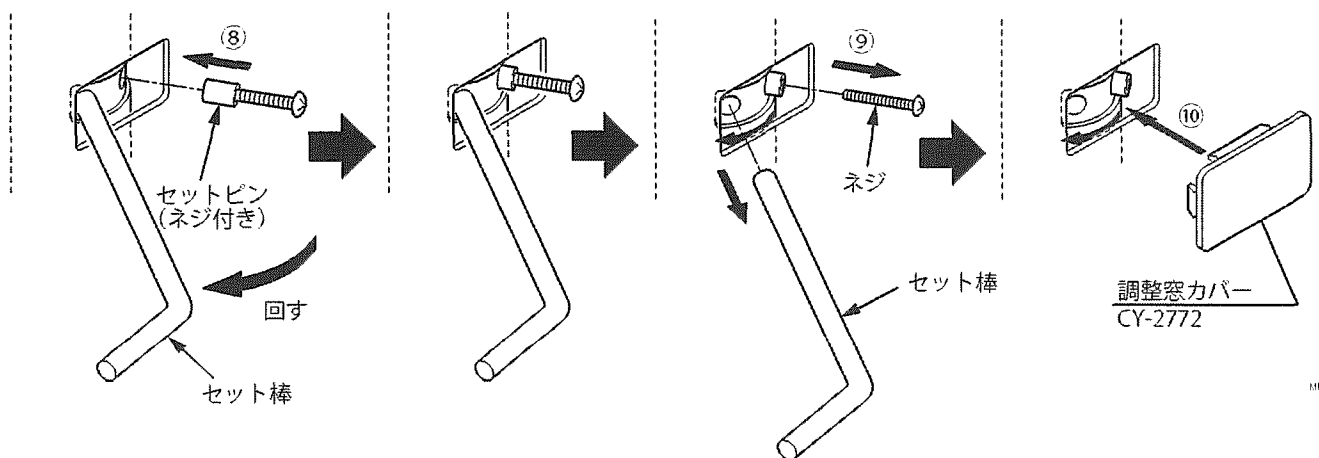
- ①セット穴にセット棒 A を差し込んでください。
- ②セットピンにネジをねじ込んでください。
- ③セットピンを抜いてください。
- ④セット棒 B をセット穴に差し込んでください。
- ⑤セット棒 A を抜いてください。
- ⑥セット棒 B を「左」に回してください。
- ⑦「手順④～⑥」を繰り返して、前ページの「セッ
トピンを差し込む穴」が調整窓から見えるまで、
巻き込み装置を回してください。
- ⑧「セットピンを差し込む穴」に、セットピンを
再び取付けてください。
- ⑨セットピンのネジを取外し、セット棒を抜いて
ください。
- ⑩調整窓カバーを取付けてください。



ME1912-0493



調整後は、調整窓カバーを確実に取付けて
ください。
※雨水の浸入等でオートクローザが作動しなく
なる場合があります。



ME1912-0494

7-3 速度調整窓の調整

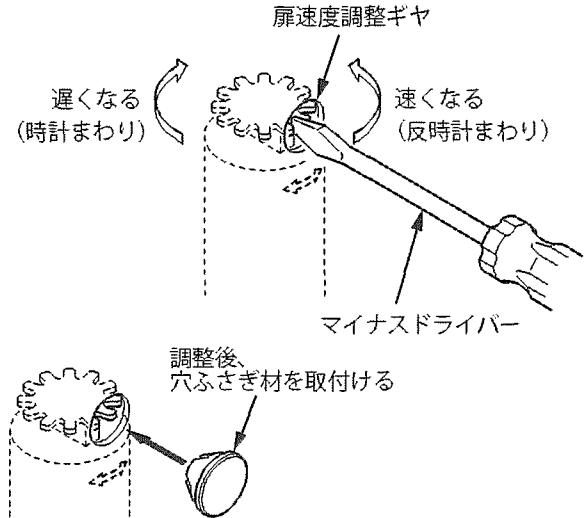
① マイナスドライバーを使用して、速度調整窓の扉速度調整ギヤを調整してください。

速度の調整

- ・速くする：ギヤを「反時計まわり」にまわす
- ・遅くする：ギヤを「時計まわり」にまわす

② 調整後、速度調整窓に穴ふさぎ材を取付けてください。

! 門扉の取替え、調整等で門扉を取外す場合は、逆の作業を行って、必ずスプリングの巻き込みを元に戻してください。



ME1012-0408

7-4 トラブルQ&A

●万が一「オートクローザ」の動作に不具合が発生した場合、下記項目をご確認ください。

症 状	チェック項目	処 置
扉が開まり切らない。	スプリングを巻き込みましたか？	所定巻数に設定してください。(門扉幅に合わせて設定する。)
	上部ヒンジと下部ヒンジとの軸芯はでていますか？	ヒンジを調整し、軸芯ズレを解消してください。
	門扉と柱、門扉と門柱のチリ寸法は正しいですか？	ヒンジを調整し、チリ寸法を合わせてください。
	速度調整が遅すぎませんか？	速度調整でF方向(速くなる)へ調整してください。
閉じ速度が早い。	速度調整をしましたか？	速度調整でS方向(遅くなる)へ調整してください。
扉が開いていく。	スプリングを逆に巻き込んでいませんか？	スプリングを正規方向に巻き直してください。
扉開閉時、きしみ音がある。	ヒンジ取付ビス等は緩んでいませんか？	ヒンジ取付ビスの増し締めをしてください。

8

結線ボックスの取付け (電気錠タイプ)

- 各電装品の取付位置は、「配線図」を参照してください。
- 錠本体の取付については、PK型錠（標準錠）・EL型錠（電気錠）の取付説明書 [ME-1920] を参照してください。

8-1 結線ボックスの取付け



「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

①門柱の後パネルを開けてください。



開けかたは22ページを参照してください。

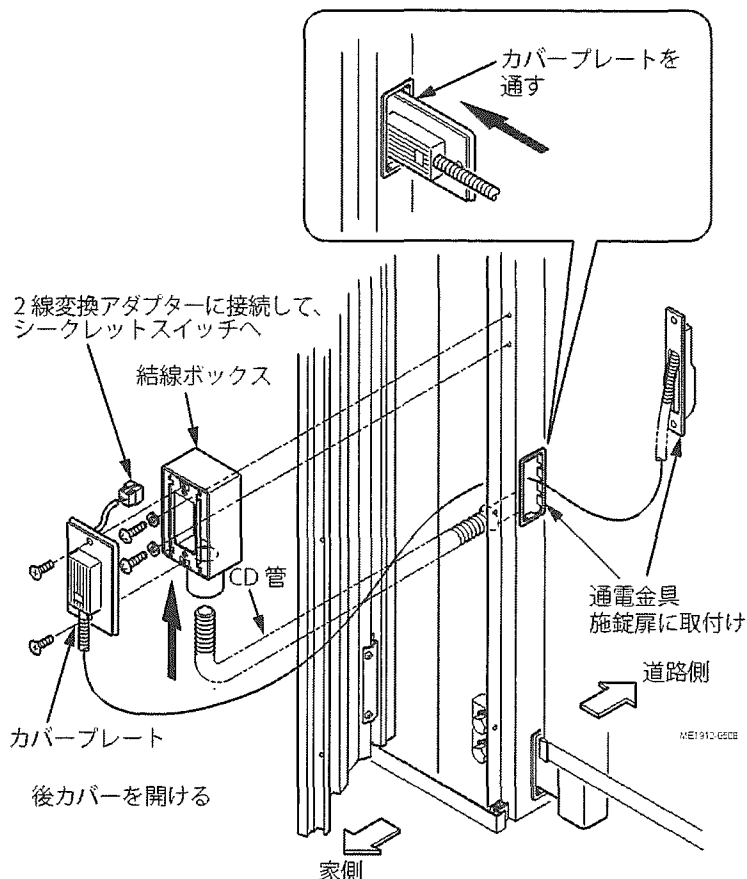
②門柱に結線ボックスを取付けてください。

③図を参照して、門柱の穴からカバープレートを通してください。

④ [ME-1920] を参照して、2線変換アダプター・コネクタを接続してください。



結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。



8-2 通電金具の取付け



「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

①門扉内配線のコネクタと通電金具のコネクタを接続してください。

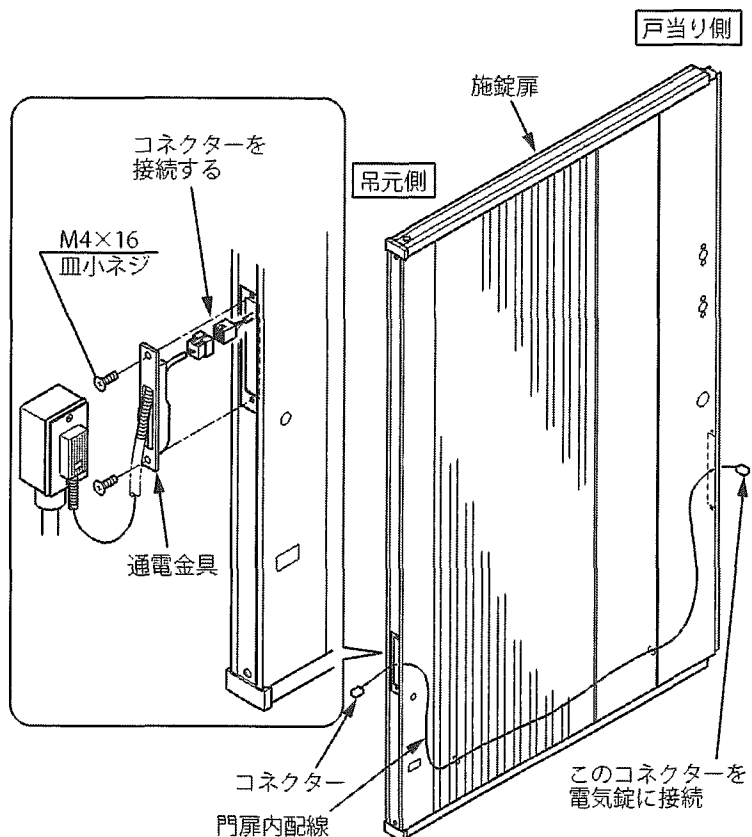


結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。

②施錠扉に通電金具を取付けてください。



取付および結線についての詳細は、PK型錠（標準錠）・EL型錠（電気錠）の取付説明書 [ME-1920] を参照してください。



9

錠の取付け

●錠本体の取付けについては、PK型錠（標準錠）・EL型錠（電気錠）の取付説明書 [ME-1920] を参照してください。



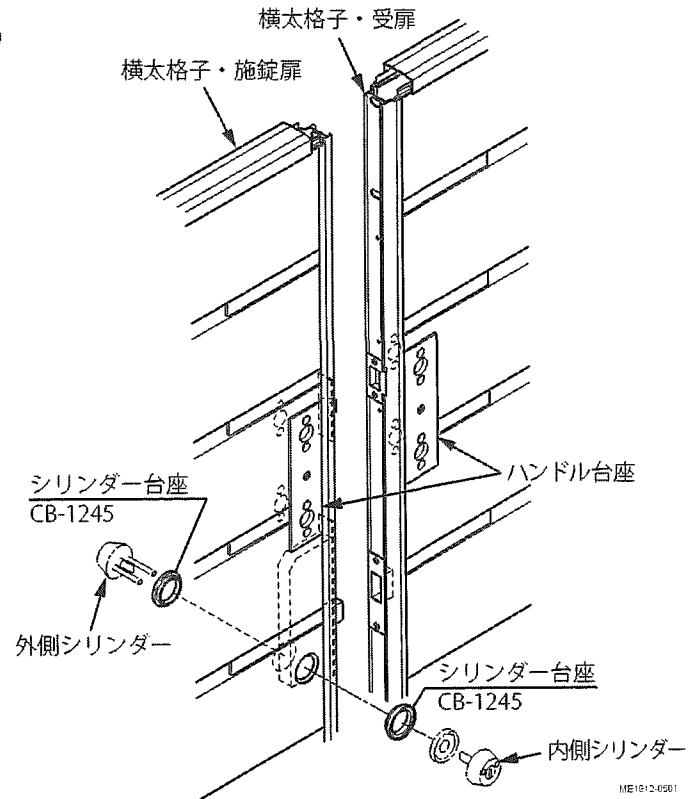
- 取付方法は、[ME-1920] を参照してください。
- 門扉 B 型（横太格子）の場合は、次の「9-1. 台座の取付け」を参照して台座を取付けてください。
- 通用門付両開きの場合は、次ページの「9-3. 戸当り部材の取付け」を参照して、戸当り部材を取付けてください。

9-1 台座の取付け（※B型門扉の場合）



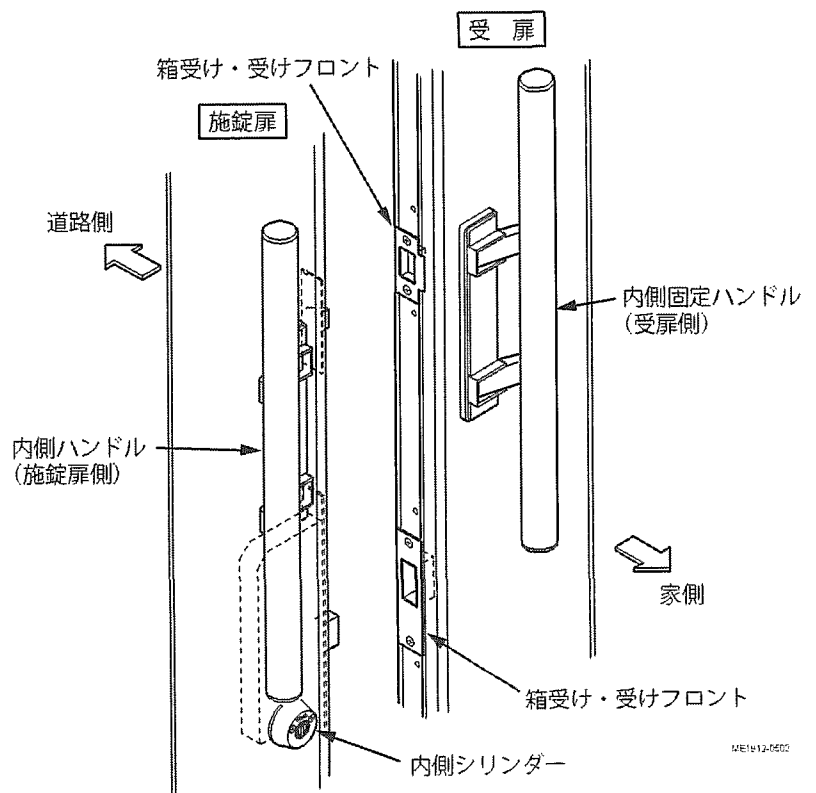
B型門扉（横太格子）の場合は、錠の取付前に台座を取付けてください。

- ①施錠扉にシリンダー台座を取付けてください。
- ②シリンダー台座にシリンダーを取付けてください。



9-2 錠の取付け

- ① [ME-1920] を参照して、門扉に錠を取付けてください。

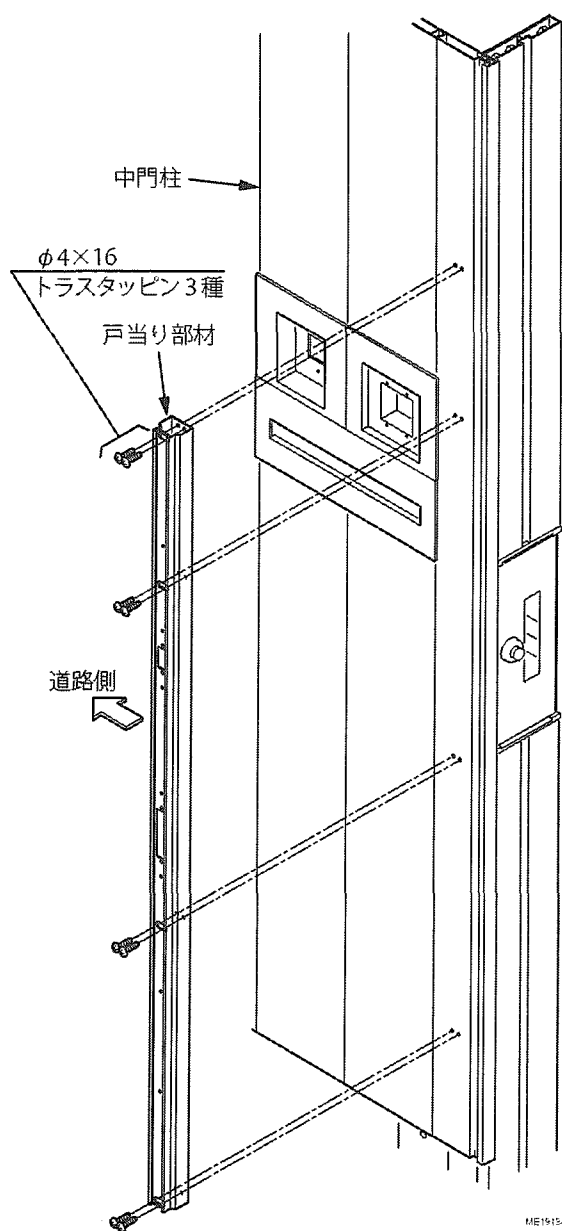


9-3 戸当り部材の取付け (※通用門付両開きの場合)

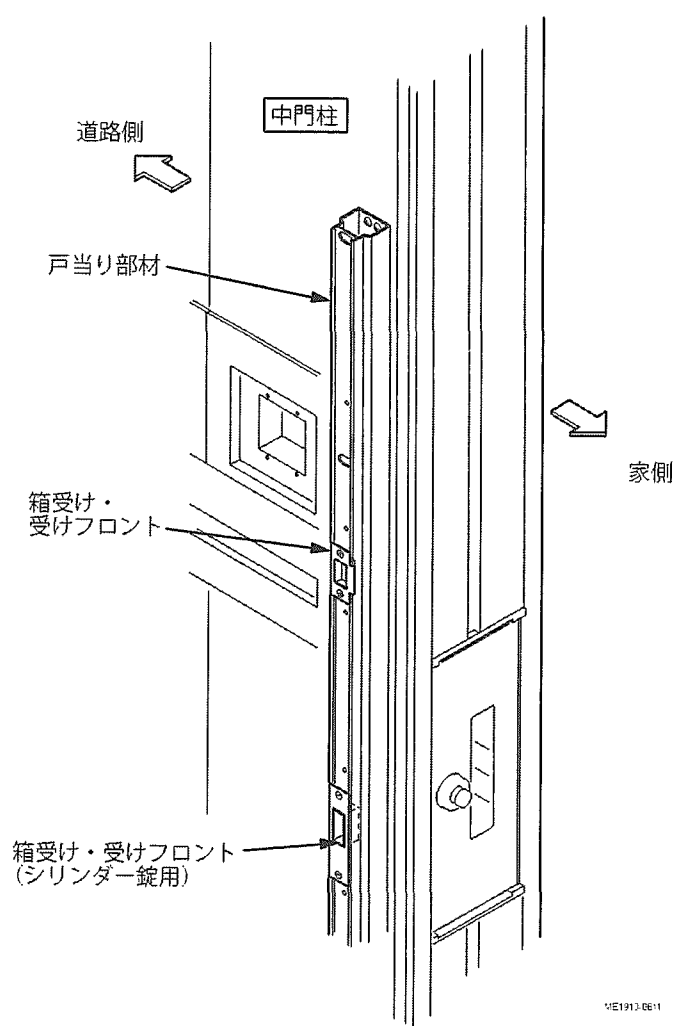


通用門付両開きの通用門は、中門柱の戸当り部材に錠受けを取付ます。

- ①中門柱に戸当り部材を取付けてください。
- ②戸当り部材に錠受けを取付けてください。



ME1915-0810



VE1913-0611

10

戸当り・ 召合縦框キャップの取付け

- 本図は「右勝手・内開き」の場合を示しています。
- 前工程までに屋根が取付けられています。ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。



戸当りを取付けると、チリ寸法や錠の掛かりが見えなくなります。取付の前に確認をしてください。
戸先側チリ寸法：10mm

10-1 門扉への取付け

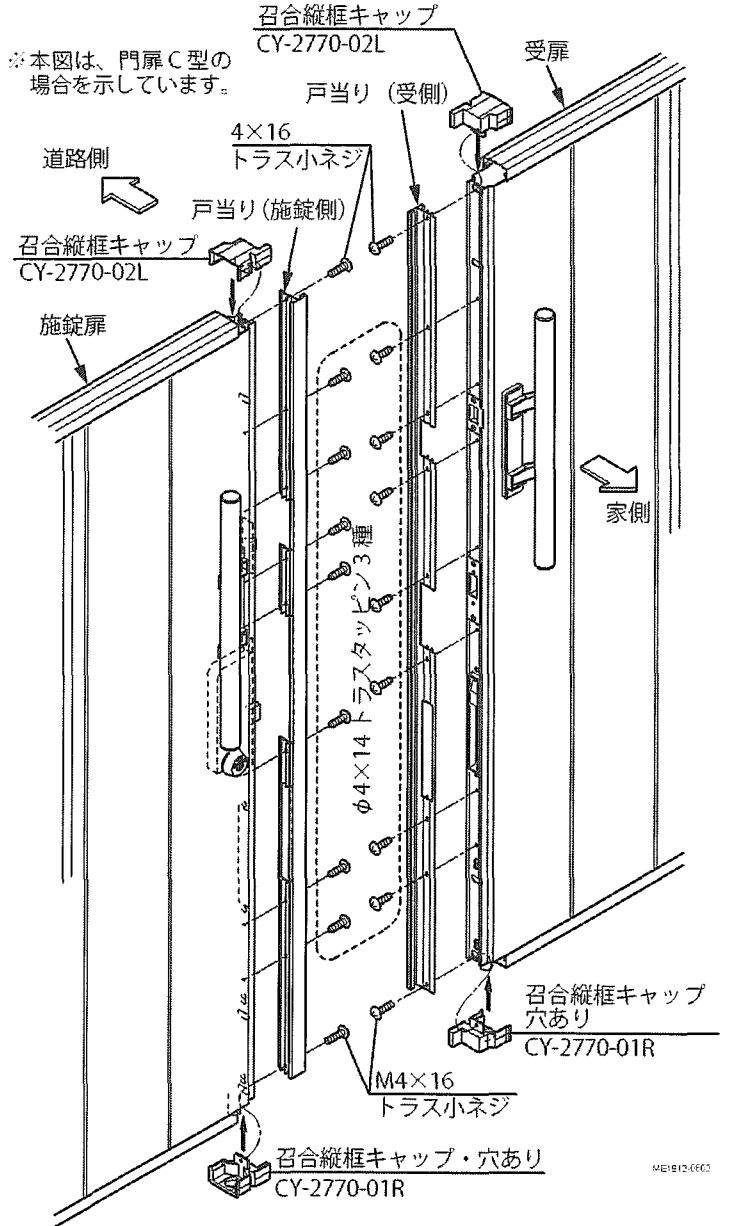
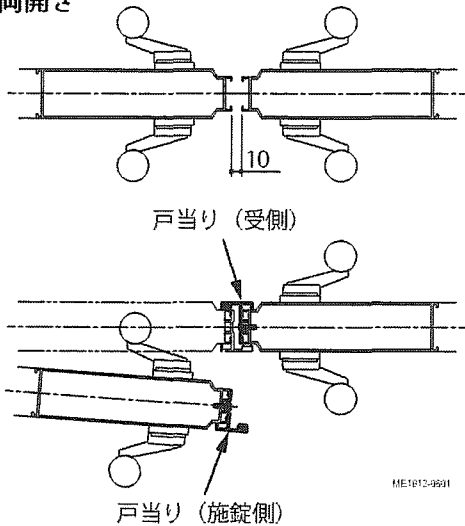
①納まり図で門扉の施錠扉側と受扉側を確認してください。

②門扉に戸当りを取付けてください。



施錠扉側・受扉側を間違えないようにしてください。

●両開き



③門扉の上下に、召合縦框キャップを取付けてください。



召合縦框キャップには左右があります。
※下図で確認してください。また、門扉下部へは「穴あり」を取付けてください。

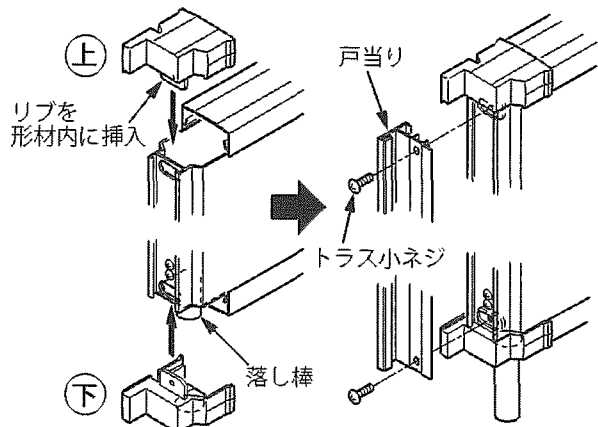
●召合縦框キャップ

CY-2770-01	CY-2770-02
穴あり	穴なし

※R・Lがあります。


ME1913-1091

●召合縦框キャップの取付詳細



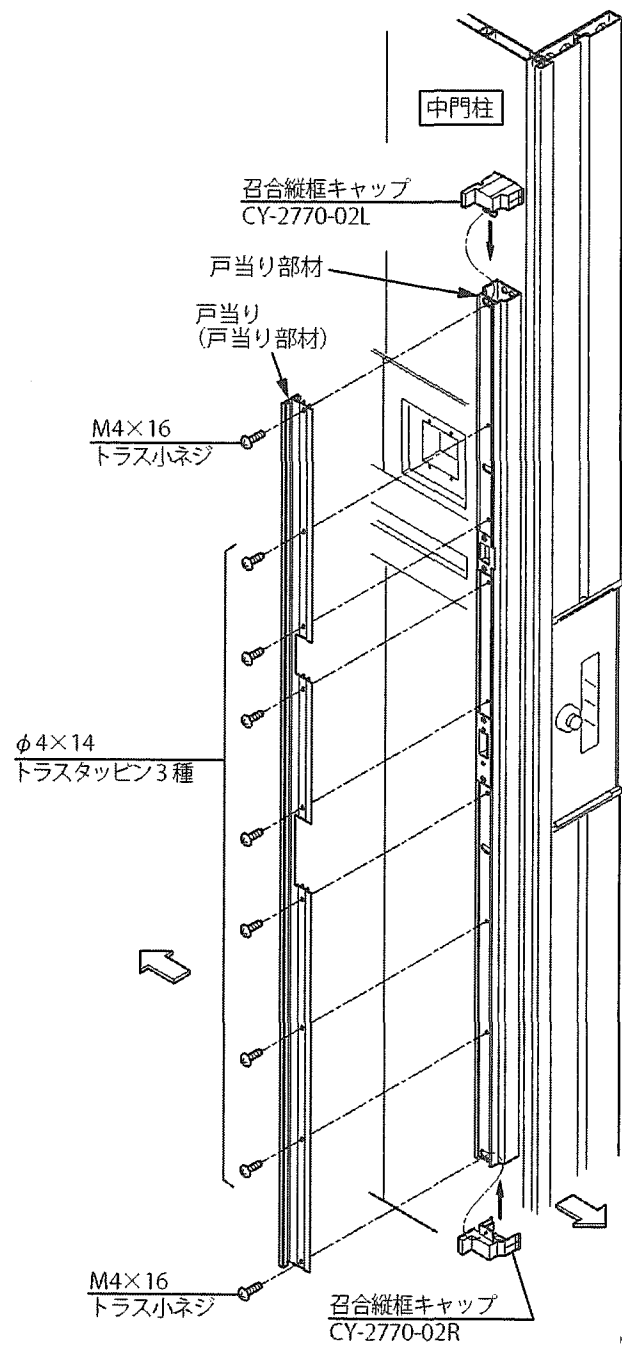
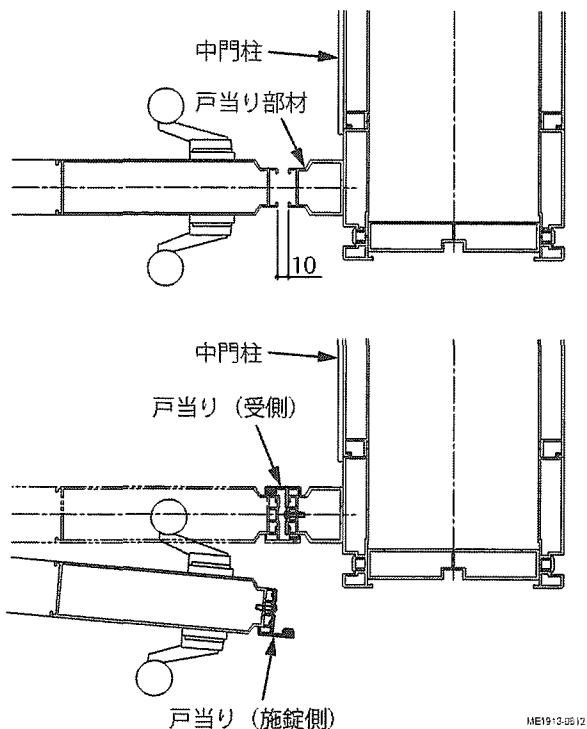
ME1912-0808

10-2 門柱への取付け (※通用門付両開きの場合)


 通用門付両開きの場合に行ってください。

①戸当り部材に戸当りを取付けてください。

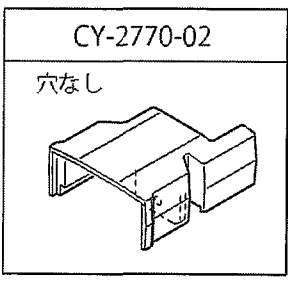
●通用門付両開き



②戸当りの上下に、召合縦框キャップを取付けてください。

 召合縦框キャップは上下とも「穴なし」となります。
※取付詳細は、「10-1. 門扉への取付け」を参照してください。

●召合縦框キャップ



11

電装品の取付け (電気錠タイプ)

- 各電装品の取付位置は、「配線図」を参照してください。
- 前工程までに屋根が取付けられています。ここでは取付部のイラストを分かりやすくするため、屋根をあらわさないで説明しています。

11-1 インターホンの取付け (※通用門付両開きの場合)



「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

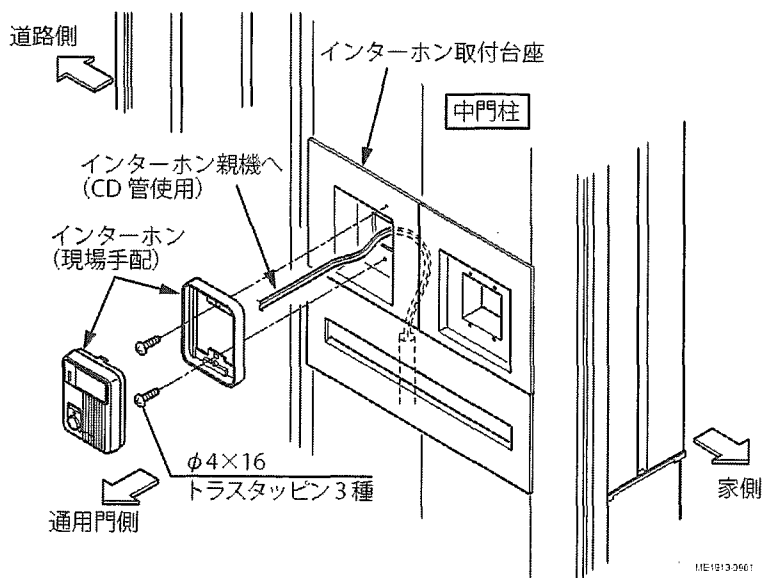


インターホン子機と親機は、同一メーカー品を現場手配してください。(JIS1 コ用スイッチボックス対応品)

①インターホン子機 (現場手配) を結線し、取付台座に取付けてください。



結線は、電気工事店様 (有資格者) が行ってください。



11-2 門内解錠スイッチの取付け



「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

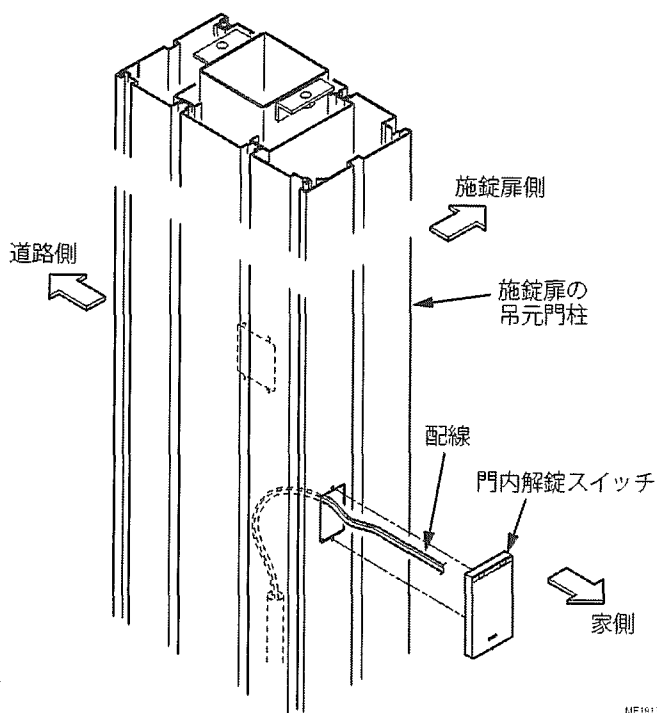
①門内解錠スイッチを結線し、門柱に取付けてください。



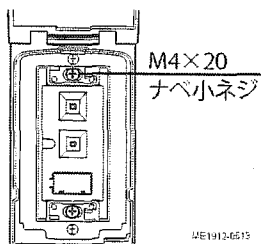
結線は、電気工事店様 (有資格者) が行ってください。



取付および結線についての詳細は、電気錠操作器に付属の施工説明書および「電気錠システム シンプルプラン」の取付・取扱説明書 [MET-1053] を合わせて参照してください。



●スイッチの取付け



ME1912-6515

ME1913-0EC1

11-3 シークレットスイッチの取付け



「配線図」を参照して、取付位置を確認してください。

①シークレットスイッチを結線し、門柱（両開きの場合）または取付台座（通用門付両開きの場合）に取付けてください。



結線は、電気工事店様（有資格者）が行ってください。



取付および結線についての詳細は、電気錠操作器およびシークレットスイッチに付属の施工説明書を参照してください。

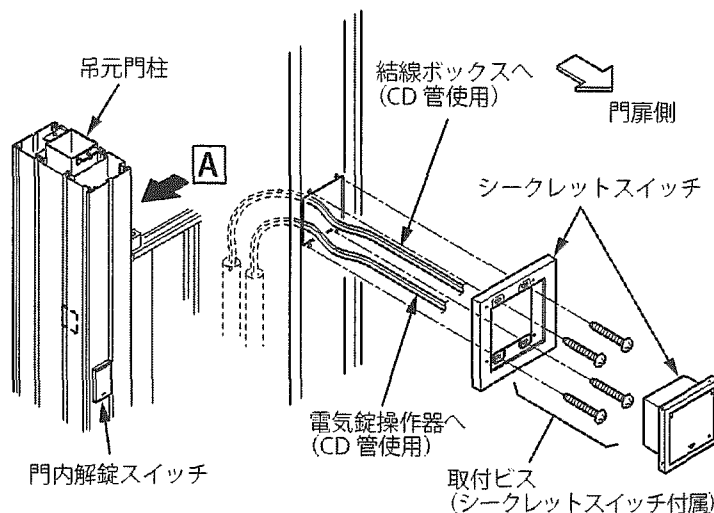


配線について
 両開きの場合：CD管使用
 通用門付の場合：
 シークレットスイッチ～結線ボックス：PF管使用
 シークレットスイッチ～電気錠操作器：CD管使用

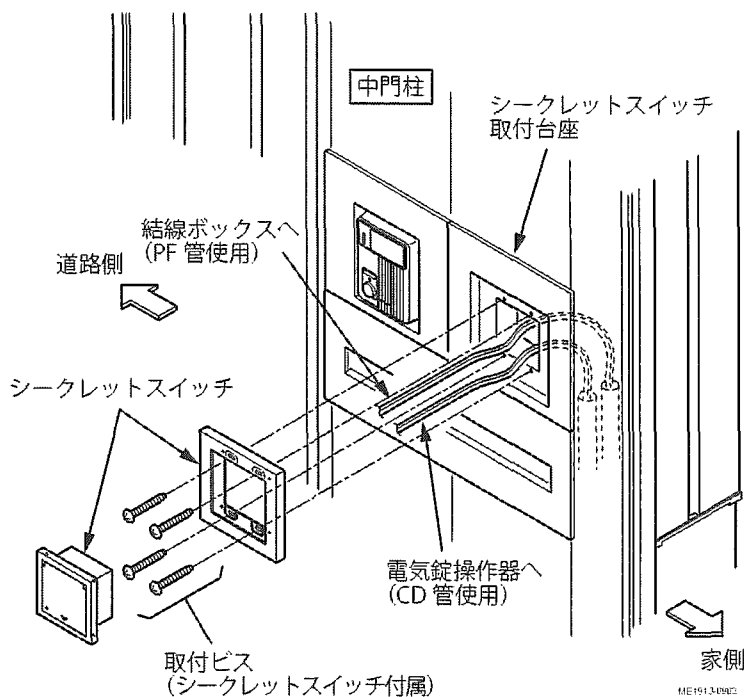
●両開きの場合（吊元門柱に取付け）

●Aから見る

ME1913-6663



●通用門付両開きの場合（中門柱に取付け）



ME1913-6962

11-4 屋根下照明の取付け（※「屋根下照明付」の場合）

①屋根の照明用穴に、屋根下照明を取付けてください。



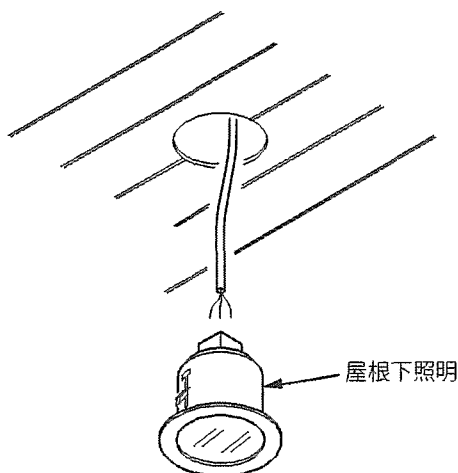
取付および結線についての詳細は、照明付属の説明書を参照してください。



余りの電源線は、屋根内に押し込むか、切断してから結線してください。



結線は、電気工事店様（有資格者）が行ってください。



ME1913-1763

12

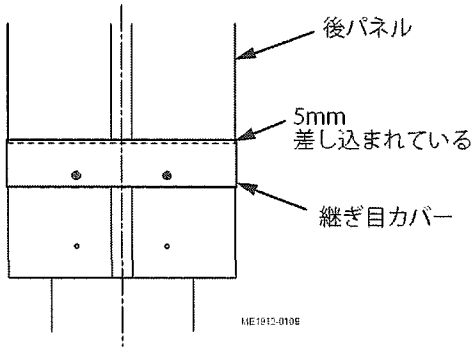
溝ふさぎ材の取付け

12-1 後パネルの固定 (※吊元門柱の場合)

①吊元門柱の後パネルを閉めてください。



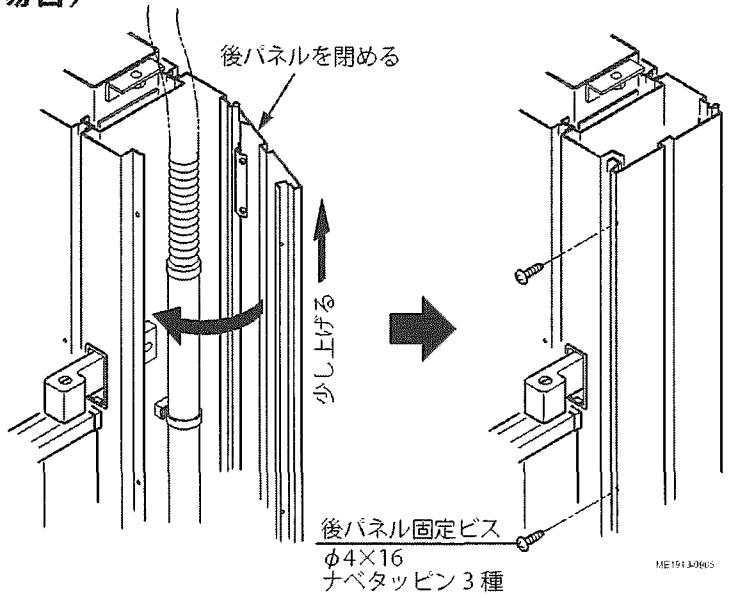
後パネルを持ち上げながら閉め、下部を継ぎ目カバーに差し込んでください。



②門柱に後パネル固定ビスを取付けてください。



「3-1. 吊元門柱の場合」で取外したビスを使用してください。

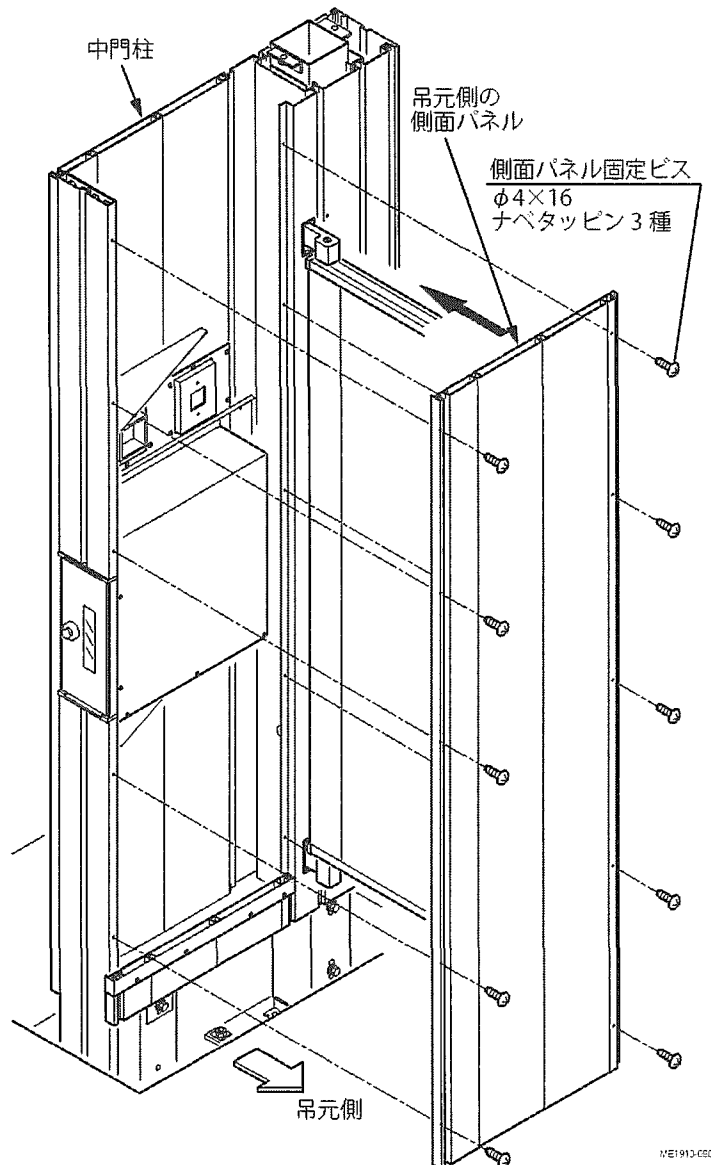


12-2 吊元側側面パネルの取付け (※中門柱の場合)

①中門柱の吊元側に側面パネルを取付けてください。



「3-2. 中門柱の場合」で取外したビスを使用してください。



12-3 溝ふさぎ材の取付け

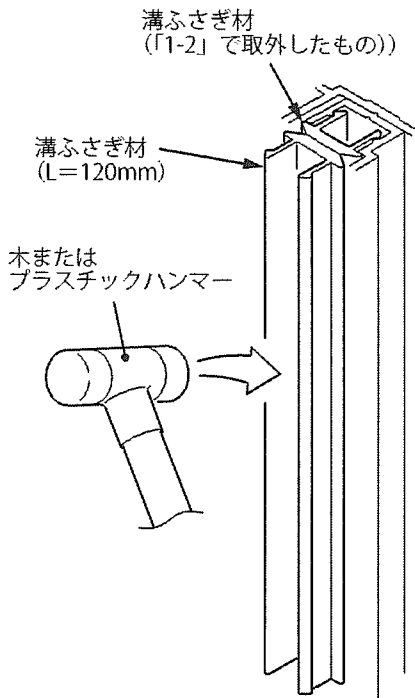


「2-1. 側面カバーの取外し」「3-1. 吊元門柱の場合」「3-2. 中門柱の場合」で取外した溝ふさぎ材を使用してください。

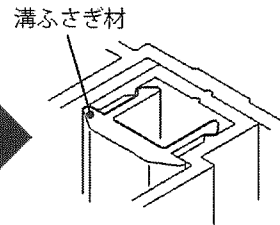
①下図を参照して門柱に溝ふさぎ材を取付けてください。



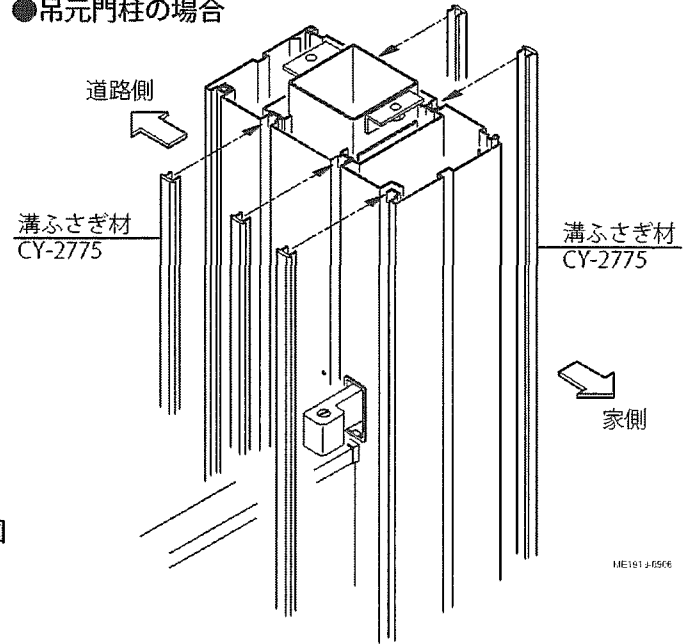
溝ふさぎ材 (L = 120) を、取付ける溝ふさぎ材にあて、ハンマーを使って門柱の溝にたたき込んでください。



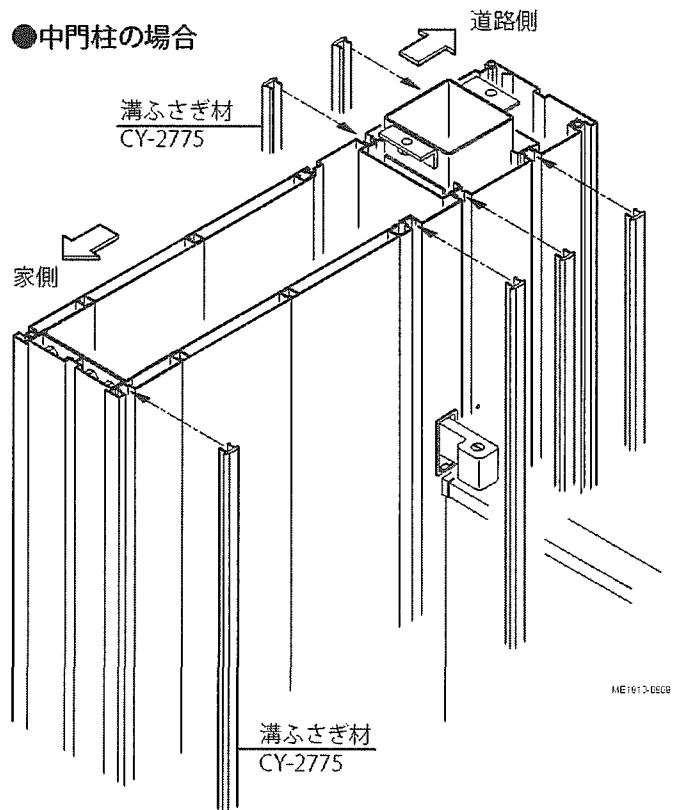
●溝ふさぎ材取付断面図



●吊元門柱の場合



●中門柱の場合



13

基礎の施工



全ての電装品の結線が完了したことを確認してください。

①基礎穴にコンクリートを打ち、門柱を固定してください。



GL 以下 100mm は土間仕上げになるのでコンクリートを打ち込まないでください。



門柱を確実に固定してください。

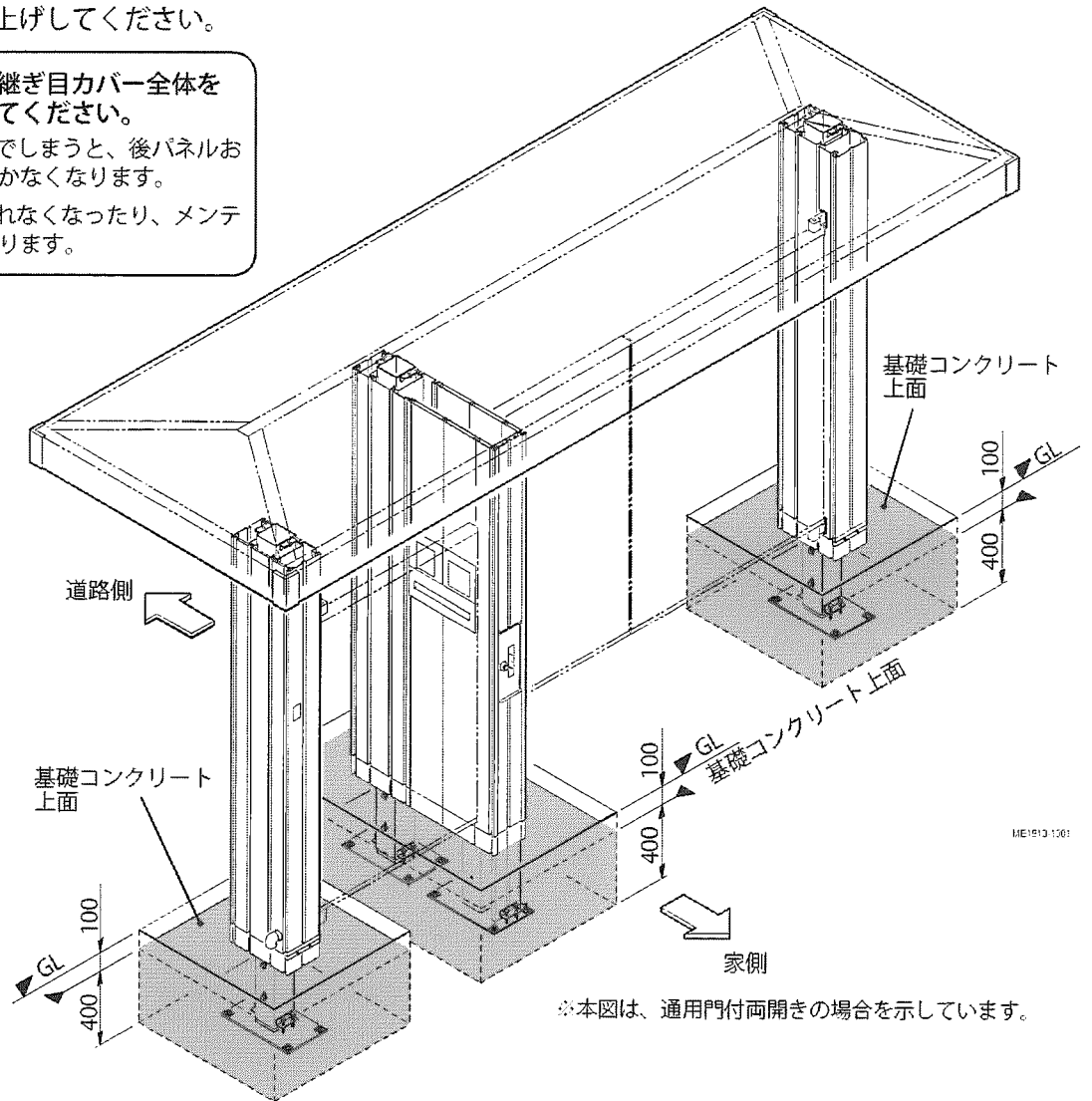
② GL 以下 100mm を土間仕上げしてください。



土間仕上げのとき、継ぎ目カバー全体をふさがないようにしてください。

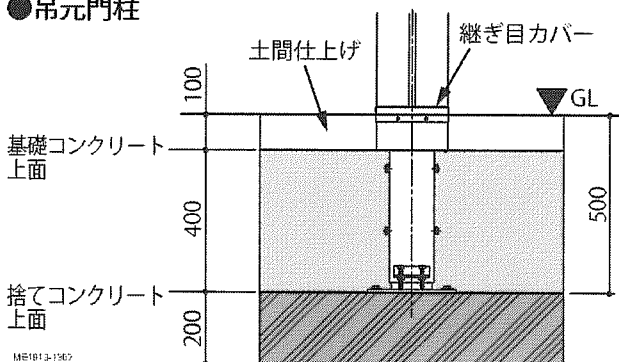
※継ぎ目カバーを塞いでしまうと、後パネルおよび側面パネルが開かなくなります。

※後で部品が取付けられなくなったり、メンテナンスが出来なくなります。



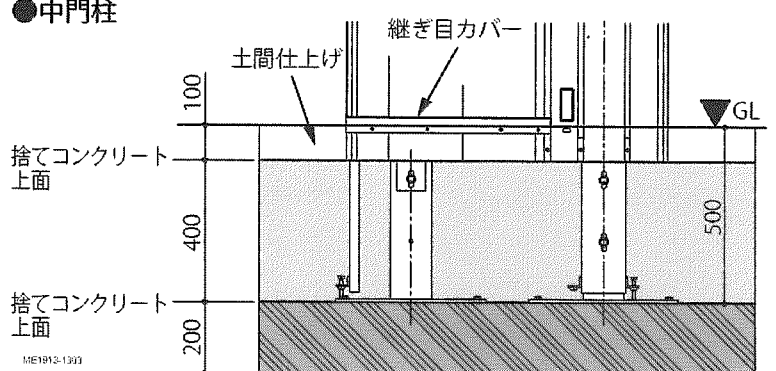
ME1913-1361

●吊元門柱



ME1913-1367

●中門柱



ME1913-1369

14

門柱部品の取付け

14-1 開き止めバンパーの取付け



開き止めバンパーは、施錠扉側・受扉側の両方に取付けてください。

※開き止めバンパーを取付けずに門扉を180°以上開くとオートクローザが破損する場合があります。



門扉の最大開閉範囲

- ・吊元門柱 : 110°
- ・中門柱 : 90°

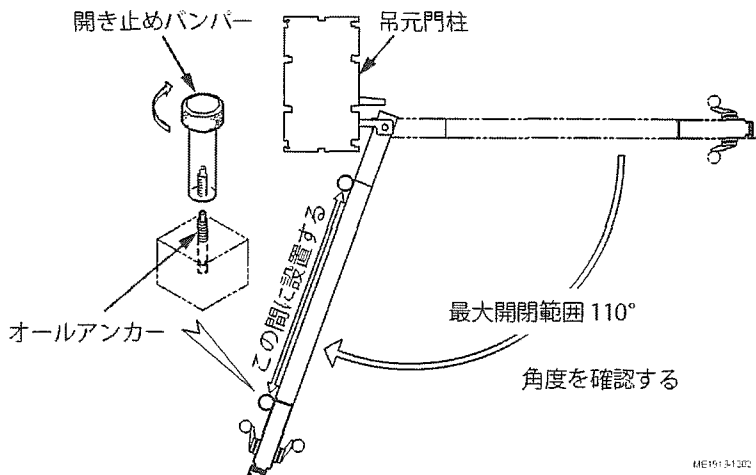
①門扉の最大開閉範囲を確認し、通行などを妨げない任意の場所に、開き止めバンパーを取付けてください。



注意

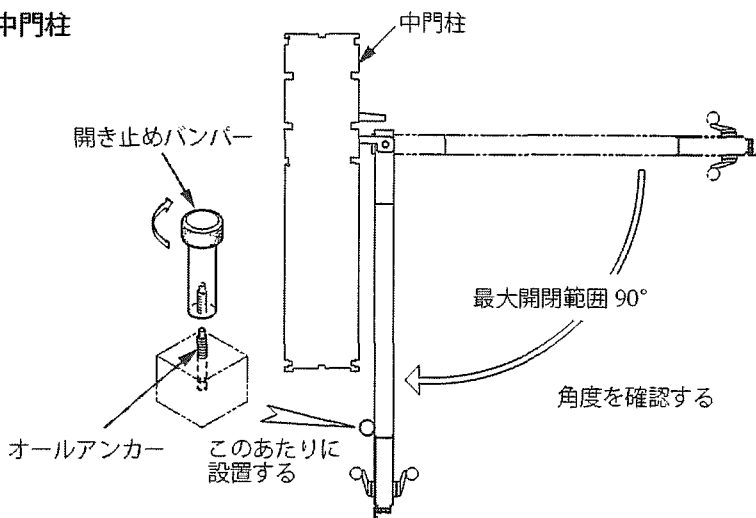
GLより120mm突出しますので、つまずいたりしない場所に設置してください。

●吊元門柱



ME191-31202

●中門柱



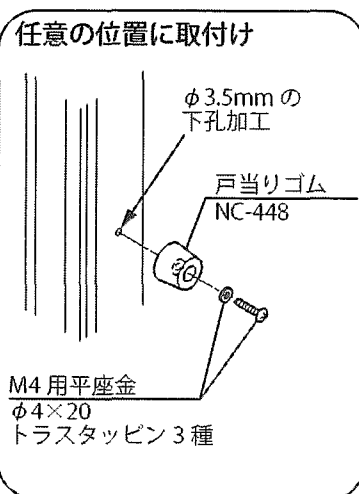
ME1913-1561

14-2 戸当りゴムの取付け (※中門柱の場合)

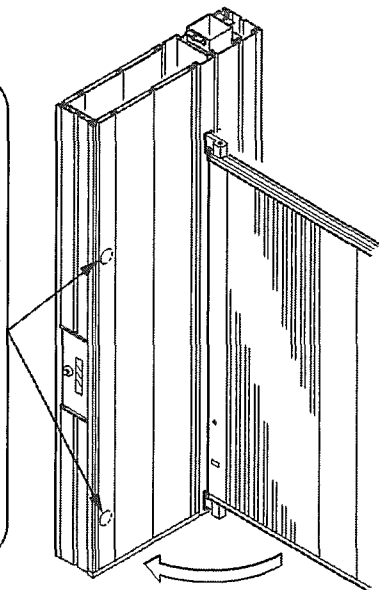


現場の施工状況により中門柱側に開き止めバンパーが取付けられない場合は、戸当りゴムを使用してください。

①中門柱の任意の位置に、戸当りゴムを取付けてください。



ME1913-0907



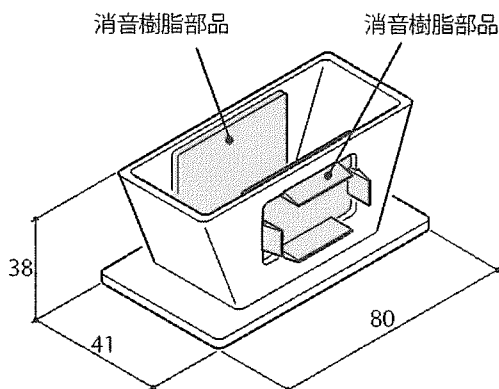
15

落とし受けツボの埋め込み

●落とし錠は出荷時に門扉に取り付けられています。



落とし受けツボには、右図の位置に消音樹脂部品がはめ込まれていますので、そのまま埋め込んでください。



ME1912-105-1

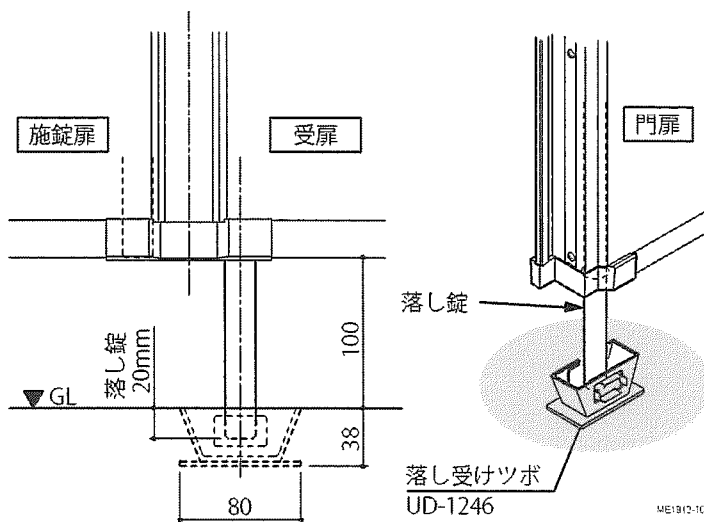
●落とし受けツボの埋め込み

①門扉を閉じたときの落とし錠の下に、落とし受けツボを埋め込んでください。



門扉を閉じたとき：

門扉を閉じて、「受扉側のみ」に落とし受けツボを埋め込んでください。



ME1912-106-1

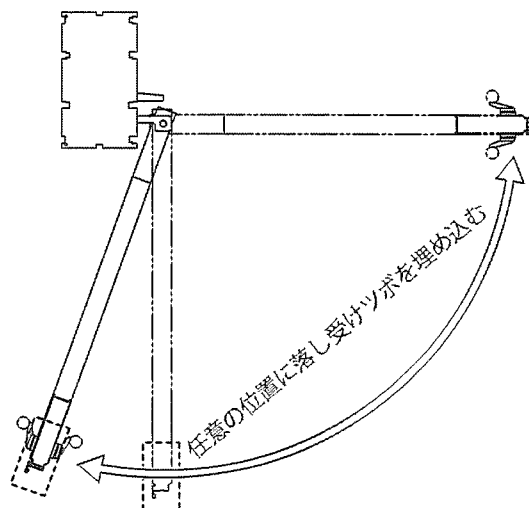
②門扉を開いたときの任意の位置に、落とし受けツボを埋め込んでください。



門扉を開いたとき：

施錠扉・受扉の両方とも開いて、「施錠扉側・受扉側の両方」に落とし受けツボを埋め込んでください。

●門扉を開いたときの落とし受けツボ位置



ME1912-107-1

16

落とし錠の動作確認

●落とし錠は出荷時に門扉に取付けられています。

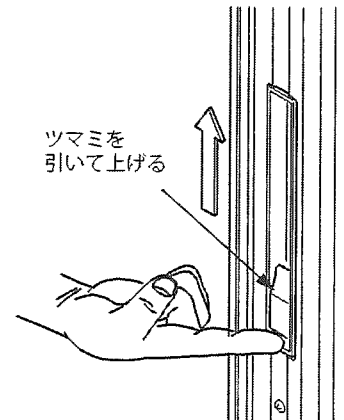
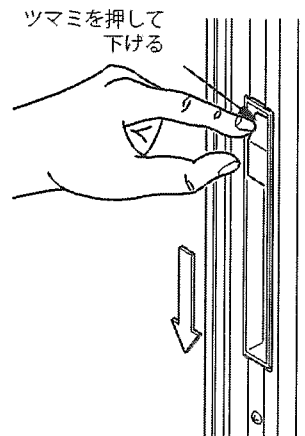
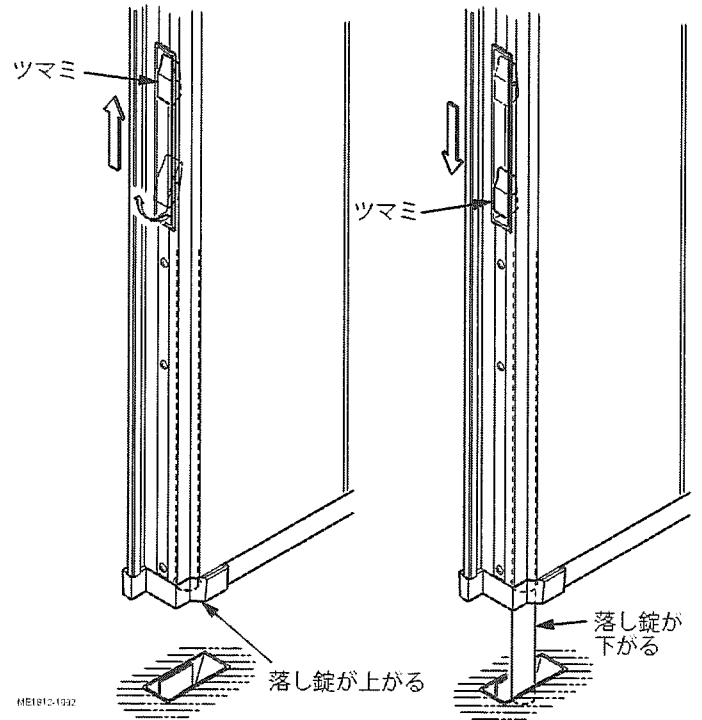
①門扉（受扉側）の落とし錠のつまみを上下にスライドさせて、落とし錠が落とし受けツボに正しくかかることを確認してください。



つまみを上げる：落とし錠が上がる
つまみを下げる：落とし錠が下がる



施錠扉は、門扉を閉じたときに落とし錠を施錠することはできません。



ME1012-1603

17

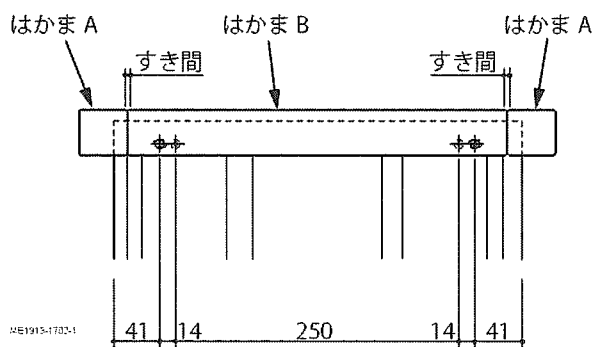
はかまの取付け

①図を参照して、屋根と門柱の接合部にはかまを取付けてください。

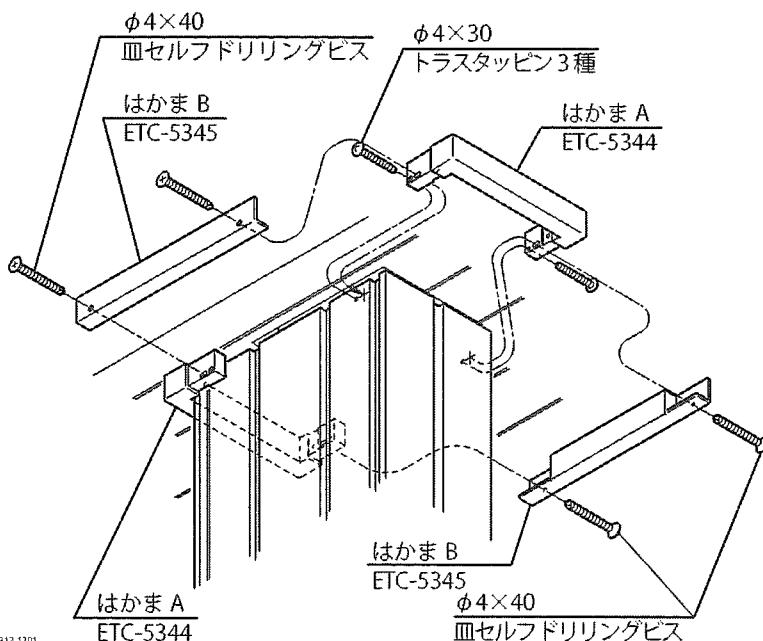


はかま A とはかま B の間にすき間ができる場合は、両側のすき間が等しくなるように取付けてください。

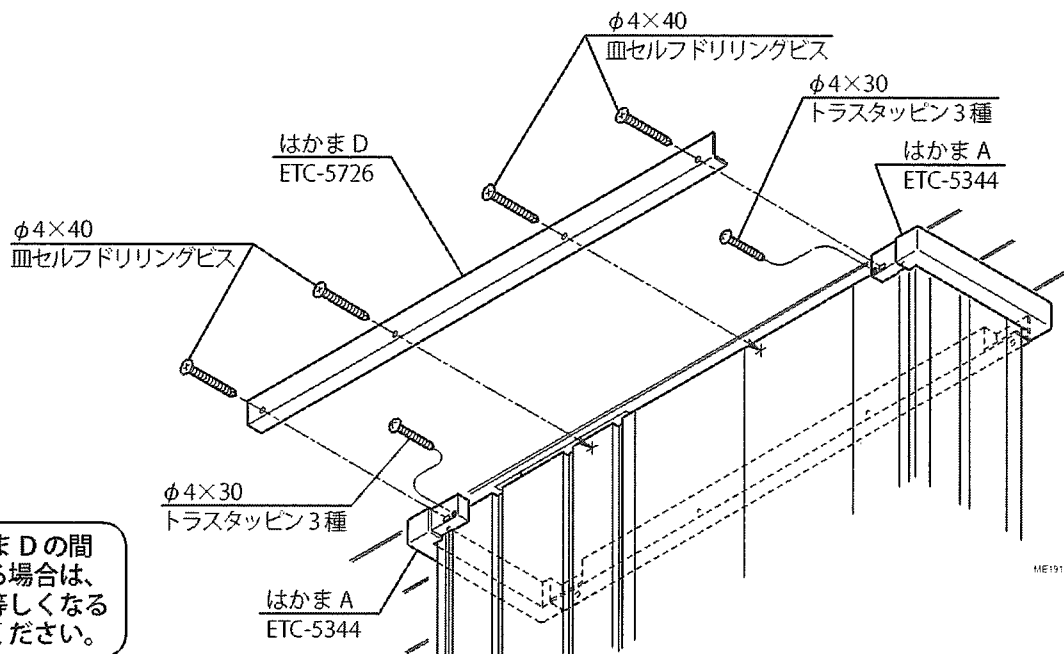
●取付寸法



吊元門柱の場合

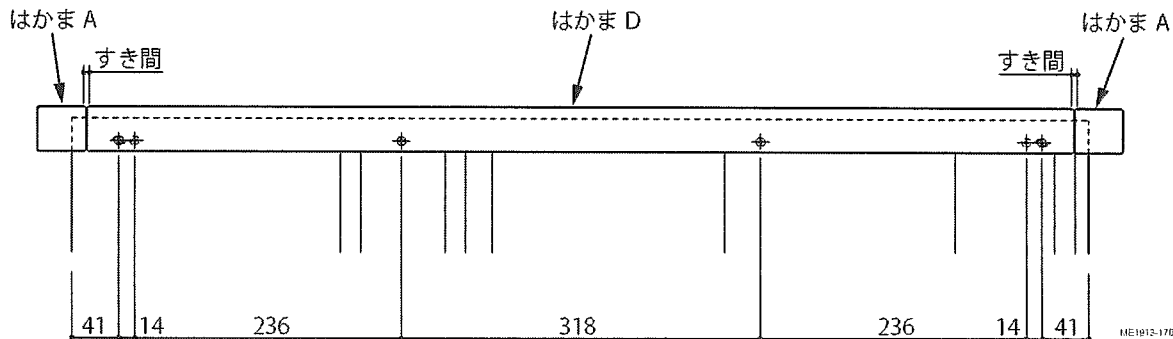


中門柱の場合



はかま A とはかま D の間にすき間ができる場合は、両側のすき間が等しくなるように取付けてください。

●取付寸法

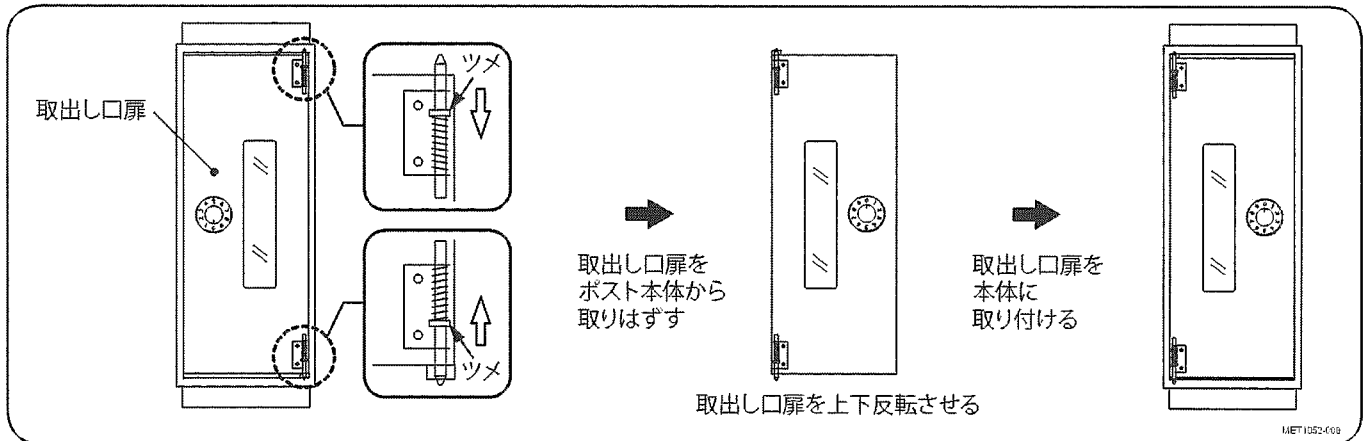


18

ダイヤル錠・ポスト取出し口の勝手変更

■ポスト取出し口扉の勝手方向の変更

- ①上下いずれかのヒンジのツメを矢印の方向に移動させ、取出し口扉をポスト本体から取外します。
- ②取出し口扉を上下反転させて、同様の方法で本体に取り付けます。



■ポストの開錠と施錠

●ポストを開錠する

※出荷時は「右に0」「左に6」に設定されています。

- ①ダイヤルを右に2回以上回してリセットします。
- ②ダイヤルを右（時計方向）に回し[0]に合せます。
- ③ダイヤルを左（反時計方向）に回し[6]に合せると開錠します。

●ポストを施錠する

取出し口扉を閉めて、ダイヤルを回すと施錠します。

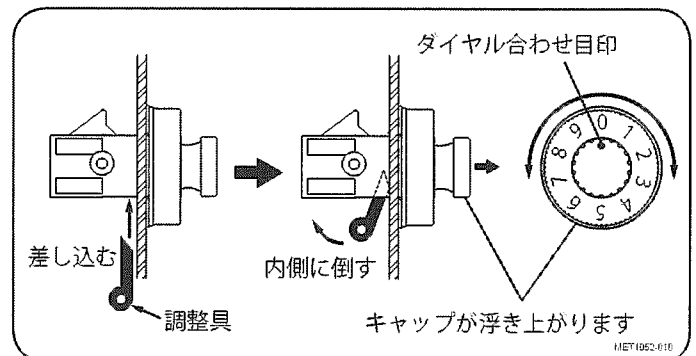
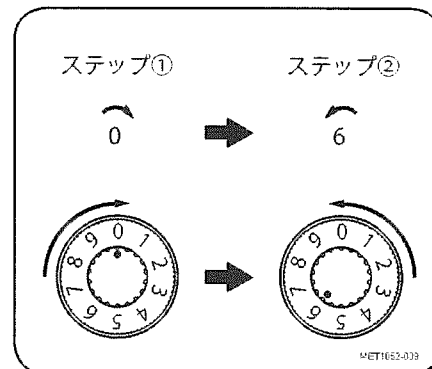
●開錠番号を変更する

※現場にて番号の変更が可能です。開錠番号の組み合わせは開錠番号一覧表をご参照ください。尚、開錠番号の組み合わせはこれ以外にはございませんので、ご了承ください。

- ①ポストを開錠して取出し口扉を開けます。
- ②ポスト付属の調整具をダイヤル錠の下から差し込み、ポスト内側に倒します。
→ダイヤル合わせ目印キャップが浮き上がります。
- ③キャップを浮かせた状態でそのままキャップを回転させ、開錠番号一覧表のステップ②のいずれかの番号に合せます。
(ステップ①の番号に合せる必要はありません。)
→設定が変更されます。
- ④調整具を抜き、キャップを元に戻します。

開錠番号一覧表

ステップ① 右へ	→	ステップ② 左へ
0	→	6
1	→	7
2	→	8
3	→	9
4	→	0
5	→	1
6	→	2
7	→	3
8	→	4
9	→	5



⚠ 注意

- 付属シールに変更後の開錠番号を記入してわかりやすい場所に貼付けておくとう便利です。
- 開錠番号がご不明の際の責任は負いかねます。ご了承ください。
- 調整具は、無くさないよう大切に保管してください。

19

雨樋のメンテナンス

●雨樋などをメンテナンスするときは、見上げ板を取外してください。

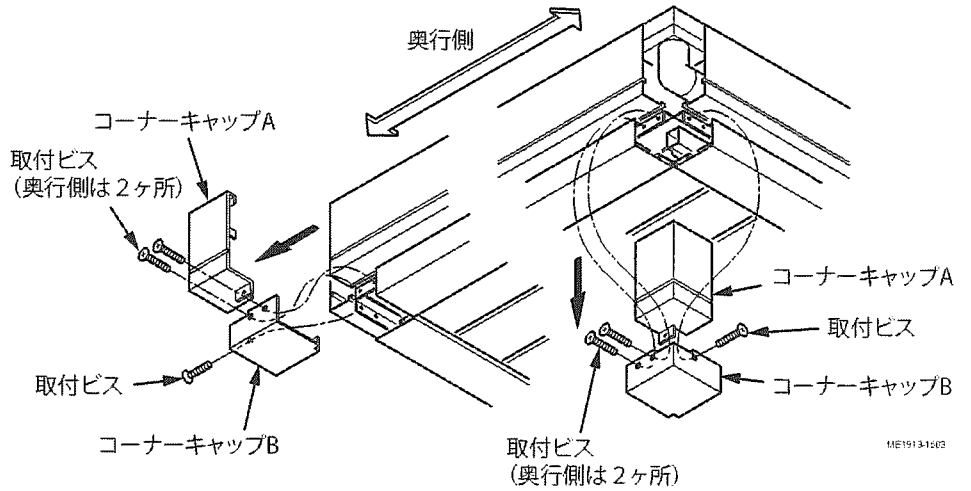


取外したビスは、後で取付けに使用しますので無くさないようにしてください。

- ①「16. はかまの取付け」を参照してはかまを門柱から取外してください。
- ②四隅のコーナーキャップA・Bを屋根根から取外してください。
- ③奥行側の鼻隠しBをスライドして取外してください。
- ④間口側（両側）の鼻隠しBを見上げ板3枚分スライドしてください。

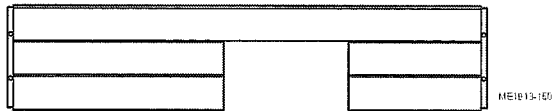


見上げ板は3枚で1セットになっています。



ME1913-1502

●見上げ板



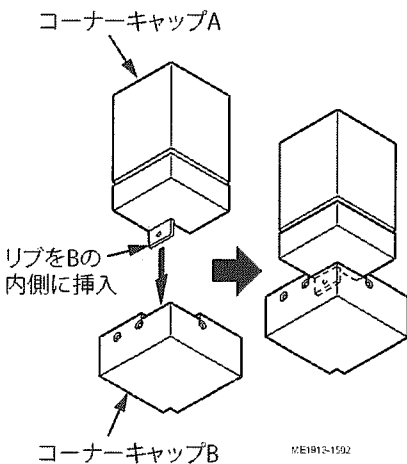
※3枚で1セットになっています。

- ⑤見上げ板を屋根から取外してください。
- ⑥必要なメンテナンスの完了後、見上げ板、鼻隠しB、コーナーキャップ、はかまを再度取付けてください。

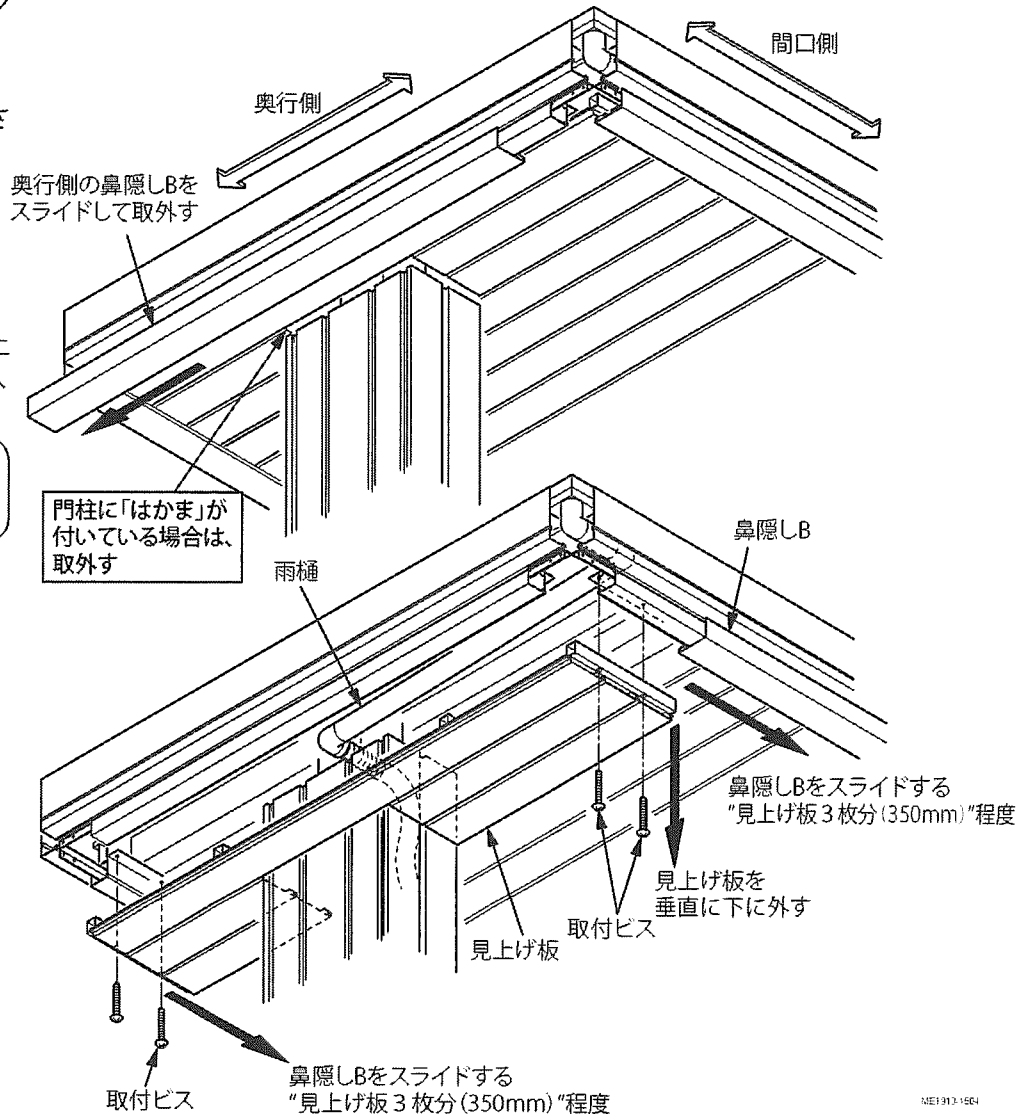


コーナーキャップAのリップをBの内側に挿入してください。

●コーナーキャップ: 取付けのポイント



ME1913-1502



ME1913-1504

施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL ()	-
販 売 店	TEL ()	-

新日軽株式会社

本社 〒136-0076
東京都江東区南砂2-7-5

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室  0120-37-2534

東北エクステリア支店…………… ☎022-297-3354
 関東エクステリア支店…………… ☎03-5677-8729
 名古屋東海エクステリア支店… ☎052-731-1920
 大阪エクステリア支店…………… ☎06-6479-3234
 中四国エクステリア支店………… ☎082-544-4144
 九州エクステリア支店…………… ☎092-523-8890

札幌住宅建材支店…………… ☎011-219-7511
 東北住宅建材支店…………… ☎022-297-3364
 関信越住宅建材支店…………… ☎027-328-2881
 関東住宅建材支店…………… ☎03-3842-7123
 中部東海住宅建材支店…………… ☎052-731-1911
 大阪住宅建材支店…………… ☎06-6390-1331
 中四国住宅建材支店…………… ☎082-544-4136
 九州住宅建材支店…………… ☎092-523-7007

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>